

目 次

(各項目が該当ページへのリンクとなっています。)

病害虫防除指針

13. 野菜類の部	(32) こまつな	416
	(33) チンゲンサイ	417
(1) 野菜類	(34) のざわな	419
(2) うり類	(35) みずな	420
(3) きゅうり	(36) なばな類	421
(4) すいか	(37) なばな	423
(5) メロン	(38) レタス類	424
(6) かぼちゃ	(39) レタス	425
(7) ズッキーニ	(40) 非結球レタス	431
(8) にがうり	(41) サラダ菜／リーフレタス	433
(9) トマト	(42) セルリー	434
(10) ミニトマト	(43) しょうが	435
(11) なす	(44) みょうが	436
(12) ピーマン及びとうがらし類	(45) ほうれんそう	438
(13) ピーマン	(46) しゅんぎく	443
(14) とうがらし類	(47) みつば	445
(15) ししとう	(48) ふき	446
(16) いちご	(49) ふき(ふきのとう)	447
(17) オクラ	(50) アスパラガス	449
(18) 豆類(未成熟)	(51) うど	452
(19) さやえんどう	(52) たらきのき	454
(20) さやいんげん	(53) 鱗莖類	457
(21) えだまめ	(54) ねぎ	458
(22) 結球あぶらな科葉菜類	(55) たまねぎ	465
(23) キャベツ	(56) にら	468
(24) はくさい	(57) にんにく	472
(25) はなやさい類	(58) しそ科葉菜類	473
(26) ブロッコリー	(59) しそ	474
(27) カリフラワー	(60) モロヘイヤ	476
(28) だいこん	(61) にんじん	478
(29) かぶ	(62) ごぼう	480
(30) 非結球あぶらな科葉菜類	(63) パセリ	482
(31) 非結球メキャベツ	(64) 無人航空機による散布農薬について	483

野菜類一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名								
						軟腐病	べと病	褐斑細菌病	黒腐病	斑点細菌病	うどんこ病	灰色かび病	ハダニ類	ナメクジ類
1	ICボルドー66D		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2	インプレッションクリア		-	バチルス アミロリク エファシエンシス	BM2	-	-	-	-	-	○	○	-	-
3	エコショット		-	バチルス ズブチリス	BM2	-	-	-	-	-	-	○	-	-
4	クプロシールド		普	銅	M1	○	○	-	-	○	-	-	-	○
5	クリーンカップ		普	1.バチルス ズブチリス 2.銅	BM2,M1	-	-	-	-	-	○	○	-	-
6	コサイド3000		普	銅	M1	○	-	○	○	○	-	-	-	-
7	ドイツボルドーA		普	銅	M1	○	○	-	-	-	-	-	-	-
8	ボトキラー水和剤		-	バチルス ズブチリス	BM2	-	-	-	-	-	○	○	-	-
9	硫黄粉剤50		普	硫黄	I:UN F:M2	-	-	-	-	-	○	-	○	-

野菜類(いも類を除く)一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						枯病アリビ 病害菌ゾシ 等(にクウ ~苗よトム 立るニ・
1	オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	○

野菜類(キャベツを除く)一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						軟腐病	べと病	褐斑細菌病	黒斑細菌病	黒腐病	斑点細菌病
1	Zボルドー		普	銅	M1	○	○	○	○	○	○

野菜類(すいか、かぼちゃ、トマト、ミニトマト、ねぎ、わけぎ、あさつき、いちごを除く)一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						うどんこ病		
1	イオウフロアブル		普	硫黄	I:UN F:M2	○		

野菜類(トマト、ミニトマトを除く)一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						うどんこ病	さび病	灰色かび病
1	カリグリーン		普	炭酸水素カリウム	NC	○	○	○

野菜類(なすを除く)一殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						軟腐病	白さび病	うどんこ病
1	ジーファイン水和剤		普	1. 炭酸水素ナトリウム 2. 銅	NC、M1	○	○	○

野菜類一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病虫害雑草名											
						アオムシ	コナガ	オオタバコガ	ヨトウムシ	ウリノメイガ	シロイチモジヨトウ	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	コナジラミ類	ハダニ類	うどんこ病	
1	アカリタッチ乳剤		普	プロピレングリコールモノ脂肪酸エステル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
2	エスマルクDF	抑制	-	BT	11A	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
3	スパイカルEX		-	ミヤコカブリダニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
4	スパイカルプラス		-	ミヤコカブリダニ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
5	トアローフロアブルCT	抑制	-	BT	11A	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	フーモン		普	ポリグリセリン脂肪酸エステル	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○
7	ムシラップ		普	ソルビタン脂肪酸エステル	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○
8	粘着くん液剤		普	デンブン	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○

野菜類(いちご、トマト、ミニトマト、きゅうり、なすを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病虫害雑草名			
						アブラムシ類	コナジラミ類	ハダニ類	うどんこ病
1	エコピタ液剤		普	還元澱粉糖化物	-	○	○	○	○

野菜類(なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎくを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病虫害雑草名			
						うどんこ病	ハダニ類	アブラムシ類	コナジラミ類
1	サンクリスタル乳剤		普	脂肪酸グリセリド	-	○	○	○	○

野菜類(いちご、トマト、ミニトマトを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						アブラムシ類	コナジラミ類	ハダニ類	チャノホコリダニ	うどんこ病
1	サフオイル乳剤		普	調合油	F:NC	○	○	○	○	○

野菜類(キャベツ、はくさいを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						アオムシ	コナガ	ヨトウムシ	オオタバコガ	シロイチモジヨトウ	ハスモンヨトウ
1	ゼンターリ顆粒水和剤	抑制	-	BT	11A	○	○	○	○	○	○

野菜類(トマト、ミニトマトを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名							
						アオムシ	コナガ	オオタバコガ	ヨトウムシ	ハイマダラノメイガ	ウリノメイガ	ハスモンヨトウ	シロイチモジヨトウ
1	チューンアップ顆粒水和剤	抑制	-	BT	11A	○	○	○	○	○	○	-	-
2	デルフィン顆粒水和剤	抑制	-	BT	11A	○	○	○	-	-	○	○	○

野菜類(施設栽培)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名						
						アブラムシ類	コナジラミ類	アザミウマ類	ハダニ類	チャノホコリダニ	オンシツコナジラミ	ハモグリバエ類
1	アフィパール		-	コレマンアブラバチ	-	○	-	-	-	-	-	-
2	エンストリップ		-	オンシツツヤコバチ	-	-	○	-	-	-	-	-
3	ククメリスEX		-	ククメリスカブリダニ	-	-	-	○	-	-	-	-
4	コレトッブ		-	コレマンアブラバチ	-	○	-	-	-	-	-	-
5	システムミヤコくん		-	ミヤコカブリダニ	-	-	-	-	○	-	-	-
6	スパイデックスバイタル		-	チリカブリダニ	-	-	-	-	○	-	-	-
7	スワルスキー		-	スワルスキーカブリダニ	-	-	○	○	-	○	-	-
8	スワルスキープラス		-	スワルスキーカブリダニ	-	-	○	○	-	○	-	-
9	チリトッブ		-	チリカブリダニ	-	-	-	-	○	-	-	-
10	ツヤトッブ		-	オンシツツヤコバチ	-	-	-	-	-	-	○	-
11	ツヤパラリ		-	オンシツツヤコバチ	-	-	○	-	-	-	-	-
12	ヒメトッブ		-	イサエアヒメコバチ	-	-	-	-	-	-	-	○
13	ポタニガード水和剤		-	ボーベリア パシアーナ	-	○	○	○	-	-	-	-
14	ミヤコトッブ		-	ミヤコカブリダニ	-	-	-	-	○	-	-	-
15	メリトッブ		-	ククメリスカブリダニ	-	-	-	○	-	-	-	-

※ スワルスキープラスの販売名称:「スワルスキープラスUM」

野菜類(施設栽培、ただし、いちごを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						ハダニ類	
1	ミヤコスター		-	ミヤコカブリダニ	-	○	

野菜類(施設栽培、ただし、トマト、ミニトマトを除く)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						アザミウマ類	コナジラミ類
1	システムスワルクん		-	スワルスキーカブリダニ	-	○	○
2	スワマイト		-	スワルスキーカブリダニ	-	○	○

野菜類(露地栽培)一殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						アザミウマ類
1	スワルスキー		-	スワルスキーカブリダニ	-	○
2	スワルスキープラス		-	スワルスキーカブリダニ	-	○

※ スワルスキープラスの販売名称:「スワルスキープラスUM」

野菜類—うり類—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						べと病	褐色腐敗病(すいか)
1	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	○	○

野菜類—うり類—うり類(成熟)—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						うどんこ病	つる枯病(すいか、メロン)	菌核病(すいか、メロン)
1	パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	○

野菜類—うり類—うり類(成熟、ただし、すいか、メロンを除く)—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						アザミウマ類
1	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	○

野菜類—うり類—うり類(未成熟)—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						アザミウマ類	ウリノメイガ	コナジラミ類	ハスモンヨトウ	ハダニ類	ハモグリバエ類
1	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	○	○	○	○	○	○

野菜類-うり類-うり類(未成熟)-きゅうり-殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																	
					うどんこ病	灰色かび病	菌核病	べと病	褐斑病	炭疽病	苗立枯病	斑点細菌病	つる枯病	疫病	黒星病	苗立枯病(リゾクトニア菌)	苗立枯病(ピシウム菌)	苗立枯病(フザリウム菌)	つる割病	アブラムシ類	コナジラミ類	ハダニ類
31 トリフミンジェット		劇	トリフルミゾール	3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32 トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
33 ネクスターフロアブル		普	イソピラザム	7	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34 バルミノ		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
35 バレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36 パンチョTF顆粒水和剤		普	1. シフルフェナミド 2. トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37 ビクシオDF		普	フェンピラザミン	17	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38 ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39 フェスティバル水和剤		普	ジメトモルフ	40	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40 フオリオゴールド		普	1. TPN 2. メタラキシル 及びメタラキシルM	M5、4	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41 フセキワイドフロアブル		普	1. イミノクタジン 2. ピリダクロメチル	M7,53	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42 フルピカフロアブル		普	メパニピリム	9	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43 プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアバリ カルブイソプロピル	M5、40	○	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
44 ベフドー水和剤		普	1. イミノクタジン 2. 銅	M7、M1	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
45 ベルクートフロアブル		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
46 ベルクート水和剤		普	イミノクタジン	M7	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47 ベンコゼブフロアブル		普	マンゼブ	M3	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48 ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-
49 ホライズンドライフロアブル		普	1. シモキサニル 2. ファモキサドン	27、11	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50 ポリオキシAL水溶剤		普	ポリオキシシン	19	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
51 ミギワ10フロアブル		普	イブフルフェノキン	52	-	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
52 モレストン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
53 ライメイフロアブル		普	アミスルブロム	21	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
54 ラミック顆粒水和剤		普	1. イミノクタジン 2. ピリオフェノン	M7,50	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
55 ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
56 リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
57 リドミルゴールドMZ		普	1. マンゼブ 2. メタラキシル 及びメタラキシルM	M3、4	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
58 ロブラール500アクア		普	イプロジオン	2	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
59 ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類-うり類-うり類(未成熟)-きゅうり-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																	
						アブラムシ類	オンシツコナジラミ	ハダニ類	ミカンキイロアザミウマ	コナジラミ類	トマトハモグリバエ	アザミウマ類	ミナミキイロアザミウマ	ウリハムシ	ウリノメイガ	ハスモンヨトウ	ハモグリバエ類	オンシツコナジラミ幼虫	ネコブセンチュウ	うどんこ病			
29	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	ニッソラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
32	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
33	ハチハチ乳剤	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-
34	ピラニカEW		劇	テブフェンピラド	21A	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
36	ブリロッソ粒剤オメガ	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
37	プレオフロアブル		普	ピリダリル	un	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
38	プレバソフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプロール	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
39	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
42	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
43	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44	マッチ乳剤	抑制	普	ルフェスロン	15	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
45	モスピランジェット	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
47	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-

野菜類-うり類-うり類(未成熟)-きゅうり(施設栽培)-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						アザミウマ類
1	バコトップ		-	タバコカスミカメ	-	○

13-(3) きゅうり (野菜類、うり類、うり類(未成熟)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
苗立枯病	<p>播種前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資材消毒を行う。(資材消毒の項参照) 2. 土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) 3. 適用薬剤を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発芽直後に床土の表面を乾かす。
つる割病	<p>播種前、植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 露地栽培の発病ほ場は5~6年の輪作を行う。 2. カボチャに接ぎ木する。 3. 資材、床土消毒を行う。 (資材消毒の項、土壌くん蒸剤の項参照) 4. 発病ほ場は土壌消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項参照) <p>生育期</p> <p>発病株は早期に処分する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ネコブセンチュウ類は本病を助長する。
つる枯病	<p>播種前</p> <p>資材消毒を行う。(資材消毒の項参照)</p> <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地ぎわ部が過湿にならないように畝を立て、深植えを避ける。 2. 適用薬剤を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低湿地帯に発病が多いので、暗渠排水を行う。 ・定植直後から病原菌の侵入を受けやすいので、定植後に活着を確認した後からすみやかに予防に努める。 ・病原菌が花から侵入して褐色心腐をおこすことがある。
べと病	<p>植付前</p> <p>耐病性品種を使用する。</p> <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 排水を良好に、肥切れをさせない。敷きワラを厚くする。 2. 湿度の低下に努める。 3. ハウスでは適温で管理し、株づかれをさせない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・葉のぬれた状態に保つと発病しやすく、葉の表面が乾いた状態では、葉が重なり合った部分が発病しやすい。 ・アリエッティ水和剤は、無機銅剤との近接散布はさける。また、無機銅剤及び葉面散布液肥との混用はさける。 ・リドミルゴールドMZ、フォリオゴールド、アミスター20フロアブルは連続散布すると耐性菌ができやすいので注意する。
褐斑病	<p>植付前、生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 耐病性品種を使用する。 2. 窒素施用の過多を避ける。 3. ハウスの換気をこまめにし、ワラ・モミガラ等を通路に敷いて、高温、多湿を防止する。 4. 発病前に循環扇を用いたり、暖房機の送風運転を行い、空気を循環させる。 (発病後は胞子を広げ、被害を拡大させる恐れがある。) 	<ul style="list-style-type: none"> ・病原菌の生育適温は30℃である。 ・ブルームレス台木に接ぎ木したキュウリは発病しやすい。 ・メロン、スイカ、ユウガオなどでも本病原菌で発病する。 ・ストロビーフロアブル、アミスター20フロアブルはアプローチBI、ニーズ等の浸透性展着剤を使用しない。連続散布をさける。 ・カンタスドライフロアブルに対する耐性菌の出現が報告されているので連用しない。
炭疽病	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 収穫終了後、敷ワラ、茎葉はほ場外へ持ち出す。 2. 資材消毒を行う。(資材消毒の項参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ・多雨時に発病が多いので予防散布が特に重要である。 ・菌の生育適温は23℃である。

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
黒星病	植付前 資材消毒を行う。 (資材消毒の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・17℃くらいで冷涼、多雨時に発病が多い。 ・ハウスの日中温度が20℃以下、夜間10℃以下に発生が多くなるので適切な温度管理を行う。 ・苗床及び定植後に薬液が心部にもよくかかるよう薬剤を散布する。
灰色かび病	植付前 1. 低湿地は暗渠排水を行う。 2. 湿地では高畦にし、全面マルチ又は敷ワラを行う。 生育期 1. 施設栽培では通風換気を良好にする。 2. 発病前から適用薬剤を散布する。(果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照) 3. 適用薬剤(くん煙剤)を使用する。 (くん煙剤一覧の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・20℃で多湿が続くと発病する。 ・近紫外線除去フィルムを用いると、分生孢子、子のう盤の形成が抑制され防除の効果がある。しかし、ミツバチを導入する場合は近紫外線除去フィルムは使用しない。
菌核病	植付前、生育期 1. 低湿地では排水をはかる。 2. 湿地では高畦にし、全面マルチを行う。 3. 施設栽培では通風換気を良好にする。	<ul style="list-style-type: none"> ・低温(20℃以下)多湿時に発病しやすい。
うどんこ病	植付前、生育期 1. 耐病性品種を使用する。 2. 密植をさけ、ハウス、トンネル内の換気透光をはかる。 3. 本葉10~14枚位になったら早目に台木の子葉を除く。 4. 適用薬剤を散布する。しかしDMI剤は連用すると耐性菌が出現するため注意する。(果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照) 5. 適用薬剤(くん煙剤)を使用する。 (くん煙剤一覧の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ブルームレス台木に接ぎ木したキュウリは発病しやすい。
疫病 立枯性疫病	植付前 1. 床土、本ぼの土壤消毒を行う。 (土壤くん蒸剤の項参照) 2. 資材を洗浄する。(資材消毒の項参照) 3. 排水不良地は高畦とする。 4. 石灰を使用し土壤酸度の矯正を行う。 生育期 1. かん水量を少なくし、地表面を乾燥させる。 2. 被害株は抜き取り、ほ場外へ持ち出す。 3. 立枯性疫病の発病を見たら、適用薬剤を灌注する。	<ul style="list-style-type: none"> ・カボチャ台木は発生が少ない。 ・ハウス内の乾燥をはかる。 ・キュウリ、スイカ、カボチャなどウリ科植物以外は侵さない。 ・一度発病すると遊走子が水中を泳いで分散し、容易に伝染する。
斑点細菌病	播種前、育苗期 1. 資材消毒・刃物の消毒を行う。(資材消毒の項参照) 2. 育苗期に発病した株は早めに抜き取る。 生育期 1. ハウス内温度の急激な変化を避ける。 2. 病葉、病果、病株をほ場外へ持ち出す。 3. 地表面の残さは残らず集めてほ場外へ持ち出す。	<ul style="list-style-type: none"> ・無機銅剤は幼苗期、高温時の散布では薬害が生ずることがある。 ・無機銅剤の中で、銅含量の高いものは効果が高いが、葉の硬化等の薬害が出易くなるので注意する。 ・有機銅剤は無機銅剤に比べやや効果は劣るが、薬害は少ない。
ホモブシス 根腐病	植付前、生育期 1. 土壤消毒または太陽熱消毒・土壤還元消毒を行う。 (土壤くん蒸剤、太陽熱消毒法による土壤病害虫の防除、土壤還元消毒法による土壤病害虫の防除の項参照) 2. 被害株の根群は抜き取る。	<ul style="list-style-type: none"> ・病原菌の発育適温は24~28℃、最高発育限界は33℃、死滅温度は土壤中で38~40℃24時間以上、42℃6時間以上、44℃3時間以上、46℃1時間以上である。

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
モザイク病 ・CMV ・WMV2 ・PRSV ・ZYMV	育苗期、生育期 1. 育苗床、ハウス、温室の開口部は防虫ネットを張る。 2. 発病株は早期に抜き取り処分する。 3. アブラムシ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	・高温、乾燥下で発生が助長される。 ・カボチャ台木に接ぎ木したキュウリは ZYMV、CMV、WMV2、PRSV 等の重複感染により急性のしおれ症状を示す。
緑斑モザイク病 (KGMMV)	播種前 1. キュウリ、台木用種子は消毒したものを使用する。 2. 床土、本ぼは無病土または無病ぼを選定する。 3. 発病ぼ場は 3~4 年以上の輪作を行う。 4. その他はスイカの緑斑モザイク病の項に準ずる。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照)	
黄化病 (BPYV)	育苗期、生育期 1. 育苗中からオンシツコナジラミの防除を徹底する。 (コナジラミ類防除対策の項参照) 2. 施設栽培では、育苗床、開口部を防虫ネットで被覆する。 (防虫ネットによる防除の項参照)	・ハウス施設周辺の作物、雑草の防除も徹底する。
黄化えそ病 (MYSV)	(野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照、キュウリ黄化えそ病の防除対策の項参照)	・果実表面にモザイク斑を生じることがある。
退緑黄化病 (CCYV)	(野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照、キュウリ退緑黄化病の防除対策の項参照)	
ネコブセンチュウ	植付前 土壌消毒を行う。(土壌くん煙剤の項参照) (ネコブセンチュウの防除対策の項参照)	・太陽熱消毒、土壌還元消毒の効果が期待できる。 (太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除の項、土壌還元消毒法による土壌病害虫防除の項参照)
チャノホコリダニ	生育期 1. 被害株を早期に発見し、少発生うちに防除を徹底する。 2. 天敵農薬スワルスキーカブリダニ(野菜類〈施設野菜〉で登録)を使用する。 (天敵農薬による防除の項参照)	・苗による持ち込みや、コナジラミ類の脚に取り付いて移動することがある。 ・周辺の雑草地等が発生源となることもあるため圃場周りの環境整備を行う。 ・摘葉や摘芯後の残さは、チャノホコリダニの拡散を防ぐためビニール袋等に入れ持ち出す。 ・生長点付近の新葉に寄生し、葉が奇形する。 果実では幼果に寄生すると曲がり果となり、サメ肌状となる。

野菜類—うり類—うり類(成熟)—すいか—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日: 2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名							
						つる枯病	菌核病	炭疽病	うどんこ病	果実汚斑細菌病	褐色腐敗病	アブラムシ類	ハダニ類
1	アフエットフロアブル		普	ベンチオピラド	7	○	○	-	○	-	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	-	○	-	-	-	-	-
3	アントラコール顆粒水和剤		普	プロピネブ	M3	○	-	○	-	-	-	-	-
4	イオウフロアブル		普	硫黄	I:UN F:M2	-	-	-	○	-	-	-	-
5	カッパーシン水和剤		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24, M1	-	-	-	○	○	-	-	-
6	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	-	○	-	-	-	-	-	-
7	ケンジャフロアブル		普	イソフエタミド	7	○	-	-	○	-	-	-	-
8	サンヨール		普	DBEDC	M1	-	-	-	○	-	-	○	○
9	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11, 7	○	○	○	○	-	○	-	-
10	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	○	-	○	-	-	-	-	-
11	ショウチノスケフロアブル		普	1.フルチアニル 2.メバニピリム	U13, 9	-	-	-	○	-	-	-	-
12	スコア顆粒水和剤		普	ジフェノコナゾール	3	○	-	○	○	-	-	-	-
13	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	-	○	○	-	-	-	-
14	スミブレンド水和剤		普	1. ジェトフェンカルブ 2. プロシミドン	10, 2	○	○	-	-	-	-	-	-
15	スミレックス水和剤		普	プロシミドン	2	○	○	-	-	-	-	-	-
16	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	○	-	-	-	-	-
17	ドーシャスフロアブル		普	1. TPN 2. シアゾファミド	M5, 21	○	-	○	-	-	○	-	-
18	ドキリンフロアブル		普	有機銅	M1	○	-	○	-	○	-	-	-
19	トップジンMペースト		普	チオファネートメチル	1	○	-	-	-	-	-	-	-
20	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	○	○	-	-	-	-	-
21	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	-	○	-	-	-	-
22	パンチョTF顆粒水和剤		普	1. シフルフェナミド 2. トリフルミゾール	U6, 3	-	-	-	○	-	-	-	-
23	フォリオゴールド		普	1. TPN 2. メタラキシル 及びメタラキシルM	M5, 4	○	-	○	-	-	○	-	-
24	プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアバリ カルバイソプロピル	M5, 40	-	-	○	-	-	○	-	-
25	ベルコートフロアブル		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	○	-	-	-	-
26	ベルコート水和剤		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	○	-	-	-	-
27	ペンコゼブフロアブル		普	マンゼブ	M3	○	-	○	-	-	-	-	-

野菜類—うり類—うり類(成熟)—すいか—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名							
						つる 枯病	菌 核病	炭 疽病	う ど ん こ 病	果 実 汚 斑 細 菌 病	褐 色 腐 敗 病	ア ブ ラ ム シ 類	ハ ダ ニ 類
28	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	○	○	○	-	-	-	-	-
29	ポリオキシシAL水溶剤		普	ポリオキシシ	19	○	-	-	○	-	-	-	○
30	ラミック顆粒水和剤		普	1. イミノクタジン 2. ピリオフェノン	M7,50	-	○	-	○	-	-	-	-
31	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	-	○	-	-
32	リドミルゴールドMZ		普	1. マンゼブ 2. メタラキシル 及びメタラキシルM	M3、4	-	-	-	-	-	○	-	-
33	レーバスフロアブル		普	マンジプロバミド	40	-	-	-	-	-	○	-	-
34	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	○	○	-	-	-	-	-	-

野菜類—うり類—うり類(成熟)—すいか—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名												
						ア ブ ラ ム シ 類	ミ ナ ミ キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	ア ザ ミ ウ マ 類	ワ タ ア ブ ラ ム シ	オ オ タ バ コ ガ	ハ ダ ニ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ウ リ ハ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ヨ ト ウ ム シ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ	ウ リ ノ メ イ ガ	う ど ん こ 病
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アグロスリン水和剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息 香酸塩	6	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
7	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	カネマイトフロアブル		普	アセキノシル	20B	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
10	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	○	-
11	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-
12	コルト顆粒水和剤	抑制	普	ピリフルキナゾン	9B	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
13	コロマイト乳剤	抑制	普	ミルベメクチン	6	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
14	サンマイトフロアブル		劇	ピリダベン	21A	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○
15	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	スターマイトフロアブル		普	シエノピラフェン	25A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
18	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	ダイアジノン乳剤40		劇	ダイアジノン	1B	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
20	ダニオーテフロアブル		普	アシノナピル	33	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
21	ダニサラバフロアブル		普	シフルメトフェン	25A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
22	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメー ト	21A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
23	ダブルフェースフロアブル		普	1.ピフルブミド 2.フェン ピロキシメート	25B、21A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-

* すいかにおけるアドマイヤーフロアブルの使用時期は、ただし書きに注意；(ただし、露地栽培については着果後)。

野菜類—うり類—うり類(成熟)—すいか—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日: 2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名												
						ア ブラ ム シ 類	ミ ナ ミ キ イ ロ ア ザ ミ ウ マ	ア ザ ミ ウ マ 類	ワ タ ア ブ ラ ム シ	オ オ タ バ コ ガ	ハ ダ ニ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ウ リ ハ ム シ	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ヨ ト ウ ム シ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ	ウ リ ノ メ イ ガ	う ど ん こ 病
24	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
25	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-
28	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
29	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロッ クス	3A	○	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-
30	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
31	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
32	ハチハチフロアブル	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
33	ハチハチ乳剤	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○
34	パロックフロアブル	抑制	普	エトキサゾール	10B	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
35	ピラニカEW		劇	テブフェンピラド	21A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
36	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメキン	34	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-
38	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
39	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
40	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニプリ ロール	28	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
41	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
42	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	○	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-
44	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
45	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプリロール	28	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-

13-(4) すいか（野菜類、うり類(成熟)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
立枯病 つる割病	植付前 1. 発病ほ場は、土壌消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項参照) 2. つる割病発病地では、「かちどき2号」、「台丈夫」、「トップガン」、「台力」、「つわもの」等の台木に接木する。	
黒点根腐病 ホモプシス根腐病	植付前 発病ほ場は、土壌消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項参照) 生育期 発病株の根群は抜きとる。	・ホモプシス根腐病菌の発育適温は24~28℃、最高発育限界は33℃、死滅温度は土壌中で38~40℃24時間以上、42℃6時間以上、44℃3時間以上、46℃1時間以上である。
つる枯病	植付前 資材消毒を行う。(資材消毒の項参照) 生育期 1. 適用薬剤の予防散布を行う。 2. 茎に発病した場合には、病患部に塗布剤を塗布する。	
うどんこ病	生育期 1. 密植を避け、ハウス、トンネル内の換気、採光を図る。 2. 発病初期の防除を徹底し、適用薬剤のローテーション散布を行う。	
緑斑モザイク病 (CGMMV)	植付前 発病ほ場は3~4年以上の輪作を行う。 生育期 1. 発病株の根は可能な限り掘り取り、ほ場外へ持ち出す。 2. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 収穫後 茎葉、根、マルチ材を集めてほ場外へ持ち出す。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照)	
モザイク病 ・CMV ・WMV2 ・PRSV ・ZYMV	植付前 1. ほ場周辺の雑草は、伝染源や媒介虫の増殖源となるので除去する。 2. 施設では、開口部を防虫ネットで被覆する。 生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 3. アブラムシ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	

病害虫名	防除方法	参考事項
退緑えそ病 (CCYV)	植付前 1. ほ場周辺の雑草は、伝染源や媒介虫の増殖源となるので除去する。 2. 施設では、開口部を防虫ネットで被覆する。 生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. コナジラミ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、コナジラミ類防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	
ネコブセンチュウ	植付前 土壌消毒を行う(土壌くん煙剤の項参照) (ネコブセンチュウの防除対策の項参照)	

野菜類－うり類－うり類(成熟)－メロン－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機分類	病害虫雑草名										
						うどんこ病	つる枯病	べと病	苗立枯病	炭疽病	斑点細菌病	菌核病	疫病	アブラムシ類	ハダニ類	
1	アフエットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アリエッティ水和剤		普	ホセチル	P7	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
4	石原ラミック顆粒水和剤		普	1. イミノクタジン 2. ピリオフェノン	M7、50	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
5	オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
6	カスミンボルドー		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24、M1	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
7	カッパーシン水和剤		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24、M1	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
8	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
9	キノドー水和剤40		普	有機銅	M1	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-
10	ケンジャフロアブル		普	イソフェタミド	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
12	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-
13	スコア顆粒水和剤		普	ジフェノコナゾール	3	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
15	トップジンMペースト		普	チオファネートメチル	1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	フルピカフロアブル		普	メパニピリム	9	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアバリカルブイソプロピル	M5、40	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
20	ベルコートフロアブル		普	イミノクタジン	M7	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
21	ペンコゼブフロアブル		普	マンゼブ	M3	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
22	ホライズンドライフロアブル		普	1. シモキサニル 2. ファモキサドン	27、11	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
23	ポリオキシシンAL水溶剤		普	ポリオキシシン	19	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○
24	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
26	リドミルゴールドMZ		普	1. マンゼブ 2. メタラキシル及びメタラキシルM	M3、4	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
27	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-

野菜類—うり類—うり類(成熟)—メロン—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名											
						トマトハモグリバエ	ミナミキイロアザミウマ	アブラムシ類	コナジラミ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類	ハダニ類	ウリハムシ	ネコブセンチュウ	ネキリムシ類	コガネムシ類幼虫	
1	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アグリメック	抑制	劇	アバメクチン	6	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-
3	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
5	アドマイヤー水和剤		劇	イミダクロプリド	4A	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
6	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
7	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
8	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
9	ウララDF		普	フロニカミド	29	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
10	カネマイトフロアブル		普	アセキノシル	20B	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
11	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-
12	コルト顆粒水和剤	抑制	普	ピリフルキナゾン	9B	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
13	コロマイト乳剤	抑制	普	ミルベメクチン	6	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-
14	サンマイトフロアブル		劇	ピリダベン	21A	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-
15	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
16	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
17	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
18	ダイアジノン乳剤40		劇	ダイアジノン	1B	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-
19	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
20	ダニオーテフロアブル		普	アシノナピル	33	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
21	ダニサラバフロアブル		普	シフルメトフェン	25A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
22	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメート	21A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
23	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-
24	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-

*メロンにおけるアドマイヤー水和剤の使用時期は、ただし書きに注意；(ただし、露地栽培については着果後)。

野菜類－うり類－うり類(成熟)－メロン－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名										
						トマトハモグリバエ	ミナミキイロアザミウマ	アブラムシ類	コナジラミ類	アザミウマ類	ハモグリバエ類	ハダニ類	ウリハムシ	ネコブセンチュウ	ネキリムシ類	コガネムシ類幼虫
25	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-
26	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
27	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
28	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
29	バロックフロアブル	抑制	普	エトキサゾール	10B	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
30	ピラニカEW		劇	テブフェンピラド	21A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
31	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
32	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
33	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニリプロール	28	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
34	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
35	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
36	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニリプロール	28	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-

野菜類—うり類—うり類(成熟)—かぼちゃ—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名						
						うどんこ病	つる枯病	べと病	疫病	炭疽病	白斑病	フザリウム立枯病
1	アフエットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	○	○	-	-	-	-	-
2	アミスターオブティフロアブル		普	1.TPN 2.アゾキシストロビン	M5、11	○	-	○	○	-	-	-
3	アリエッティ水和剤		普	ホセチル	P7	-	-	○	○	-	-	-
4	イオウフロアブル		普	硫黄	I:UN F:M2	○	-	-	-	-	-	-
5	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	-	-	-	-	-	-
6	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11、7	○	-	-	-	-	-	-
7	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	-	○	○	○	○	-	-
8	ショウチノスケフロアブル		普	1.フルチアニル 2.メパニピリム	U13、9	○	-	-	-	-	-	-
9	スコア顆粒水和剤		普	ジフェノコナゾール	3	○	-	-	-	-	-	-
10	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	○	-	-	○	-
11	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	-	-	-	-	○
12	パンチョTF顆粒水和剤		普	1.シフルフェナミド 2.トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-
13	フルピカフロアブル		普	メパニピリム	9	○	-	-	-	-	-	-
14	プロポーズ顆粒水和剤		普	1.TPN 2.ベンチアバリカル ブイソプロピル	M5、40	○	-	○	○	-	-	-
15	ベフドー水和剤		普	1.イミノクタジン 2.銅	M7、M1	○	-	-	○	-	○	-
16	ベルクート水和剤		普	イミノクタジン	M7	○	-	-	-	-	-	-
17	ポリオキシシAL水溶剤		普	ポリオキシシ	19	○	○	-	-	-	-	-
18	モレストン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-
19	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	○	○	-	-	-
20	リドミルゴールドMZ		普	1.マンゼブ 2.メタラキシル 及びメタラキシルM	M3、4	-	-	○	○	-	-	-

野菜類－うり類－うり類(成熟)－かぼちゃ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						アザミウマ類	コナジラミ類	アブラムシ類	ハダニ類	コガネムシ類幼虫	ケラ	ネキリムシ類	ウリハムシ	カボチャミバエ	ネコブセンチュウ	うどんこ病	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ
1	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	エルサン乳剤		劇	PAP	1B	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	カネマイトフロアブル		普	アセキノシル	20B	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	サンマイトフロアブル		劇	ピリダベン	21A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
9	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
12	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
13	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
15	ニツソラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
17	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニリプロール	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
18	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-
19	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-

13-(6) かぼちゃ（野菜類、うり類(成熟)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
べと病	植付前、生育期 1. 排水を良好に、肥切れさせない。 2. 敷ワラを行う。 3. ハウス、トンネル栽培では換気を十分に行う。	
うどんこ病	生育期 1. ハウス、トンネル栽培では換気を十分に行う。 2. 密植を避け、老葉の除去を行い、採光、通気を図る。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	・DMI 剤は、連用すると耐性菌が出現する。
灰色かび病	植付前、生育期 ハウス、トンネル栽培では換気を十分に行う。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	
疫病	植付前、生育期 1. 排水を良好にする。 2. マルチ栽培を行う。 3. 果実にかぼちゃマットを敷く。	
モザイク病 ・CMV ・ZYMV ・WMV2 ・PRSV	植付前 ほ場周辺の雑草は、伝染源や媒介虫の増殖源となるので除去する。 生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 3. アブラムシ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	
カボチャミバエ	播種前、植付前 前年、発生の多かったほ場では、土壌中に多くの蛹が生息しているので、作付けを避ける。 生育中 被害果実は、ほ場周辺に放置しないこと。	・山間部（標高400m～1,000m）で発生が多い。 ・成虫は7月～9月頃に出現し、産卵管で幼果の内部に産卵する。

野菜類－うり類－うり類(未成熟)－ズッキーニ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						うどんこ病	灰色かび病	べと病	軟腐細菌病	菌核病	つる枯病
1	Zボルドー		普	銅	M1	-	-	-	○	-	-
2	アフエットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	○	-	-	-	-	-
3	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	-	-	-	-	-
4	ゲッター水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.チオファネートメチル	10、1	-	○	-	-	-	-
5	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	-	-	-	-	-
6	スターナ水和剤		普	オキシリニック酸	31	-	-	-	○	-	-
7	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	-	-	-	-	-
8	スミレックス水和剤		普	プロシミドン	2	-	-	-	-	○	-
9	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	-	-	-	-
10	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	○	-	-	-	-	-
11	パンチョTF顆粒水和剤		普	1. シフルフェナミド 2. トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-
12	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	-	-	-	○	○
13	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	○	-	-	-
14	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	○	-	-	-	-

野菜類－うり類－うり類(未成熟)－ズッキーニ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名						
						ア ブ ラ ム シ 類	フ キ ノ メ イ ガ	ア ザ ミ ウ マ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	オ オ タ バ コ ガ	ネ コ ブ セ ン チ ユ ウ	ハ モ グ リ バ エ 類
1	アディオオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	○	-	-	-	-	-
2	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息 香酸塩	6	-	-	-	-	○	-	-
3	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	○	-	-	-
4	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-
5	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-	-	-
6	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	○	-	-	-	-	-	-
7	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	○	-	-	-
8	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-
9	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	○	-	-	-	-
10	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	○	-	-	-	-	-	-
11	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	○	-
12	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-
13	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプ ロール	28	-	-	-	-	-	-	○
14	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	○	-	-	-	-
15	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	-	-	○	-	-	-

13-(7) ズッキーニ（野菜類、うり類(未成熟)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
うどんこ病	生育期 1. 密植を避け、老化葉や発病葉の除去を行う。 2. 支柱等による倒伏防止と採光・通気改善を図る。 3. ハウス・トンネル栽培では、換気を十分に行い通風を図る。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	・やや乾燥しているときに発病しやすい。 ・同一系統の薬剤を連用すると耐性菌が出現しやすいので、連用を避け他の系統薬剤を併用する。
軟腐細菌病	植付前、生育期 1. 排水をよくして過湿を避ける。 2. 被害残さをほ場内に残さないようにする。 3. 支柱等による倒伏防止により、傷口からの感染を防止する。 4. 降雨の影響を受けやすい条件では雨よけ栽培を行う。	・軟腐病と同じ病原菌により発病する。 ・収穫痕や葉柄が折れたりした傷口から感染して腐敗する。
灰色かび病	植付前、生育期 1. 密植を避け、採光と通気改善を図る。 2. 排水をよくして過湿を避ける。 3. マルチや敷ワラを行う。 4. ハウス、トンネル栽培では、換気を十分に行い通風を図る。 5. 花卉から感染しやすいので、果実が肥大してきたら早めに除去する。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	・気温 20℃前後で多湿条件で発病しやすい。 ・同一系統の薬剤を連用すると耐性菌が出現しやすいので、連用を避け他の系統薬剤を併用する。
べと病	植付前、生育期 1. 密植を避け、採光、通気を図る。 2. 排水をよくして過湿を避ける。 3. マルチや敷ワラを行う。 4. ハウス、トンネル栽培では換気を十分に行い通風を図る。	・気温 20℃前後で多湿条件で発病しやすい。 ・葉の表裏の気孔から侵入するのでムラなく適用薬剤を散布する。
モザイク病 ・CMV ・ZYMV ・WMV ・PRSV	生育期 1. ハウスの開口部などは防虫ネットで被覆する。 2. シルバーマルチやシルバーテープなどを活用する。 3. 発病株は早期に抜き取り処分する。 4. 収穫時のハサミなどによる汁液伝染に注意する。 5. アブラムシ類の防除を徹底する。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	・ほ場内の雑草対策を行い、アブラムシの寄生植物を作らない。 ・ウイルス病に強い品種を用いる。 (各種苗会社発表データによる) ○ZYMV、WMV、CMV に強い品種 「ゼルダ・ネロ」、「スプリント」 ○ZYMV、WMV に強い品種 「グリーンポート1号」、「グリーンポート2号」 ○ZYMV、WMV、PRSV に強い品種 「ブラック・ポー」、「ゼルダ・ルーチェ」 ○ZYMV に強い品種 「イエローポート」
疫病	生育期 1. 発病した株は抜き取り、ほ場内に放置せず速やかに搬出する。 2. 過剰施肥は、発病を助長するので適正施肥に努める。 3. 周辺からの雨水の浸入防止や、圃場の排水対策などを行なう。 4. 敷ワラやポリマルチなどを利用し、地表面から雨滴による病原菌のはね上がりを防ぐ。 5. ハウス栽培では、湿度の高まりに注意し、通風をよくする。	・生育温度は 10~31℃で、25~28℃の温度と多湿条件が重なると発病が多くなる。 ・主に茎葉に発病するが、果梗、果実にも発病することがある。

野菜類—うり類—うり類(未成熟)—にがうり—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名						
						うどんこ病	べと病	炭疽病	つる枯病	斑点病	アブラムシ類	ハダニ類
1	Zボルドー		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	○	○	○	-	-	-	-
3	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	-	-	-	-	○	○
4	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	○	-	-	-	-	-
5	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	○	○	○	-	-
6	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	-	○	-	-
7	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	-	-	-	-	-
8	パンチョTF顆粒水和剤		普	1. シフルフェナミド 2. トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-
9	ベルコートフロアブル		普	イミクタジンアルベシル酸塩	M7,19	○	-	-	-	-	-	-
10	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-

野菜類ーうり類ーうり類(未成熟)ーにがうりー殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																
						アブラムシ類	カメムシ類	フキノメイガ	ヨトウムシ類	アザミウマ類	オオタバコガ	コナジラミ類	ウリノメイガ	ミナミキイロアザミウマ	コガネムシ類	タネバエ	ネキリムシ類	ハダニ類	ネコブセンチュウ	ハスモンヨトウ		
1	アデオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
8	コルト顆粒水和剤		普	ビリフルキナゾン	9B	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-
12	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメート	21A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
13	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
14	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	○	○	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	ニツラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
16	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
17	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
18	ハチハチ乳剤	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○
20	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○
21	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

13-(8) にがうり (野菜類、うり類(未成熟)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
つる割病	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発病ほ場は土壌消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項参照) 2. カボチャ台木に接ぎ木する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カボチャ台木の接ぎ木栽培ではネコブセンチュウの被害が多くなるので注意する。
つる枯病	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適用薬剤を使用する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病原菌は被害残渣上で越冬し、翌年の伝染源となるので、ほ場外へ持ち出し、適正に処分する。
うどんこ病	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 肥切れさせないようにする。 2. 摘心、摘葉をこまめに行い通風をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高温・多湿条件で日照不足の場合に発病が多く、茎葉が過繁茂になると発病を助長するため、通風をよくする。 ・発病すると病状の進展が早いので、発病葉は摘葉を行い、早期防除を行う。
モザイク病 CMV ZYMV	<p>植付前、生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ほ場周辺の雑草は、伝染源や媒介虫の増殖源となるので除去する。 2. 発病株は早期に抜き取り処分する。 3. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 4. アブラムシ類の防除を徹底する。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照) 	
細菌性病害	<p>植付前</p> <p>土壌表面からの土粒とともに病原菌の跳ね上がりを防止するため、ポリマルチの被覆を行う。</p> <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 予防として銅剤を定期的に散布する。 2. 被害茎葉はすぐにほ場外に持ち出し適切に処分する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・病原菌は気孔、水孔などの植物の開口部のほか、害虫による食害痕あるいは風、管理作業によって生じた傷口から感染する。 ・排水不良や通気性の悪い圃場で発生しやすい。 ・葉の病斑部分は破れそうなほど薄くなる。
ネコブセンチュウ	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) 2. は種前または植付前に適用薬剤(殺線虫粒剤)を使用する。 (ネコブセンチュウの防除対策の項参照) 	
ワタヘリクロノメイガ(ウリノメイガ)	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発生初期に適用農薬を使用する。 2. 施設栽培では、防虫ネット(2~4mm目)を展張し侵入を防ぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・若齢幼虫は葉裏から葉肉を食害するため、葉の一部が透けてみえる。 ・中~老齢幼虫になると、葉を巻いて潜り、内側から食害する。また、果実の内部に食入する。そのため、薬剤がかかりにくくなることから、若齢期のうちに防除を行う。

野菜類-なす科果菜類-トマト-殺菌剤

※農業の使用に際しては、必ず農業のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																				
					うどんこ病	すすかび病	灰色かび病	菌核病	葉かび病	立枯病	苗立枯病	苗立枯病(リゾクトニア菌)	疫病	かいよう病	軟腐病	斑点細菌病	輪紋病	斑点病	萎凋病	褐色輪紋病	アブラムシ類	コナジラミ類	ハダニ類	トマトサビダニ	
1 アフェットフロアブル		普	ベンチオピラド	7	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2 アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 インプレッションクリア		-	バチルス アミロリクエ ファンエンス	BM2	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4 エコショット		-	バチルス スズチリス	BM2	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	-	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 オロンディスウルトラSC		普	1.オキサチアピプロリン 2.マンジプロバミド	49,40	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24, M1	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
8 カッパーシン水和剤		普	1.カスガマイシン 2.銅	24, M1	-	-	-	-	○	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
9 カリグリーン		普	炭酸水素カリウム	NC	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10 カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11 クプロシールド		普	銅	M1	-	○	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12 クロスアウトフロアブル		普	ピリオフェノン	50	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13 ゲッター水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.チオファネートメチル	10, 1	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14 ケンジャフロアブル		普	イソフェタミド	7	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 ザンプロDMフロアブル		普	1.アメクトラジン 2.ジメトモルフ	40	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16 サンヨール		普	DBEDC	M1	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-
17 シグナムWDG		普	1.ピラクロストロピン 2.ボスカリド	11, 7	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18 ジマンダイセンフロアブル		普	マンゼブ	M3	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19 ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 ショウチノスケフロアブル		普	1.フルチアニル 2.メナビピリム	9, U13	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21 スコア顆粒水和剤		普	ジフェノコナゾール	3	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22 スミレックス水和剤		普	プロシミドン	2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23 セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24 ゴーベックエンテクタSE		普	1.アミスプロム 2.オキサチアピプロリン	21, 49	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25 ダイアメリットDF		普	1.イミノクタジン 2.ポリオキシシン	M7, 19	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26 ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	○	-	○	-	-	○	○	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
27 ドーシャスフロアブル		普	1. TPN 2. シアゾファミド	M5, 21	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28 トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29 トリフミン乳剤		普	トリフルミゾール	3	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類-なす科果菜類-トマト-殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																							
					うどんこ病	すすかび病	灰色かび病	菌核病	葉かび病	立枯病	苗立枯病	苗立枯病(リゾクトニア菌)	疫病	かいよう病	軟腐病	斑点細菌病	輪紋病	斑点病	萎凋病	褐色輪紋病	アブラムシ類	コナジラミ類	ハダニ類	トマトサビダニ				
30 パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31 パンチョTF顆粒水和剤		普	1.シフルフェナミド 2.トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32 ピクシオDF		普	フェンピラザミン	17	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33 ビシロックフロアブル		普	ビカルブトラゾクス	U17	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34 ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35 ファセキワイドフロアブル		普	1.イミノクタジン 2.ピリダクロメチル	M7、53	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36 フルピカフロアブル		普	メバニピリム	9	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37 プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアバリカルブ イソプロピル	M5、40	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38 ベルクートフロアブル		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39 ペンコゼブフロアブル		普	マンゼブ	M3	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40 ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41 ホライズンドライフロアブル		普	1. シモキサニル 2. ファモキサドン	27、11	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42 ポリオキシシAL水溶剤		普	ポリオキシシ	19	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43 マイコシールド		普	オキシテトラサイクリン	41	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44 ミギワ10フロアブル		普	イブフルフェノキン	52	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45 モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○
46 ライメイフロアブル		普	アミスルプロム	21	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47 ラミック顆粒水和剤		普	1. イミノクタジン 2. ピリオフェノン	M7、50	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48 ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
49 リドミルゴールドMZ		普	1.マンゼブ 2.メタラキシル及びメタラキシルM	M3、4	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50 レーバフロアブル		普	マンジプロバミド	40	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
51 ロブラール水和剤		普	イブロジオン	2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類-なす科果菜類-トマト-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																	
					オオタバコガ	ミカンキイロアザミウマ	コナジラミ類	ハモグリバエ類	アザミウマ類	トマトサビダニ	トマトハモグリバエ	アブラムシ類	オンシツコナジラミ	タバココナジラミ類(シを 含む)	ハスモンヨトウ	ハダニ類	ネキリムシ類	ナミハダニ	トマトキバガ	ネコブセンチュウ	うどんこ病	
34	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
35	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
36	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	ファインセーフフロアブル	抑制	劇	フロメキン	34	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
38	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-
39	ブリロックス粒剤オメガ	抑制	普	シアントラニプロール	28	-	-	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-
40	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-
41	プレバソソフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプロール	28	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
42	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-
45	ベミデタッチ		普	グリセリン酢酸脂肪酸エステル	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
46	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニプロール	28	-	-	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-
47	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
48	マッチ乳剤	抑制	普	ルフエスロン	15	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
49	マラソソ乳剤		普	マラソソ	1B	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
50	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
51	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
52	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	-	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
53	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプロール	28	○	-	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-

野菜類-なす科果菜類-トマト(施設栽培)-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
					コナジラミ類	
1	バコトップ		-	タバコカスミカメ	-	○

野菜類-なす科果菜類-ミニトマト-殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名														
						うどんこ病	すすかび病	灰色かび病	菌核病	葉かび病	疫病	かいよう病	斑点病	輪紋病	萎凋病	立枯病	トマトサビダニ	アブラムシ類	コナジラミ類	ハダニ類
1	アフエットフロアブル		普	ベンチオピラド	7	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
2	アミスターオプティフロアブル		普	1.TPN 2.アゾキシストロビン	M5、11	-	○	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
3	イオウフロアブル		普	硫黄	I:UN F:M2	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
4	インプレッションクリア		-	バチルス アミロリクエ ファシエンス	BM2	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	エコショット		-	バチルス ズブチリス	BM2	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	オロンディスウルトラSC		普	1.オキサチアピプロリン 2.マンジプロバミド	49、40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	-	-	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
8	カリグリーン		普	炭酸水素カリウム	NC	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	クプロシールド		普	銅	M1	-	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
11	クリーンカップ		普	1.バチルス ズブチリス 2.銅	BM2、M1	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	クロスアウトフロアブル		普	ピリオフェノン	50	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	ゲッター水中和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.チオファネートメチル	10、1	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	ケンジャフロアブル		普	イソフェタミド	7	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	ザンプロDMフロアブル		普	1.アメクトラジン 2.ジメ トモルフ	45、40	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
16	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○
17	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロピン 2.ボスカリド	11、7	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
18	セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
19	ゾーベックエンテクタSE		普	1.アミスルプロム 2.オキサチアピプロリン	21、49	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	○	-	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
21	トップジンM水中和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	トリフミンジェット		劇	トリフルミゾール	3	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	トリフミン水中和剤		普	トリフルミゾール	3	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	ネクスターフロアブル		普	イソピラザム	7	○	○	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
25	パルミノ		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○
26	パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
27	パンチョTF顆粒水中和剤		普	1.シフルフェナミド 2.トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	ピクシオDF		普	フェンピラザミン	17	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類-なす科果菜類-ミニトマト-殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名														
						うどんこ病	すすかび病	灰色かび病	菌核病	葉かび病	疫病	かいよう病	斑点病	輪紋病	萎凋病	立枯病	トマトサビダニ	アブラムシ類	コナジラミ類	ハダニ類
29	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	-	○	○	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-
31	フェスティバル水和剤		普	ジメトモルフ	40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	フセキワイドフロアブル		普	1.イミノクタジン 2.ピリダクロメチル	M7、53	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33	フルピカフロアブル		普	メバニピリム	9	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34	プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアバリカルブイソプロピル	M5、40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35	ベンコゼブフロアブル		普	マンゼブ	M3	-	○	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
36	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
37	ホライズンドライフロアブル		普	1. シモキサニル 2. ファモキサドン	27、11	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38	ミギワ10フロアブル		普	イプフルフェノキン	52	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39	ライメイフロアブル		普	アミスルブロム	21	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41	レーバスフロアブル		普	マンジプロバミド	40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-

野菜類-なす科果菜類-ミニトマト-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機分類	病害虫雑草名																
						オオタバコガ	ミカンキイロアザミウマ	コナジラミ類	ラミ(シルバリーフコナジ)	タバココナジラミ類	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	トマトサビダニ	ハモグリバエ類	ハダニ類	トマトハモグリバエ	ナミハダニ	アザミウマ類	トマトキバガ	ネコブセンチュウ	うどんこ病	
1	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアトキサム	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アタプロン乳剤	抑制	普	クロルフルアズロン	15	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アドマイヤー顆粒水和剤		劇	イミダクロプリド	4A	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アニキ乳剤		普	レピメクテン	6	○	○	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-
6	アフアーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-
7	アルパリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	アルパリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	ウララDF		普	フロニカミド	29	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	エコビタ液剤		普	還元澱粉糖化物	-	-	-	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○
11	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	○	-	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-
12	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-
13	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	サフオイル乳剤		普	調合油	F:NC	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○
15	サンクリスタル乳剤		普	脂肪酸グリセリド	-	-	-	○	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○
16	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
19	ダブルシューターSE	抑制	普	1.脂肪酸グリセリド 2.スピノサド	25B,21A	○	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-
20	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
22	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	ディアナSC		普	スピネトラム	5	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-
24	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	-	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
26	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-

野菜類－なす科果菜類－ミニトマト－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																
						オオタバコガ	ミカンキイロアザミウマ	コナジラミ類	タバコナジラミ類 (シルバリーフコナジラミを含む)	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	トマトサビダニ	ハモグリバエ類	ハダニ類	トマトハモグリバエ	ナミハダニ	アザミウマ類	トマトキバガ	ネコブセンチュウ	うどんこ病		
27	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
28	ファインセーフフロアブル	抑制	劇	フロメキン	34	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
29	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
30	ブリロッソ粒剤オメガ	抑制	普	シアントラニプロール	28	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-
31	ブレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
32	プレバソフフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプロール	28	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
33	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
34	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-
36	ベミデタッチ		普	グリセリン酢酸脂肪酸エステル	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
37	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニプロール	28	-	-	○	-	-	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-
38	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39	マッチ乳剤	抑制	普	ルフェヌロン	15	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
40	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
41	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
42	モベントフロアブル		普	スピロテラマト	23	-	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
43	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプロール	28	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-

野菜類－なす科果菜類－ミニトマト(施設栽培)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						コナジラミ類
1	バコトップ		-	タバコカスミカメ	-	○

13-(9・10) トマト・ミニトマト（野菜類、なす科果菜類に登録のある農薬も使用可能）

※トマトとミニトマトは農薬登録上、別の作物であるので注意する。

病害虫名	防除方法	参考事項
疫病	植付前 1. ジャガイモ畑の付近や跡地での栽培を避ける。 2. 低湿地は、暗渠排水を行う。 生育期 1. 換気、通気を良好にし、湿度の低下を図る。 2. 敷きワラを行う。 3. 窒素肥料の過剰施用を避ける。	<ul style="list-style-type: none"> 病原菌の発育適温は20℃、多湿時に多発する。 葉の結露時間が6時間以上で発病しやすい。 露地抑制栽培に発生が多い。 育苗期の防除を徹底する。 降雨が多い時期は、雨の合間をみて2～3日毎に薬剤散布する。 地際部にも適用薬剤がかかるように散布する。
葉かび病	植付前、生育期 1. 抵抗性品種を使用する。 2. ハウス、トンネル内は、換気をよくする。 3. 密植、過かん水を避ける。 4. 肥料切れをさせない。 5. 薬剤散布は予防に重点をおき、ローテーション散布を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 22℃の適温下、湿度90%以上の多湿条件下で発生する。 潜伏期間が14日くらいあり、発病後の散布は効果が劣るため、予防散布を行う。 抵抗性品種であっても、病原菌の系統（レース）によっては発病する場合がありますので注意する。
すすかび病	生育期 1. ハウス、トンネル内は、換気をよくする。 2. 密植、過かん水を避ける。	<ul style="list-style-type: none"> 症状はトマト葉かび病に似ていて、肉眼での診断は困難だが、光学顕微鏡下で分生子を観察することで容易に判別できる。
輪紋病	生育期 高温多湿条件を避ける。	<ul style="list-style-type: none"> 病原菌の発育適温は26～28℃。
灰色かび病	生育期 1. ハウス、トンネル内は、換気をよくする。 2. ハウスは、全面マルチを行う。 3. 枯死花卉の除去（花びら取り）を行う。 4. 被害花、果実を早期に処分する。 4. 循環扇や送風ダクトによる送風（ハウス内空気の循環）を行う。 5. 薬剤耐性菌がしやすいので注意する。 （果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照）	<ul style="list-style-type: none"> 夜間の湿度を95%以下、1日当たりの結露時間を5時間以内に制御すれば発病を抑制できる。 被害花、果実の処理は、肥料の空き袋などに入れ、密封しておくとも病原菌は死滅する。 果実ではしばしば径1～2mmの黄白色円形の小斑点（ゴースト・スポット）を生じる。
菌核病	生育期 1. ハウス、トンネル内は、換気をよくする。 2. 被害花、果実を早期に処分する。	<ul style="list-style-type: none"> 被害花、果実の処理は、肥料の空き袋などに入れ、密封しておくとも病原菌は死滅する。
斑点細菌病	生育期 1. 曇雨天の時は、芽かき、葉かきを避ける。 2. 芽かき、葉かきの後や降雨後に適用薬剤を散布する。	
かいよう病	生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 芽かき、葉かきの後や降雨後に適用薬剤を散布する。 3. 発病株から健全株への二次伝染を防止するため、栽培資材やハサミなどは資材消毒する。 （資材消毒の項参照） 4. 抵抗性台木に接ぎ木する。（表を参照）	<ul style="list-style-type: none"> 病原菌は土壌および種子伝染する。 芽かき跡などの傷口から病原菌が侵入する。 刃先を高温で自動除菌するハサミが市販されている。

病害虫名	防除方法	参考事項
うどんこ病	生育期 1. 多発後の防除は困難なため、早期に適用薬剤を散布する。 2. 過繁茂にしない。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・葉にはじめ白色の円形病斑ができ、やがて拡大し葉全体を覆い、小麦粉を振りかけたようになる。日数が経過すると、葉面は灰白色で汚れた感じになる。施設栽培で多発すると下葉から枯れ上がり大きな被害となる。 ・施設栽培の乾燥条件下での発生が多く、分生子の発芽適温は20～25℃で、10月～11月および3～6月に多発する。
萎凋病 根腐萎凋病 青枯病 褐色根腐病 半身萎凋病	植付前 1. 露地栽培の発病地では、輪作を行う。 2. 抵抗性品種を導入する。(表を参照) 3. 抵抗性台木に接ぎ木する。(表を参照) 4. 土壌消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項、太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除の項、土壌還元消毒法による土壌病害虫防除の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・未熟有機物を施用すると発病を助長する(特に萎凋病)。 ・ネコブセンチュウ類は土壌病害を助長する。 ・病原菌発育適温 萎凋病 (<i>Fusarium</i>) 27～28℃ 根腐萎凋病 (<i>Fusarium</i>) 10～20℃ 青枯病 (<i>Ralstonia</i>) 35～37℃ 褐色根腐病 (<i>Pyrenochaeta</i>) 13～18℃ 半身萎凋病 (<i>Verticillium</i>) 22～25℃ ・青枯病は、かいはよう病同様芽かき跡などの傷口から病原菌が侵入する。
モザイク病 (TMV)	植付前、生育期 1. 抵抗性品種を用いる。 2. 発病株は早期に抜き取り処分する。 3. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・病原ウイルスは接触伝染性が強く、また土壌および種子からも伝染する。 ・葉にモザイクを生じ、葉の先端が細くなることがある。茎、葉、果実にえそを生じることがある。季節により萎凋を生じることもある。 ・TMV抵抗性品種は萎凋病の項を参照。
モザイク病 (CMV)	播種前 周辺の雑草は、本病発生源となるため除去する。 育苗期、生育期 1. 苗床、施設の開口部は防虫ネットで被覆する。 2. 発病株は早期に抜き取り処分する。 3. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 4. アブラムシ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・幼苗時に感染すると被害が大きい。 ・CMVの感染により、果実の硬化、白すじが入ることがある。
黄化えそ病 (TSWV)	播種前 周辺の雑草は、本病発生源となるため除去する。 生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 汁液伝染するおそれがあるので、被害株に触れた器具や手で健全株に触れない。 3. アザミウマ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、ミカンキイロアザミウマの防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・本ウイルスは、多くの植物に感染する。 ・葉にえそ斑点、茎にえそ条斑を生じるが、CMVによる症状との区別が難しい。
茎えそ病 (CSNV)	植付前 本病原ウイルスはキクにも感染するため、施設へのキクの持ち込みや、ほ場の周囲の不要なキクは処分する。 (黄化えそ病の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・本病は、茎に明瞭なえそ、葉に退緑・えそ症状が発生し、上記のトマト黄化えそウイルス(TSWV)によるトマト黄化えそ病に酷似している。そのため、外見での判別は困難だが、遺伝子診断による判別は可能である。

病害虫名	防除方法	参考事項
黄化葉巻病 (TYLCV)	(野菜・花きのウイルス病防除対策の項、トマト黄化葉巻病防除対策の項、コナジラミ類防除対策の項参照)	
黄化病 (ToCV)	<p>植付前、生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 周辺の雑草は、コナジラミ類の発生源となるため除去する。 2. 発病株は、早期に抜き取り処分する。 3. コナジラミ類の防除を行う。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項、コナジラミ類防除対策の項参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ・発病の初期には、葉の一部の葉脈間が退緑黄化し、黄斑を生じる。症状が進展すると葉脈に沿った部分を残して葉全体が黄化し、葉巻症状やえそ症状が現れる。下位葉で比較的重症化する傾向があり、症状は生理障害(苦土欠乏症)に良く似ている。
コナジラミ類	(コナジラミ類防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	
アザミウマ類	<p>植付前、育苗期、生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設内および周辺の雑草は寄生植物となるため除去する。 2. 苗による持ち込みに注意し、健全苗を用いる。 3. 苗床、施設の開口部は防虫ネットで被覆する。 (ミカンキロアザミウマの防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒラズハナアザミウマによる白ぶくれ果の被害が多い。
トマトサビダニ	<p>生育期</p> <p>体長が0.18mm前後と極小であり、発見が遅れやすいので、適用薬剤で予防散布を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・1世代の経過時間は、25℃では6~7日、20℃では10~14日と非常に短い。また、乾燥を好み、低湿度の方が1世代経過時間が短く、産卵数も多い。 ・マルハナバチや天敵を使用しているほ場で、殺虫剤の使用回数が減った場合に発生しやすい。 ・寄生後症状が現れるまでに1ヵ月程度かかるため、発見が遅れると被害が著しい。
ネコブセンチュウ	<p>植付前</p> <p>土壤消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) (ネコブセンチュウの防除対策の項参照)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・土壤線虫の死滅温度は49~53℃(湿熱30分間)。
立枯病	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 栽培終了後、培土や培地内の残渣を取り除く。 3. 過度のかん水を避けると共に、ほ場内の排水対策を徹底する。 4. 定植前の土壤消毒の時間を十分長くとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・葉の黄化や萎れが発生し、最終的に枯死する。地際部には、褐変やひび割れが見られ、茎の内部は黒褐色に腐敗する。 ・地際部や露出根部の罹病部表面に赤~橙色の子のう殻が形成される点の特徴
フザリウム株腐病	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 栽培終了後、培土や培地内の残渣を取り除く。 3. 発病株から健全株への二次伝染を防止するため、栽培資材やハサミなどは資材消毒する。 (資材消毒の項参照) 4. 定植前の土壤消毒の時間を十分長くとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主根の表面に淡褐色で不整形の病斑が形成され、次第に褐変腐敗した大型の病斑となり、地際部付近の茎の褐変腐敗となって現れる。葉は下葉から黄化し、次第に萎凋、枯死する ・土壤病害であるが、摘葉に伴う茎の傷口から感染・発病する場合もある。

病害虫名	防除方法及び参考事項											
萎凋病 根腐萎凋病 青枯病 褐色根腐病 半身萎凋病	トマト品種の土壌病害抵抗性及び耐病性											
	品 種	F1	F2	F	B	V	CF	N	Cmm	TYLCV	TMV	TMV 抵抗性遺伝子
	【大玉トマト】											
	桃太郎8	○	○		○	○		○			○	Tm-2 ^a /+
	桃太郎なつみ	○	○			○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a
	桃太郎ファイト	○	○	○	○	○	○Cf4	○			○	Tm-2 ^a
	桃太郎はるか	○		○		○		○			○	Tm-2 ^a
	桃太郎サニー	○	○		○	○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a
	CF 桃太郎はるか	○		○		○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a
	CF 桃太郎ヨーク	○	○	○		○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a /+
	桃太郎ワンダー	○	○		○	○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a
	桃太郎ネクスト	○	○	○		○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a
	桃太郎ホープ	○	○	○		○	○Cf9	○		○	○	Tm-2 ^a
	マイロック	○	○		○	○	○	○			○	Tm-2 ^a /+
	麗 容	○	○			○	○Cf5	○			○	Tm-2 ^a /+
	麗 夏	○	○			○	○	○			○	Tm-2 ^a /+
	麗 月	○	○	○		○	○	○			○	Tm-2 ^a
	麗 妃	○	○	○		○	○	○		○	○	Tm-2 ^a
	かれん	○	○			○	○Cf9	○		○	○	Tm-2 ^a
	ごほうび	○	○	○		○	○	○			○	Tm-2 ^a /+
	りんか409	○	○			○	○	○			○	Tm-2 ^a /+
	れおん	○	○			○	○	○			○	Tm-2 ^a
	ソプラノ	○	○	○		○	○	○			○	Tm-2 ^a
	ハウスパルト	○		○		○	○	○			○	Tm-2 ^a
	甘しずく	○										+/+
	レディーファースト	○		○							○	Tm-2 ^a /+
	みそら64	○	○			○	○Cf9	○			○	Tm-2 ^a
	桃太郎ピース	○	○	○		○	○Cf9	○		○	○	Tm-2 ^a
	【中玉トマト】											
	フルティカ						○Cf9	○			○	Tm-2 ^a
シンディースイート	○	○	○			○	○			○	Tm-2 ^a	
レッドオーレ	○									○	Tm-2/+	
シシリアンルージュ	○				○					○	Tm-1	
F1:萎凋病レースI F2:萎凋病レースII F:根腐萎凋病 B:青枯病 V:半身萎凋病 CF:葉かび病(Cf4、Cf9はそれぞれ葉かび病抵抗性遺伝子Cf-4、Cf-9を有する) N:ネコブセンチュウ Cmm:かいよう病 TMV:タバコモザイクウイルス TYLCV:黄化葉巻病(○はイスラエル系統・イスラエルマイルド系統の両方に耐病性をもつ)												
ミニトマト品種の土壌病害抵抗性及び耐病性												
品 種	F1	F2	F	B	V	LS	CF	N	Cmm	TYLCV	TMV	TMV 抵抗性遺伝子
コ コ	○					○		○			○	Tm-2 ^a
ア イ コ	○	○				○	○				○	Tm-2 ^a /+
イエローアイコ						○	○				○	Tm-2 ^a /+
サンチェリーピュア	○	○				○	○Cf9				○	Tm-2 ^a
イエローミミ	○										○	Tm-2
ラプリー藍	○	○	○		○		○Cf9	○			○	Tm-2 ^a
プチキュア	○	○			○			○		○	○	Tm-2 ^a
TY花鳥風月	○	○			○	○	○	○		○	○	Tm-2 ^a
ロイヤルパッション	○					○	○	○		○	○	Tm-2 ^a
TY千果	○					○	○Cf9	○		○	○	Tm-2 ^a
F1:萎凋病レースI F2:萎凋病レースII F:根腐萎凋病 B:青枯病 V:半身萎凋病 LS:斑点病 CF:葉かび病(Cf9は葉かび病抵抗性遺伝子Cf-9を有する) N:ネコブセンチュウ Cmm:かいよう病 TMV:タバコモザイクウイルス TYLCV:黄化葉巻病(○はイスラエル系統・イスラエルマイルド系統の両方に耐病性を持つ)												

病害虫名	防除方法及び参考事項																																																																																																																																																																																																																												
萎凋病 根腐萎凋病 青枯病 褐色根腐病 半身萎凋病	<p>台木用品種の土壌病害抵抗性及び耐病性</p> <table border="1" data-bbox="327 280 1436 869"> <thead> <tr> <th>品 種</th> <th>F1</th> <th>F2</th> <th>F3</th> <th>F</th> <th>B</th> <th>K</th> <th>V</th> <th>N</th> <th>Cmm</th> <th>TMV</th> <th>TMV 抵抗性遺伝子型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Bバリア</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>9</td> <td>1</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>ボランチ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>9</td> <td>3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>グリーンガード</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>グリーンセーブ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>グリーンフォース</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>プロテクト3</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>マグネット</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a/Tm-2</td> </tr> <tr> <td>グランシールド</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>10</td> <td>9</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>ブロック</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a/Tm-2</td> </tr> <tr> <td>フレンドシップ</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a/Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>バックアタック</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>アシスト</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> <tr> <td>がんばる根 -11号</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>7</td> <td>6</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2</td> </tr> <tr> <td>がんばる根トリパー</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-2</td> </tr> <tr> <td>デュエット○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td>Tm-1/Tm-1</td> </tr> <tr> <td>キングバリア</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>Tm-2^a</td> </tr> </tbody> </table> <p> F1: 萎凋病レースⅠ F2: 萎凋病レースⅡ F3: 萎凋病レースⅢ F: 根腐萎凋病 B: 青枯病 K: 褐色根腐病 V: 半身萎凋 N: ネコブセンチュウ Cmm: かいよう病 TMV: タバコモザイクウイルス B、K: 弱 1 ←→ 10 強 (各メーカーカタログから) </p> <p> トマトTMV抵抗性 ・Tm-1型: 保毒型抵抗性、全身感染してもウイルスの増殖を抑制する。 ・Tm-2型: 過敏型抵抗性、局所的なエソを生じて全身感染を防止する。 </p> <p> TMV抵抗性の強弱 (弱い) Tm-1型 < Tm-2型 < Tm-2^a型 (強い) Tm-2^a/+ (ヘテロ) < Tm-2^a/Tm-2^a (ホモ) </p> <p> トマト(穂)・台木品種のTMV抵抗性と接ぎ木の可否 </p> <table border="1" data-bbox="327 1254 1324 1422"> <thead> <tr> <th>穂 \ 台木</th> <th>罹病性またはTm-1型</th> <th>Tm-2型</th> <th>Tm-2^a型</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>罹病性またはTm-1型</td> <td>○</td> <td>△1</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>Tm-2型</td> <td>△2</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>Tm-2^a型</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p> ○は可、×は不可 △1: 台の感染により、全身ネクロシスを軽度だが生じるおそれがある。 △2: 穂の感染により、株全体の生育不良を生じるおそれがある。 </p>	品 種	F1	F2	F3	F	B	K	V	N	Cmm	TMV	TMV 抵抗性遺伝子型	Bバリア	○	○		○	9	1		○	○	○	Tm-2 ^a	ボランチ	○	○		○	9	3	○	○		○	Tm-2 ^a	グリーンガード	○	○	○	○	9	7	○	○		○	Tm-2 ^a	グリーンセーブ	○	○	○	○	9	7	○	○		○	Tm-2 ^a	グリーンフォース	○	○	○	○	8	7	○	○		○	Tm-2 ^a	プロテクト3	○	○	○	○	4	1	○	○		○	Tm-2 ^a	マグネット	○	○		○	6	5	○	○		○	Tm-2 ^a /Tm-2	グランシールド	○	○	○	○	10	9	○	○	○	○	Tm-2 ^a	ブロック	○	○	○	○	6	6	○	○		○	Tm-2 ^a /Tm-2	フレンドシップ	○	○		○	8	9	○	○		○	Tm-2 ^a /Tm-2 ^a	バックアタック	○	○	○	○	8	6	○	○		○	Tm-2 ^a	アシスト	○	○	○	○	8	6	○	○	○	○	Tm-2 ^a	がんばる根 -11号	○	○		○	7	6	○	○		○	Tm-2	がんばる根トリパー	○	○		○	8	7	○	○		○	Tm-2	デュエット○	○	○		○	○		○	○		○	Tm-1/Tm-1	キングバリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Tm-2 ^a	穂 \ 台木	罹病性またはTm-1型	Tm-2型	Tm-2 ^a 型	罹病性またはTm-1型	○	△1	×	Tm-2型	△2	○	○	Tm-2 ^a 型	×	○	○
品 種	F1	F2	F3	F	B	K	V	N	Cmm	TMV	TMV 抵抗性遺伝子型																																																																																																																																																																																																																		
Bバリア	○	○		○	9	1		○	○	○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																																		
ボランチ	○	○		○	9	3	○	○		○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																																		
グリーンガード	○	○	○	○	9	7	○	○		○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																																		
グリーンセーブ	○	○	○	○	9	7	○	○		○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																																		
グリーンフォース	○	○	○	○	8	7	○	○		○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																																		
プロテクト3	○	○	○	○	4	1	○	○		○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																																		
マグネット	○	○		○	6	5	○	○		○	Tm-2 ^a /Tm-2																																																																																																																																																																																																																		
グランシールド	○	○	○	○	10	9	○	○	○	○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																																		
ブロック	○	○	○	○	6	6	○	○		○	Tm-2 ^a /Tm-2																																																																																																																																																																																																																		
フレンドシップ	○	○		○	8	9	○	○		○	Tm-2 ^a /Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																																		
バックアタック	○	○	○	○	8	6	○	○		○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																																		
アシスト	○	○	○	○	8	6	○	○	○	○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																																		
がんばる根 -11号	○	○		○	7	6	○	○		○	Tm-2																																																																																																																																																																																																																		
がんばる根トリパー	○	○		○	8	7	○	○		○	Tm-2																																																																																																																																																																																																																		
デュエット○	○	○		○	○		○	○		○	Tm-1/Tm-1																																																																																																																																																																																																																		
キングバリア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	Tm-2 ^a																																																																																																																																																																																																																		
穂 \ 台木	罹病性またはTm-1型	Tm-2型	Tm-2 ^a 型																																																																																																																																																																																																																										
罹病性またはTm-1型	○	△1	×																																																																																																																																																																																																																										
Tm-2型	△2	○	○																																																																																																																																																																																																																										
Tm-2 ^a 型	×	○	○																																																																																																																																																																																																																										

野菜類-なす科果菜類-なす-殺菌剤

※農業の使用に際しては、必ず農業のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名														
					うどんこ病	すすかび病	灰色かび病	菌核病	苗木枯病	褐紋病	黒枯病	褐色腐敗病	半身萎凋病	褐色斑点病	褐色円星病	フザリウム立枯病	アザミウマ類	チャノホコリダニ	
1	アフエットフロアブル		普	ベンチオピラド	7	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
3	オーソサイド水和剤80		普	キャブタン	M4	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	クロスアウトフロアブル		普	ピリオフェノン	50	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ゲッター水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.チオファネートメチル	10、1	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
7	ケンジャフロアブル		普	イソフェタミド	7	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	シグナムWDG		普	1.ピラクトロピリン 2.ボスカリド	U17	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
10	ショウチノスケフロアブル		普	1.フルチアニル 2.メバニピリム	U13、9	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	スクレアフロアブル		普	マンデストロピン	11	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-
12	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	スミブレンド水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.フロシミドン	10、2	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	スミレックス水和剤		普	フロシミドン	2	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-
16	ダイヤモンドDF		普	1.イミノクタジン 2.ポリオキシシン	M7、19	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-
17	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
18	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
19	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	トリフミン乳剤		普	トリフルミゾール	3	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	ネクスターフロアブル		普	イソピラザム	7	○	○	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-
22	バルミノ		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
23	バレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	パンチョTF顆粒水和剤		普	1.シフルフェナミド 2.トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	ピクシオDF		普	フェンピラザミン	17	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
27	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	○	○	○	○	-	○	○	-	-	○	○	○	-	-
28	フセキワイドフロアブル		普	1.イミノクタジン 2.ピリダクロメチル	M7、53	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	フルピカフロアブル		普	メバニピリム	9	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
30	プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアバリン カルブイソプロピル	M5、40	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-

野菜類-なす科果菜類-なす-殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
					うどんこ病	すすかび病	灰色かび病	菌核病	苗木枯病	褐紋病	黒枯病	褐色腐敗病	半身萎凋病	褐色斑点病	褐色円星病	フザリウム立枯病	アザミウマ類
31 ベルクート水和剤		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32 ベルクートフロアブル		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
33 ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	-
34 ホライズンドライブフロアブル		普	1. シモキサニル 2. ファモキサドン	27, 11	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
35 ポリオキシンAL水溶剤		普	ポリオキシン	19	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
36 ミギワ10フロアブル		普	イブフルフェノキン	52	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
37 モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
38 ライメイフロアブル		普	アミスルプロム	21	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
39 ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
40 ロブラール500アクア		普	イブロジオン	2	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41 ロブラール水和剤		普	イブロジオン	2	-	○	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-

13-(11) なす（野菜類、なす科果菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項																																																																												
苗立枯病	播種前 1. 資材消毒を行う。（資材消毒の項参照） 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 3. 播種時、適用薬剤をかん注する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発芽直後に床土の表面を乾かす。 																																																																												
半枯病 青枯病 半身萎凋病 根腐疫病	播種前、植付前 1. 資材、床土消毒を行う。（資材消毒の項、土壌くん蒸剤の項参照） 2. 発病ほ場は土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 3. 太陽熱消毒を行う。（太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除の項参照） 4. 露地栽培の発病地では、輪作を行う。 5. 半枯病 土壌酸度を矯正し、pH (H ₂ O) 6.0~6.8に保つ。 6. 抵抗性台木に接ぎ木する。 ・台木品種の土壌病害虫抵抗性および耐病性 <table border="1" data-bbox="386 884 833 1563"> <thead> <tr> <th rowspan="2">台木品種</th> <th colspan="4">土壌病害虫名</th> <th rowspan="2">低温伸長性</th> </tr> <tr> <th>半枯病</th> <th>青枯病</th> <th>半身萎凋病</th> <th>ネコブセンチュウ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>赤ナス</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>赤虎</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>台太郎</td> <td>○</td> <td>◎</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>耐病VF</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>トルバム・ビガー</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ミート</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>アシスト</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>カレヘン</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トレロ</td> <td></td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>トナシム</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>緋脚</td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table> <p>農業技術大系およびメーカー資料による。 青枯病における◎はⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ、Ⅴ菌群に、○はⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅴ菌群に防除効果を期待できることを示す</p>	台木品種	土壌病害虫名				低温伸長性	半枯病	青枯病	半身萎凋病	ネコブセンチュウ	赤ナス	○				○	赤虎	○				○	台太郎	○	◎				耐病VF	○		○		○	トルバム・ビガー	○	○	○	○		ミート	○		○		○	アシスト	○	○			○	カレヘン		○	○			トレロ		○	○			トナシム	○	○	○	○		緋脚	○		○		○	<ul style="list-style-type: none"> ・青枯病、半身萎凋病等は、病原菌密度の高いほ場や、菌の系統が異なるほ場においては、接ぎ木しても発病する場合がありますので注意する。 ・半身萎凋病の対策として、前作にブロッコリーを作付け（栽培・収穫後、残渣すき込み）すると本病の発生が減少する。ただし、多発圃場では効果が劣ることから、発病拡大を未然に防ぐ予防的手段として導入する。 ・青枯病に対する抵抗性は、◎印の台太郎のみすべての菌群に、○印の品種はⅣ菌群を除く菌群に防除効果が期待できる。 ・半身萎凋病に対しては、トルバム・ビガー、トナシム、トレロが実用的な抵抗性を有している。 ・多段接ぎ木苗（台木：トナシム、中間台木：台太郎※）を利用することで、トナシム慣行接ぎ木苗より青枯病の発生が抑制される。ただし、多発圃場では効果が劣る場合もある。 ※中間台木の長さは4~5cmとする。 ・青枯病は芽かき跡などの傷口から病原菌が侵入する。 ・刃先を高温で自動除菌するハサミが市販されている。
台木品種	土壌病害虫名				低温伸長性																																																																									
	半枯病	青枯病	半身萎凋病	ネコブセンチュウ																																																																										
赤ナス	○				○																																																																									
赤虎	○				○																																																																									
台太郎	○	◎																																																																												
耐病VF	○		○		○																																																																									
トルバム・ビガー	○	○	○	○																																																																										
ミート	○		○		○																																																																									
アシスト	○	○			○																																																																									
カレヘン		○	○																																																																											
トレロ		○	○																																																																											
トナシム	○	○	○	○																																																																										
緋脚	○		○		○																																																																									
褐色腐敗病	生育期 1. 風雨による土の跳ね上がり防止のため、高畦にして排水をよくする。 2. マルチや敷きワラをする。 3. 窒素過多を避ける。 4. 下葉を整理し、通風をよくする。 5. 被害茎葉や果実は見つけ次第切り取り処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・露地栽培で多く、梅雨明け頃から多発し、被害は盛夏を過ぎた頃に大きい。また、本病罹病果実が出荷調製時に混入すると輸送中に発病するため注意する。 																																																																												

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
灰色かび病	生育期 1. ハウス、トンネル栽培では通風、換気を良好にする。 2. 全面マルチを行う。 3. 褐変した花卉を除去する。 4. 適用薬剤を散布する。(果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	
綿疫病	植付前 1. 窒素過多を避ける。 2. ほ場の排水を図る。	・梅雨期から夏にかけて多雨の際に発生が多い。 ・病原菌発育適温 28℃。
うどんこ病	生育期 1. ハウス、トンネル栽培では通風、換気を良好にする。 2. 適用薬剤を散布する。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)	・同一系統の薬剤を連用すると耐性菌が出現しやすいので連用を避け、他の系統薬剤を併用する。 ・モレスタン水和剤の高温時の散布は葉害を生じやすいので避ける。 ・アミスター20フロアブル、ストロビーフロアブルへの浸透性展着剤(ニーズ、アプローチ BI等)の加用は、葉害を生じやすいので避ける。
褐色斑点病	植付前 発病地やその周辺に植え付けない。 生育中 1. 窒素過多を避ける。 2. 被害茎葉や果実は見つけ次第切り取り処分する。	・梅雨時期と秋雨時期に発生が多く、降雨が続くと被害の拡大が急速である。 ・露地栽培で多く、梅雨明け頃から多発し、被害は盛夏を過ぎた頃に大きい。また、本病は果実の輸送中にも発生する。
褐色円星病	生育期 1. 肥料切れに注意し、樹勢を保つ。 2. 収穫後の罹病茎葉は処分する。	・秋口の降雨、肥料切れ、また低湿地で多発する。
褐紋病	植付前、生育期 1. 排水を良好にし、密植、窒素質肥料の過用をさける。 2. 適用薬剤を散布する。 3. 被害茎葉や果実は見つけ次第切り取り処分する。	・露地栽培で多く、梅雨時期に発生が増加し、被害は盛夏を過ぎた頃に大きい。また、本病は果実の輸送中にも発生する。
モザイク病 ・CMV ・TMV えそ斑点病 (BBWV)	生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. アブラムシ類を防除する。 (野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照)	・モザイク病のCMVとえそ斑点病のBBWVは、アブラムシにより非永続伝搬され、種子、土壌伝染はしない。 また、収穫時のハサミなどで接触伝染することがある。 一方、モザイク病のTMVは接触伝染主体で、種子、土壌伝染もする。
ミナミキイロアザミウマ マメハモグリバエ ハダニ類	(ミナミキイロアザミウマの防除対策の項参照) (ハモグリバエ類の防除対策の項参照) (ハダニ類防除薬剤の特性の項参照) (防虫ネットによる防除の項参照)	
コナジラミ類	(コナジラミ類防除対策の項、防虫ネットによる防除の項参照)	

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
ネコブセンチュウ	植付前 1. 土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) 2. は種前または定植前に適用薬剤(殺線虫粒剤)を使用する。 (ネコブセンチュウの防除対策の項参照)	
チャノホコリダニ	生育期 1. 早期発見に努め、少発生のうちに防除を徹底する。 2. 同一成分の薬剤の連用は避ける。 3. 天敵農薬スワルスキーカブリダニを放飼する。 (天敵農薬による防除の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苗による持ち込みや、コナジラミ類の脚に取り付いて移動することがある。 ・ 雑草にも寄生するため、ハウス内やほ場周辺は除草する。 ・ 薬剤の付着しにくい生長点付近や若い葉に生息しているため、薬剤散布は丁寧に行う。 ・ 摘葉や摘芯後の残さは、チャノホコリダニの拡散を防ぐため ビニール袋等に入れ持ち出す。

野菜類－なす科果菜類－ピーマン及びとうがらし類－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						うどんこ病	灰色かび病	黒枯病
1	パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	○

野菜類－なす科果菜類－ピーマン及びとうがらし類－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						ハダニ類	アザミウマ類	コナジラミ類	オオタバコガ	チャノホコリダニ
1	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	○	○	○	○	○
2	ダブルシューターSE	抑制	普	1.脂肪酸グリセリド 2.スピノサド	25B,21A	○	○	○	○	-

野菜類ーなす科果菜類ーピーマン及びとうがらし類ーピーマンー殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名								
						うどんこ病	灰色かび病	黒枯病	疫病	斑点病	斑点細菌病	炭疽病	菌核病	チャノホコリダニ
1	アフエットフロアブル		普	ベンチオピラド	7	○	○	○	-	○	-	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	-	○	-	-	-	-	-	-	-
3	アミスターオプティフロアブル		普	1. TPN 2. アゾキシストロピン	M5、11	○	○	○	○	○	-	○	-	-
4	インプレッションクリア			パチルス アミロリクエファシエンス	BM2	-	-	○	-	-	-	-	-	-
5	カスミンボルドー		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24、M1	○	-	-	-	○	○	-	-	-
6	カッパーシン水和剤		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24、M1	○	-	-	-	○	○	-	-	-
7	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	-	○	○	-	-	-	-	-	-
8	クロスアウトフロアブル		普	ピリオフェン	50	○	-	-	-	-	-	-	-	-
9	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロピン 2.ボスカリド	11、7	○	○	○	-	○	-	○	-	-
10	スクレアフロアブル		普	マンデストロピン	11	-	-	-	-	-	-	○	○	-
11	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	-	○	-	-	-	-	-	-
12	セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	-	○	-	-	-	-	○	-	-
13	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	○	-	○	-	○	-	-
14	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	-	-	-	-	-	-
15	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	-	-	-	-	-	-	-
16	パルミノ		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	○
17	パンチョTF顆粒水和剤		普	1. シルフエナミド 2. トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-	-	-
18	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	-	-	-	○	-	-	-	-	-
19	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	○	-	-	-	○	-	○	-	-
20	ポリオキシシンAL乳剤		普	ポリオキシシン	19	○	-	-	-	-	-	-	-	-
21	ミギワ10フロアブル		普	イブフルフェノキン	52	○	○	-	-	-	-	○	-	-
22	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	○
23	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	○	-	-	-	-	-
24	ロブラール水和剤		普	イブロジオン	2	-	○	-	-	-	-	-	○	-

野菜類-なす科果菜類-ピーマン及びとうがらし類-ピーマン-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名													
						アブラムシ類	ハダニ類	ミカンキイロアザミウマ	ミナミキイロアザミウマ	コナカイガラムシ類	マメハモグリバエ	アザミウマ類	コナジラミ類	タバコガ	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	チャノホコリダニ	ネコブセンチュウ	タバコガ類
1	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アグリメック	抑制	劇	アバメクテン	6	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
3	アグロスリン水和剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
4	アタブロン乳剤	抑制	普	クロルフルアズロン	15	-	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
5	アデオオン乳剤	抑制	普	ベルメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
6	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
7	アニキ乳剤		普	レピメクテン	6	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-
8	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-
9	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
10	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
11	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	カネマイトフロアブル		普	アセキノシル	20B	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
13	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
14	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
15	サンマイトフロアブル		劇	ピリダベン	21A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
16	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
17	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
18	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-
19	ダニオーテフロアブル		普	アシノナピル	33	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	ダニサラバフロアブル		普	シフルメトフェン	25A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメート	21A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	ダブルフェースフロアブル		普	1.ピフルブミド 2.フェンピロキシメート	25B、21A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類ーなす科果菜類ーピーマン及びとうがらし類ーピーマンー殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																
						アブラムシ類	ハダニ類	ミカンキイロアザミウマ	ミナミキイロアザミウマ	コナカイガラムシ類	マメハモグリバエ	アザミウマ類	コナジラミ類	タバコガ	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	チャノホコリダニ	ネコブセンチュウ	タバコガ類			
24	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
26	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	トルネードエースDF	抑制	普	インドキサカルブ及びインドキサカルブMP	22A	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
28	ニッソラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
30	ハチハチ乳剤	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
31	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメトキン	34	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
34	プリロッソ粒剤オメガ	抑制	普	シアントラニプリロール	28	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
36	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプリロール	28	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
37	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニプリロール	28	○	-	-	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
40	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニプリロール	28	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42	マッチ乳剤	抑制	普	ルフエヌロン	15	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
43	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
47	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプリロール	28	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類－なす科果菜類－ピーマン及びとうがらし類－とうがらし類－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名							
						苗立枯病	うどんこ病	斑点病	斑点細菌病	疫病	炭疽病	黒枯病	灰色かび病
1	オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	○	-	-	-	-	-	-	-
2	オリゼメート粒剤		普	プロベナゾール	P2	-	○	○	-	-	-	-	-
3	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	○	○	○	-	-	-	-
4	カッパーシン水和剤		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	○	○	○	-	-	-	-
5	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11、7	-	○	-	-	-	○	○	○
6	スクレアフロアブル		普	マンデストロビン	11	-	-	-	-	-	○	-	-
7	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	○	-	-	-

野菜類－なす科果菜類－ピーマン及びとうがらし類－とうがらし類(ししとうを除く)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						灰色かび病
1	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	○

野菜類－なす科果菜類－ピーマン及びとうがらし類－とうがらし類－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						アブラムシ類	タバコガ	アザミウマ類	オオタバコガ	コナジラミ類	ミナミキイロアザミウマ	コガネムシ類幼虫	ケラ	ネキリムシ類	タバコガ類	チャノホコリダニ	ハダニ類	
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アデオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アフファーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
7	オンコル粒剤5		普	ベンフラカルブ	1A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
8	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
9	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
10	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-
11	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	ブレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
14	プレバソフフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプロール	28	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
15	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
16	マッチ乳剤	抑制	普	ルフェヌロン	15	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○	○

野菜類－なす科果菜類－ピーマン及びとうがらし類－とうがらし類(ししとうを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						オオタバコガ	ハダニ類	アザミウマ類	アミナミキイロ	アブラムシ類
1	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	○	○	○	○	-
2	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	-	○	○
3	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	-	-	○

野菜類－なす科果菜類－ピーマン及びとうがらし類－ししとう－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						うどんこ病	灰色かび病	黒枯病	白絹病
1	インプレッションクリア		-	バチルス アミロリクエファシエンス	BM2	-	-	○	-
2	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	-	○	-
3	スマレックス水和剤		普	プロシミドン	2	-	-	○	-
4	クロスアウトフロアブル		普	ピリオフェノン	50	○	-	-	-
5	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	-
6	リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	-	○
7	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	○	-	-

野菜類－なす科果菜類－ピーマン及びとうがらし類－ししとう－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名											
						アブラムシ類	コナカイガラムシ類	マメハモグリバエ	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	ミナミキイロアザミウマ	ハダニ類	ヒラズハナアザミウマ	コナジラミ類	アザミウマ類		
1	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメキサム	4A	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アタブロン乳剤	抑制	普	クロルフルアズロン	15	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
3	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-
4	コロマイト乳剤	抑制	普	ミルベメクチン	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
5	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
6	ニッソラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
7	ファインセーブフロアブル		劇	フロメトキン	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
8	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-
9	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-
10	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
11	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類-いちご-殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名											
						うどんこ病	灰色かび病	炭疽病	芽枯病	疫病	じゃのめ病	菌核病	萎黄病	黒斑病	アブラムシ類	ハダニ類	
1	アフエットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アントラコール顆粒水和剤		普	プロピネブ	M3	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
5	オラクル顆粒水和剤		普	アミスルブロム	21	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
6	カンタスドライブフロアブル		普	ボスカリド	7	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	キノンドーフロアブル		普	有機銅	M1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	クロスアウトフロアブル		普	ピリオフェノン	50	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	ゲッター水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.チオファネートメチル	10、1	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	ケンジャフロアブル		普	イソフエタミド	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
12	サンリット水和剤		普	シメコナゾール	3	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	シグナムWDG		普	1.ピラクlostロビン 2.ボスカリド	11、7	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
15	ショウチノスケフロアブル		普	1.フルチアニル 2.メパニピリム	U13、9	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	スクレアフロアブル		普	マンデストロビン	11	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
17	スコア顆粒水和剤		普	ジフェノコナゾール	3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	スミレックス水和剤		普	プロシミドン	2	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
20	セイピアーフロアブル20		普	フルジオキシソニル	12	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	デランフロアブル		劇	ジチアノン	M9	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
23	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
24	ネクスターフロアブル		普	イソピラザム	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	パンチョTF顆粒水和剤		普	1.シフルフェナミド 2.トリフルミゾール	U6、3	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
28	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	フセキワイドフロアブル		普	1.イミノクタジン 2.ピリダクロメチル	M7、53	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	フルピカフロアブル		普	メパニピリム	9	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類—いちご—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日: 2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名											
						うどんこ病	灰色かび病	炭疽病	芽枯病	疫病	じゃのめ病	菌核病	萎黄病	黒斑病	アブラムシ類	ハダニ類	
31	フロンサイドSC		普	フルアジナム	29	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	ベルコートフロアブル		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-
33	ベルコート水和剤		普	イミノクタジン	M7	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34	ペンコゼブ水和剤		普	マンゼブ	M3	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
36	ポリオキシAL水和剤		普	ポリオキシ	19	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
39	リドミルゴールドMZ		普	1. マンゼブ 2. メタラキシル 及びメタラキシルM	M3、4	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
40	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
41	硫黄粒剤		普	硫黄	I:UN F:M2	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類-いちご-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
 更新年月日: 2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																	
						アブラムシ類	ハダニ類	ミカンキイロアザミウマ	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	ワタアブラムシ	コナジラミ類	アザミウマ類	シクラメンホコリダニ	チャノホコリダニ	チバクロバネキノコバエ	ネグサレセンチュウ	コガネムシ類幼虫	うどんこ病			
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アグリメック	抑制	劇	アバメクテン	6	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アニキ乳剤		普	レピメクテン	6	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	エコピタ液剤		普	還元澱粉糖化物	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
9	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	コテツフロアブル		劇	クロルフエナピル	13	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
11	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	コロマイト水和剤	抑制	普	ミルベメクテン	6	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
13	サフオイル乳剤		普	調合油	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○
14	サンマイトフロアブル		劇	ピリダベン	21A	-	○	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
15	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	スターマイトフロアブル		普	シエノピラフェン	25A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
17	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
19	ダニオーテフロアブル		普	アシノナピル	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	ダニコングフロアブル		普	ピフルブミド	25B	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21	ダニサラバフロアブル		普	シフルメトフェン	25A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメート	21A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
23	ダブルシューターSE	抑制	普	1.脂肪酸グリセリド 2.スピノサド	25B,21A	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	ダブルフェースフロアブル		普	1.ピフルブミド 2.フェンピロキシメート	25B、21A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類-いちご-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日: 2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																
						アブラムシ類	ハダニ類	ミカンキイロアザミウマ	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	ワタアブラムシ	コナジラミ類	アザミウマ類	シクラメンホコリダニ	チャノホコリダニ	チバクロバネキノコバエ	ネグサレセンチュウ	コガネムシ類幼虫	うどんこ病		
26	チェス顆粒水和剤		普	ピメロジン	9B	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
28	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	トルネードエースDF	抑制	普	インドキサカルブ及びインドキサカルブMP	22A	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	ニツラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
32	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
33	ハチハチフロアブル	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○
34	バリアード顆粒水和剤	抑制	劇	チアクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
35	パロックフロアブル	抑制	普	エトキサゾール	10B	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
36	ピタイチ		普	グリセリン酢酸脂肪酸エステル	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○
37	ピラニカEW		劇	テブフェンピラド	21A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
38	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメトキン	34	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
39	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
41	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
42	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプロール	28	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
45	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-
46	ペリマークSC	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
47	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48	マツチ乳剤	抑制	普	ルフェスロン	15	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
49	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-
50	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
51	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプロール	28	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-

13-(16) いちご（野菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
灰色かび病	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 換気や循環扇の設置、ほ場の排水対策を行って、ハウス内の湿度を下げる。 枯死葉や被害残さは、ハウス外に除去する。 発病初期の防除を徹底し、適用薬剤のローテーション散布を行う。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照) 	<ul style="list-style-type: none"> 「やよいひめ」は発病しやすいので注意する。 同一系統の薬剤を連用すると耐性菌が出現しやすいので連用を避け、他の系統薬剤を併用する。
うどんこ病	<p>生育期</p> <p>発病初期の防除を徹底し、適用薬剤のローテーション散布を行う。 (果菜類灰色かび病、うどんこ病の薬剤耐性菌対策の項参照)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 乾燥と多湿の両条件で発病するが、夏季の高温期には菌の活動が低下する。 同一系統の薬剤を連用すると耐性菌が出現しやすいので連用を避け、他の系統薬剤を併用する。モレスタン水和剤は、高温時の薬害に注意する。 アミスター20フロアブルやストロビーフロアブルに浸透性展着剤(スカッシュ、アプローチ BI、ニーズ等)を加用すると薬害を生じやすいので避ける。
炭疽病	<p>植付前、育苗期</p> <ol style="list-style-type: none"> 健全な親株を確保し、土壌消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項参照) 雨のしぶきを避けるため、雨よけによるベンチでのポット育苗が望ましい。 管理作業(葉かき、芽かき、ランナー切り)や降雨直後に、適用薬剤を散布する。 ほ場内および周辺の除草、排水対策を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> かん水や雨のしぶきなどにより分生子が飛散して病気が広がるため、なるべく粒子の細かいかん水チューブを使用する。 植物体の濡れている時間が長いほど感染・発病のリスクが高まる。かん水は天候およびポットの乾き具合を考慮して、夕方以降に葉が濡れていることがないように時間及び量を調整する。
芽枯病	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 密植や深植を避け、葉かきを行い通気を図る。 ハウス内の過湿を避け、換気を十分に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 1~2月頃の多湿時に発病しやすい。
萎黄病	<p>植付前、育苗期、生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 健全な親株を確保し、土壌と資材の消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項、資材消毒の項参照) 購入培土による、ポット育苗の予防効果が高い。 発病株は早期に抜き取り、ほ場外へ持ち出す。 	<ul style="list-style-type: none"> 土壌や感染苗から親株が発病し、ランナーを通じて子苗に伝染する。
萎凋病	<p>植付前</p> <p>健全な親株を確保し、土壌と資材の消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項、資材消毒の項、パーティシリウム病対策の項参照)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ネグサレセンチュウが発病を助長する。
根腐病	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 健全な親株を確保する。 土壌水分が高いと発病が増加するため、ほ場の排水対策を行う。 	

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
ピシウム根腐病	育苗期、生育期 1. 健全な親株を確保し、健全苗を育苗する。 2. 農業資材の消毒および土壌消毒を行う。 (土壌くん蒸剤の項参照) 3. 発病株は早期に抜き取り処分する。 4. 排水対策を行う。	・かん水や雨のしぶきなどにより病気が広がるため、なるべく粒子の細かいかん水チューブを使用する。
黒色根腐病	育苗期、生育期 1. 健全な親株を確保し、健全苗を育苗する。 2. 農業資材の消毒および土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) 3. 発病株は早期に抜き取り処分する。 4. 排水対策を行う。	・株疲れや肥料当たり等で発病が助長されるため、適切な栽培管理を行う。
ネグサレセンチュウ	植付前 1. 土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) 2. 土壌還元、太陽熱消毒を行う。 (ネグサレセンチュウの防除対策の項参照) (土壌還元消毒法による土壌病害虫の防除の項、太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除の項参照)	
コナジラミ類	(コナジラミ類防除対策の項参照)	
ハダニ類	育苗期、生育期 ハダニ類は葉裏に寄生しているため、葉液が葉裏にかかるように丁寧に薬剤散布を行う。 (ハダニ類防除薬剤の特性の項、イチゴ害虫の天敵利用による防除対策の項参照)	・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤は続けて使用しない。
チバクロバネキノコバエ	生育期 成虫は有機物資材に誘引されるので、堆肥は完熟堆肥を適正量施用し、よく混和する。	・幼虫がクラウン部や根を食害することにより被害が生じる。 ・ロックウール栽培で発生が多く、多湿条件では土耕栽培でも発生する。
アザミウマ類	生育期 施設内および周辺の雑草は寄生植物となるため除去する。 (ミカンキイロアザミウマ防除対策の項参照)	・主にミカンキイロアザミウマ、ヒラズハナアザミウマが発生する。 ・多発してからの薬剤散布は効果が劣るので、発生初期の防除を行う。
ホコリダニ類	生育期 スポット的に発生するので、新芽や未展開葉に異常のある株が見られたら、被害が広がらないように早期に適用薬剤の散布を行う。	・体長は0.2mm位のため、ホコリダニを肉眼で見つけることは難しい。 ・新芽や未展開葉が萎縮して正常に展開しなくなる。

野菜類－オクラ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
 更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病虫害雑草名							
						うどんこ病	葉枯細菌病	葉すす病	黒斑病	苗立枯病	苗立枯病(リゾクトニア菌)	灰色かび病	ハダニ類
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	-	-	-	-	-	-	-
2	オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	-	-	-	-	○	-	-	-
3	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	○	-	-	-	-	-	-
4	カッパーシン水和剤		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	○	-	-	-	-	-	-
5	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	-	○	-	-	-	-	-
6	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	-	-	-	-	-
7	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	○	○	-	-	-	-
8	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	○	-	-	-	-	-	-	○
9	ユニフォーム粒剤		普	【*1】	11、4	-	-	-	-	○	-	-	-
10	リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	-	-	-	○	-	-
11	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	-	-	○	-	-	○	-

【*1】 1.アゾキシストロビン 2.メタラキシル及びメタラキシルM

野菜類－オクラ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						アブラムシ類	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	カメムシ類	ネキリムシ類	ネコブセンチュウ
1	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアトキサム	4A	○	-	-	-	-	-
2	アタブロン乳剤	抑制	普	クロルフルアズロン	15	-	○	○	-	-	-
3	アディオン乳剤	抑制	普	ペルメリン	3A	○	-	○	○	-	-
4	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	○	-	-	-	-
5	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-
6	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-
7	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-	-
8	ガードベイトA	抑制	普	ペルメリン	3A	-	-	-	-	○	-
9	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	○	○	-	-	-
10	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	○	○	-	-	-
11	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	○	-	-	-	-	-
12	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-
13	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-
14	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	○	-
15	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	-	-	-	-	-
16	チェス顆粒水和剤		普	ピメトロジン	9B	○	-	-	-	-	-
17	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンプロックス	3A	○	-	-	○	-	-
18	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	○
19	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	○
20	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	○	-	-	-
21	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	-	○	○	-	-	-
22	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプロール	28	-	○	○	-	-	-
23	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-

13-(17) オクラ（野菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
苗立枯病	<p>播種前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 連作を避ける。 2. 排水を良好にする。 3. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 4. 播種時期に注意し、無理な早まきは避ける。 5. 地温を高めると発病が軽減されるので、播種直後から生育初期にかけてトンネルやべたがけ被覆を行い、地温を高めて発病を回避する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・播種後から生育初期にかけて発病する。 ・播種直後に発病すると、出芽前立枯れとなり、出芽しない。 ・本病は、ピシウム属菌およびリゾクトニア属菌の病原菌によって発病する。 ・地温 20℃未満の比較的低い地温の条件下では、オクラの初期生育に影響し、発病を助長する。
半身萎凋病	<p>播種前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 連作やバーティシリウム病の宿主作物の作付けを避ける。（バーティシリウム病対策の項参照） 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 	
ネコブセンチュウ	<p>播種前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 連作を避ける。 2. ギニアグラス、ソルゴー、クロタラリアなど対抗植物を輪作する。 3. 適用薬剤を使用する。 4. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 5. 被害株は、根ごとほ場外へ持ち出し処分する。（ネコブセンチュウの防除対策の項参照） 	<ul style="list-style-type: none"> ・作付け前に前作でのネコブセンチュウ被害の有無を必ず確認しておく。
メイガ類	<p>生育期</p> <p>発生が少ない場合は、捕殺すると防除効果が高い。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7月頃から発生が見られ始め、8～9月に多くなる。 ・高温多照の年に多発する傾向がある。 ・オクラのほかにフヨウ、ムクゲ、タチアオイなどアオイ科の植物によく発生するので、これらでの発生に注意し、発生時期を的確につかむ。
アブラムシ類	<p>生育期</p> <p>発生初期から適用薬剤を散布する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・播種期～生育初期の被害が多い。 ・吸汁された葉は内側に巻く。 ・本葉3～4枚時に多く発生すると、生育が著しく抑制される。
オオタバコガ	<p>（オオタバコガの防除対策の項参照）</p>	

野菜類－豆類(未成熟)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名						
						ネキリムシ類	ハダニ類	ハモグリバエ類	カメムシ類	マメシクイガ	アザミウマ類	アブラムシ類
1	ガードベイトA	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	-
2	コロマイト乳剤	抑制	普	ミルベメクチン	6	-	○	-	-	-	-	-
3	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	-	○	○	○	○	○	○

野菜類－豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげん、さやえんどう、未成熟そらまめを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						アザミウマ類	アズキノメイガ	アブラムシ類	ウラナミシジミ	ハモグリバエ類	マメシクイガ
1	アディオオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	○	○	○	○	○

野菜類－豆類(未成熟、ただし、えだまめ、未成熟そらまめ、さやえんどうを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						ハスモンヨトウ
1	プロフレアSC	抑制	普	プロフラニド	30	○

野菜類－豆類(未成熟、ただし、えだまめを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ
1	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	○	○

野菜類－豆類(未成熟、ただし、さやいんげんを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						ハモグリバエ類	アザミウマ類	ハスモンヨトウ	ハダニ類	チャノホコリダニ
1	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	○	-	-	-	-
2	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメート	21A	-	-	-	○	○
3	ディアナSC		普	スピネトラム	5	○	○	○	-	-
4	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	○	-	○	-	-

野菜類－豆類(未成熟)－その他

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						ハト	カラス
1	キヒゲンR-2フロアブル		普	チウラム	M3	○	○

野菜類－豆類(未成熟)－さやえんどう－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						灰色かび病	菌核病	うどんこ病	根腐病
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	○	○	-	-
2	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	○	-	-	-
3	ゲッター水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.チオファネートメチル	10、1	○	-	-	-
4	ケンジャフロアブル		普	イソフェタミド	7	○	-	-	-
5	サンヨール		普	DBEDC	M1	○	-	○	-
6	セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	○	○	-	-
7	タチガレン液剤		普	ヒドロキシイソキサゾール	32	-	-	-	○
8	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	-	-	○	-
9	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	○	-	-	-

野菜類－豆類(未成熟)－さやえんどう－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						シロイチモモジヨトウ	ナモグリバエ	ヨトウムシ類	ハモグリバエ類	ハスモンヨトウ	コガネムシ類幼虫	ハダニ類	アブラムシ類	ヨトウムシ	アザミウマ類	コナジラミ類	カメムシ類	うどんこ病
1	アタブロン乳剤	抑制	普	クロルフルアズロン	15	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アディオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アニキ乳剤		普	レピメクチン	6	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○
7	カルホス粉剤		普	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
8	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
9	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○
11	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
12	ニツラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
13	パダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	ハチハチフロアブル	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
15	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプリロール	28	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
16	プロフレアSC	抑制	普	プロフラニリド	30	○	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-
17	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	-
18	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプリロール	28	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類－豆類(未成熟)－さやいんげん－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名			
						灰 色 か び 病	菌 核 病	炭 疽 病	角 斑 病
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	○	-	○
2	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	○	○	-	-
3	セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	○	○	-	-
4	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	○	○	○	-

野菜類－豆類(未成熟)－さやいんげん－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						アブラムシ類	ハモグリバエ類	マメシクイガ	アズキノメイガ	マメハモグリバエ	タネバエ	ハダニ類	ワタアブラムシ	ハスモンヨトウ	アザミウマ類	コナジラミ類	カメムシ類	
1	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アディオソ乳剤	抑制	普	ベルメトリン	3A	○	○	○	○	-	-	-	-	-	○	-	○	-
4	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アフアーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
8	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	エルサン乳剤		劇	PAP	1B	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	カルホス粉剤		普	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
11	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
12	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-
14	スミチオン乳剤		普	MEP	1B	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
15	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメート	21A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
16	ダブルフェースフロアブル		普	1.ピフルブミド 2.フェンピロキシメート	25B、21A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
17	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	○	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-
18	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンプロックス	3A	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
19	ニッソラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
20	パダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
21	プレオフロアブル		普	ピリダリル	un	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
22	プレバソソフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプロール	28	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
23	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-

13-(20) さやいんげん（野菜類、豆類（未成熟）に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
モザイク病	播種前、生育期 1. 健全種子を用いる。 2. マルチ栽培を行う。 3. 幼苗期からアブラムシ類の防除を行う。 4. 発病株は早めに抜き取り処分する。	・CMV など数種の病原ウイルスによるが、いずれもアブラムシ類によって伝搬され、このうちBCMV（インゲンマメモザイクウイルス）のみ種子伝染する。
根腐病	播種前 1. 連作を避ける。 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照）	・病原菌（フザリウム）が長期間土中で生存し、土壌伝染する。
炭疽病	播種前 1. 連作を避ける。 2. 種子伝染を防ぐため、健全種子を用いる。	・罹病した茎葉とともにほ場周辺や資材上で越冬し、翌年、分生子を形成して伝染する。 ・収穫後の茎葉などは、適正に処理し、ほ場衛生に努める。
菌核病	播種前、生育期 1. 多肥栽培や密植栽培を避ける。 2. 過繁茂にならないようにする。	・気温 15～25℃で降雨が多い時期は、発病に注意する。 ・前作に本病が発病したほ場や近隣に発生ほ場がある場合には、伝染源になりやすいので注意する。
角斑病	播種前 連作を避ける。 生育期 過繁茂を避け通風をよくする。	・本県では、高冷地での発生が多い。 ・罹病した茎葉内で越冬し、伝染源となるので、収穫後の茎葉を適正に処理する。 ・病斑上の分生胞子は、飛散により周囲の株に伝染し、多雨のときに多発しやすい。
灰色かび病	生育期 1. 多肥栽培や密植栽培を避ける。 2. 過繁茂にならないよう老化葉、発病葉は摘葉する。 3. 日中の換気により湿度低下に努める。	・発病適温は20℃前後で、多湿時に発病しやすい。 ・曇雨天が続くと多発する。 ・ハウス栽培では密閉による多湿が誘引となって蔓延するので注意する。
かさ枯病	播種前、生育期 無病種子を使用し、発病株は早期に抜き取る。	・多湿条件で多発生しやすく蔓延しやすい。 ・病患部から細菌液が溢出していることがある。 ・病斑上の病原細菌は、風雨や農作業等によって隣接株へ次々と蔓延するので注意する。
ハダニ類	（ハダニ類防除薬剤の特性の項参照）	・露地栽培では、梅雨明けの高温期から発生が増加する。 ・ハウス栽培では、乾燥条件下で発生が増加する。 ・発生が多くなってからでは、防除が困難となる。 ・ハダニ類は薬剤抵抗性がつきやすいので同一系統薬剤の連用は避ける。

野菜類－豆類(未成熟)－えだまめ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						べと病	紫斑病	莢汚損症	葉焼病	灰色かび病	菌核病
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	○	-	-	-	-	-
2	ゲッター水和剤		普	1. ジェトフェンカルブ 2. チオファネートメチル	10、1	-	○	○	-	-	-
3	バリダシン液剤5		普	バリダマイシン	U18	-	-	-	○	-	-
4	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	-	○	-	-	○	○
5	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	○	-	-	-	-	-
6	レーバスフロアブル		普	マンジプロバミド	40	○	-	-	-	-	-
7	ロブラール水和剤		普	イブロジオン	2	-	-	-	-	○	○

野菜類－豆類(未成熟)－えだまめ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						ハスモンヨトウ	アブラムシ類	カメムシ類	マメシクイガ	タネバエ	ネキリムシ類	コナジラミ類	シロイチモジマダラメイガ	ダイズサヤタマバエ	マメヒメサヤムシガ	ダイズシストセンチュウ	アザミウマ類	コガネムシ類
1	アクセルフロアブル	抑制	普	メタフルミゾン	22B	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シベルメトリン	3A	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アニキ乳剤		普	レピメクテン	6	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
8	ウララDF		普	フロニカミド	29	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	オルトラン水和剤		普	アセフェート	1B	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	カルホス微粒剤F		劇	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
11	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	サンマイトフロアブル		劇	ピリダベン	21A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
13	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
14	スミチオン乳剤		普	MEP	1B	-	○	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-
15	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○

野菜類－豆類(未成熟)－えだまめ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
					ハスモンヨトウ	アブラムシ類	カメムシ類	マメシロイガ	タネバエ	ネキリムシ類	コナジラミ類	シロイチモジマダラメイガ	ダイズサヤタマバエ	マメヒメサヤムシガ	ダイズシストセンチュウ	アザミウマ類	コガネムシ類
16 ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17 トルネードエースDF	抑制	普	インドキサカルブ及びインドキサカルブMP	22A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18 トレボンEW	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19 トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	○	-	○	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-
20 ネキリエースK		普	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
21 ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
22 フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23 プレバサンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプロール	28	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24 プロフレアSC	抑制	普	プロフラニリド	30	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
25 ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプロール	28	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○
26 モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27 モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-

野菜類－豆類(未成熟)－えだまめ－殺虫殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名・使用目的									
					アブラムシ類	タネバエ	ネキリムシ類	白絹病	茎疫病	紫斑病	黒根腐病	苗立枯病(ピシウム菌)	種子食害忌避	ハト、キジバトによる
1 クルーザーMAXX		普	【*1】	I:4A F:12、4	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

【*1】1. チアトキサム 2. フルジオキシニル 3. メタラキシル及びメタラキシルM

野菜類－豆類(未成熟)－えだまめ－その他

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
					紫斑病	苗立枯病	タネバエ
1 キヒゲンR-2フロアブル		普	チウラム	M3	○	○	○

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用して下さい。

13-(21) えだまめ（野菜類、豆類（未成熟）に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
苗立枯病	播種前 1. 連作を避ける。 2. 排水を良好にする。 3. 種子消毒済の種子を使用する。 4. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照）	・セルトレイ育苗専用培土は保水性がよいため、土壌水分の過剰に注意する。
べと病	播種前、生育期 1. 連作や密植を避ける。 2. 被害茎葉は集めて処分する。 3. 莢にも被害が発生することがあるため、梅雨入り後、開花する作型では、開花前後に適用薬剤を散布する。	・はじめ葉表面に黄色の小斑点が現れる。病斑はしだいに大きくなり、葉裏に汚白色のカビを生じる。 ・梅雨や秋雨などの湿度が高い時期に発病が多い。 ・主に葉に発生するが、莢表面・内部でも発生する。 ・莢表面では黄化症状や微細な斑点が生じ、梅雨時期など曇雨天が続くと多発する。
茎疫病	播種前 1. 連作を避ける。 2. 排水を良好にする。	・茎の地際部、主茎や分枝に水浸状の条斑や病斑を生じ、茎を取り巻くようになる。 ・病斑の表面は白粉状のカビで覆われ、株はしだいに黄化、萎凋し、枯死する。
黒根腐病	播種前 1. 連作を避ける。 2. 排水を良好にする。	・地際から3~4cmの茎が腐敗し、オレンジ色の小粒（子のう殻）を形成する。 ・根はもろく折れやすくなり、容易に抜ける。
葉焼病	播種前、生育期 1. 連作を避ける。 2. 健全種子を用いる。 3. 被害茎葉は翌年の発生源になるので処分する。	・開花期以降に雨がが多い年は発病しやすい。 ・細菌性の病害で、気孔あるいは傷口などから侵入し、主に葉に発病する。
モザイク病	播種前 健全種子を用いる。 生育中 1. 幼苗期からアブラムシ類を防除する。 2. 発病株は早めに抜き取り処分する。	
ダイズシストセンチュウ	播種前 1. 連作を避ける。 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 3. 使用した農機具はよく洗浄し、付着土壌を落とす。	・対抗植物であるクロタリリアやクローバーを栽培すると、線虫卵が孵化するが寄生できず死滅するため、線虫の増殖を抑制できる。
ダイズサヤマバエ	生育期 1. ほ場周辺の除草をする。 2. 開花終期~莢伸長期に適用薬剤を散布する。	・幼虫が莢内子実に寄生し、莢の発育を止める。 ・夏期高温の年に被害が多い。
チョウ目害虫（マメシンクイガなど）	生育期 1. ほ場周辺の除草をする。 2. 莢伸長終期~子実肥大初期に適用薬剤を散布する。	・マメシンクイガ、シロイチモジマダラメイガの幼虫は子実のみ食害し、ダイズサヤマシガの幼虫は莢および子実を食害し、莢が黒変する。
カメムシ類	生育期 1. ほ場周辺の除草をする。 2. 結莢期~子実肥大中期に適用薬剤を散布する。	・葉や茎に外傷がないため被害が目立たないが、莢や子実が吸汁加害される。
ハダニ類	（ハダニ類防除薬剤の特性の項参照）	

野菜類－葉菜類－結球あぶらな科葉菜類(キャベツを除く)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						菌核病	
1	セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	○	

野菜類－葉菜類－結球あぶらな科葉菜類(はくさい、キャベツを除く)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						黒斑病	べと病
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	○

野菜類－葉菜類－結球あぶらな科葉菜類－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名								
						コナガ	アオムシ	ウワバ類	ヨトウムシ	ハスモンヨトウ	ハイマダラノメイガ	オオタバコガ	アザミウマ類	シロイチモジヨトウ
1	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	○	○	○	○	○	○	○	○	○

野菜類－葉菜類－結球あぶらな科葉菜類－キャベツ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						株腐病	菌核病	根こぶ病	黒腐病	黒斑細菌病	軟腐病	べと病	苗立枯病(リゾクトニア菌)	黒すす病	黒斑病	根朽病	ビシウム腐敗病	アブラムシ類
1	Zボルドー		普	銅	M1	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
2	アグリマイシン-100		普	1.オキシテトラサイクリン 2.ストレプトマイシン	25,41	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アフエットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
4	アミスター-20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-
5	オラクル粉剤		普	アミスルプロム	21	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	オラクル顆粒水和剤		普	アミスルプロム	21	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	オリゼメート粒剤		普	プロベナゾール	P2	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	オロンディスウルトラSC		普	1.オキサチアピフロリン 2.マンジプロバミド	49,40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
9	カスミンバリダシン液剤		普	バリダマイシン	U18	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
10	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24, M1	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
11	カセット水和剤		普	1.オキシリニック酸 2.カスガマイシン	31, 24	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
12	カッパーシン水和剤		普	1.カスガマイシン 2.銅	24, M1	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
13	カナメフロアブル		普	インピルフルキサム	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
15	キノンドーフロアブル		普	有機銅	M1	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	ゲッター水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.チオファネートメチル	10, 1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	ジオゼット水和剤		普	ポリオキシシン	19	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11, 7	○	○	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-
19	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
20	スターナ水和剤		普	オキシリニック酸	31	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
21	スミレックス水和剤		普	プロシミドン	2	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシソニル	12	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	ゾーベックエンテクタSE		普	1.オキサチアピフロリン 2.アミスルプロム	49, 21	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
24	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-
25	ドイツボルドーA		普	銅	M1	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
26	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
27	ナレート水和剤		普	1.オキシリニック酸 2.有機銅	31, M1	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
28	ネクスターフロアブル		普	イソピラザム	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-

野菜類－葉菜類－結球あぶらな科葉菜類－キャベツ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						株腐病	菌核病	根こぶ病	黒腐病	黒斑細菌病	軟腐病	べと病	苗立枯病（リゾクトニア菌）	黒すす病	黒斑病	根朽病	ビシウム腐敗病	アブラムシ類
29	ネビジン粉剤		普	フルスルファミド	36	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	ネビモン粉剤		普	1. フルスルファミド 2. フルトラニル	36、7	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
31	ネビリュウ		普	フルスルファミド	36	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	バリダシン液剤5		普	バリダマイシン	U18	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
33	パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	-	-	-	-	○	-	-	○	-	-	-
34	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-
35	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	○	○	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
36	フェスティバル水和剤		普	ジメトモルフ	40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
37	フオリオゴールド		普	1. TPN 2. メタラキシル 及びメタラキシルM	M5、4	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-
38	プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアバリ カルブイソプロピル	M5、40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
39	フロンサイドSC		普	フルアジナム	29	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
40	フロンサイド粉剤		普	フルアジナム	29	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
41	ベルコート水和剤		普	イミノクタジン	M7	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
42	ペンコゼブ水和剤		普	マンゼブ	M3	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
43	ペンレート水和剤		普	ペノミル	1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
44	メジャーフロアブル		普	ピコキシストロピン	11	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-
45	モンカットフロアブル40		普	フルトラニル	7	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-
47	リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
48	リドミルゴールドMZ		普	1. マンゼブ 2. メタラキシル 及びメタラキシルM	M3、4	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
49	レーパスフロアブル		普	マンジプロパミド	40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
50	ロブラール水和剤		普	イブロジオン	2	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類－葉菜類－結球あぶらな科葉菜類－キャベツ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																
						ウワバ類	オオタバコガ	ハイマダラノメイガ	ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	アオムシ	キスジノミハムシ	コナガ	アブラムシ類	タマナギンウワバ	アザミウマ類	カブラハバチ幼虫	ネキリムシ類	シロイチモジヨトウ	ネギアザミウマ	ネグサレセンチュウ	ナメクジ類
1	アクセルキングフロアブル	抑制	普	1.メタフルミゾン 2.トルフェンピラド	I:22B、21A F:39	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-
2	アクセルフロアブル	抑制	普	メタフルミゾン	22B	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アグロスリン水和剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	-	-	-	-	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
6	アディオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-
7	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	アドマイヤー顆粒水和剤		劇	イミダクロプリド	4A	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	アニキ乳剤		普	レピメクテン	6	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-
11	アフアーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	-	-	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
12	アフアームエクセラ顆粒水和剤	抑制	普	1.エマメクテン安息香酸塩 2.ルフェスロン	6、15	-	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-
13	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
14	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
15	エルサン乳剤		劇	PAP	1B	-	-	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-
16	オルトラン水和剤		普	アセフェート	1B	-	-	-	○	○	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
17	オルトラン粒剤		普	アセフェート	1B	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-
18	カルホス微粒剤F		劇	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
19	コテツフロアブル		劇	クロルフェナビル	13	-	○	○	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-
20	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-
21	ジェイエース水溶剤		普	アセフェート	1B	-	-	-	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
22	ジェイエース粒剤		普	アセフェート	1B	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
23	ジュリボフロアブル	抑制	普	1.クロラントラニリプロール 2.チアメトキサム	28、4A	-	○	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-
24	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
25	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
26	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	○	-	○	○	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-
27	セフィーナDC		普	アフィドピロペン	9D	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
28	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
29	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-

野菜類－葉菜類－結球あぶらな科葉菜類－キャベツ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名																
						ウワバ類	オオタバコガ	ハイマダラノメイガ	ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	アオムシ	キスジノミハムシ	コナガ	アブラムシ類	タマナギンウワバ	アザミウマ類	カブラハバチ幼虫	ネキリムシ類	シロイチモジヨトウ	ネギアザミウマ	ネグサレセンチュウ	ナメクジ類
30	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-
31	ディアナSC		普	スピネトラム	5	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
32	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-
33	トルネードエースDF	抑制	普	インドキサカルブ及びインドキサカルブMP	22A	○	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
34	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
35	ネキリエースK		普	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
36	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
37	ナメクリーン3		普	メタアルデヒド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
38	ハクサップ水和剤	抑制	劇	1. フェンバレート 2. マラソン	3A、1B	-	○	-	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
39	パダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○
40	ハチハチフロアブル	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
41	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメトキン	34	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
42	フィールドマストフロアブル	抑制	普	ジクロロメゾチアズ	4E	○	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-
43	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
45	プリンス粒剤		普	フィプロニル	2B	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
46	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-
47	プレバソソフロアブル5	抑制	普	クロラントリニプロール	28	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-
48	プロフレアSC	抑制	普	プロフラニリド	30	○	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-
49	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	○	○	○	○	-	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-
50	マイキラーL		普	メタアルデヒド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
51	マッチ乳剤	抑制	普	ルフェヌロン	15	-	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
52	ミネクトデュオ粒剤	抑制	普	1. シアントラニプロール 2. チアトキサム	28,4A	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
53	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	-	-	○	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
54	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
55	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	-	-	-	-	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
56	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプロール	28	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○	○	-	-	-
57	リーフガード顆粒水和剤	抑制	劇	チオシクラム	14	-	-	○	-	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	○

13-(23) キャベツ

(野菜類、葉菜類、結球あぶらな科葉菜類、に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
苗立枯病	播種前 1. 育苗ほ場の土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) 2. 育苗中は、高温多湿にならないようにする。 3. 発病株は除去し、袋に入れ密閉し太陽光線にあてて菌を死滅させる。 4. 未熟な有機物を施用しない。	<ul style="list-style-type: none"> ・リゾクトニア菌による苗立枯病は、定植後～生育中期に発病する。地際部が褐変腐敗して繊維質が残り、葉は黄化または紫赤色化してしおれ、病気が進行すると株が枯死する。 ・発病株を放置すると翌年の伝染源となる。
黒すす病	播種前 種子消毒を行う。 植付前 1. 育苗中は、高温多湿にならないようにする。 2. 発病株は除去し、2次伝染を防止する。	<ul style="list-style-type: none"> ・育苗期の子葉に斑点ができ、後に胚軸に亀裂黒変を生じ、立ち枯れ症状となる。 ・本病は、種子伝染する。 ・発病には品種間差がある。 ・育苗床を連作すると、発病しやすい。
黒腐病	播種前、植付前 1. 育苗や定植ほ場での連作を避ける。 2. 窒素過多を避ける。 3. 罹病苗を定植すると被害が大きくなるので、雨よけハウスで育苗する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本病は種子伝染する。 ・発病には品種間差がある。 ・泥はねにより、傷口から菌が侵入するので、強風雨や降雹後は早急に適用薬剤を散布する。 ・セル苗など雨よけ育苗された苗の利用により、発病が軽減する。 ・発病後の防除効果は低いので、育苗中から予防散布を重点に行う。 ・無機銅水和剤の散布は薬害を生じやすいので、炭酸カルシウム水和剤を加用する(汚れ注意)。 ・マイシン剤は高濃度で使用するとクロロシス(黄化現象)を生ずることがあり、特に高温時には薬害が出やすいので注意する。
黒斑細菌病	植付前 1. アブラナ科野菜の連作を避け、輪作を行う。 2. 感染苗の除去を徹底する。 生育期 発病を確認したら速やかに適用薬剤を散布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・病原細菌は風雨により飛散し、水孔や風雨による傷口、害虫の食害痕などから侵入し伝染する。 ・油浸状の病斑には、カビも輪紋も生じない。
軟腐病	生育中 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. 窒素過多を避ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・結球部(表面の1~2枚下)や収穫時の切断面付近に発生する。 ・強風雨で傷が付いたら、早急に適用薬剤を散布する。 ・発病後の防除効果は低いので、予防散布を重点に行う。 ・無機銅水和剤の散布は薬害を生じやすいので、炭酸カルシウム水和剤を加用する(汚れ注意)。特に、結球期以降は銅水和剤の薬害が出やすいので注意する。

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
根こぶ病	播種前、植付前 1. 発病ほ場は、アブラナ科の連作を避けて3年以上の輪作を行う。 2. 低湿地を避け、排水を良好にする。 3. 石灰類を施用し土壌酸度を矯正する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 土壌 pH7 以上で発病が低減する。 ・ 青首ダイコン（宮重系）や葉ダイコンを輪作すると菌密度が低下する。 ・ 黄褐色下層土は、発病を抑止する。 ・ 高温長日で発病を促進し、低温短日で抑制する。
株腐病	植付前 土壌伝染するのでアブラナ科野菜の連作を避ける。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発病適温は 22～25℃で、結球から収穫期に降雨が続くと発病が助長される。 ・ 発病には品種間差があり、春系は発生しやすい。
菌核病	播種前、生育期 1. 発病ほ場の連作を避ける。 2. 発病株は早期に抜き取り処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 春秋期の低温多湿条件で発病しやすく、気温が 20℃の頃に多発する。
萎黄病	播種前 1. 連作を避ける。 2. 抵抗性品種を作付ける。 3. 育苗ほ場は無病地に設けるか、土壌消毒を行う。 （土壌くん蒸剤の項参照）	
パーティシリウム萎凋病	植付前 1. キャベツの連作や、本病の宿主作物の作付けを避ける。（パーティシリウム病対策の項参照） 2. 耐病性の品種を作付ける。 3. アウエナストリゴサ（エンバク野生種）を作付けすると、被害軽減効果がある。 4. ダゾメット剤、カーバム剤で土壌消毒を行う。 （土壌くん蒸剤の項参照） （ネグサレセンチュウの防除対策の項参照）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 発病に品種間差がある。 ・ キタネグサレセンチュウによって発病が助長されるので、センチュウ低減効果が期待できるアウエナストリゴサ（エンバク野生種）の作付けを行う。 ・ 収穫遅れや、残さの放置は菌密度を高める原因となるので、収穫後は速やかに耕起する。 ・ セル苗等を利用することで、発病が抑制される。 ・ 発病ほ場で使用した作業機は、ほ場移動時に洗浄し、発病土の持ち込みを防ぐ。
べと病	植付前、生育期 1. 窒素過多を避ける。 2. 発病ほ場の連作を避ける。 3. 発病株は早期に抜き取る。 4. 適用薬剤で結球初期までの予防散布を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 湿度が高く、日中の気温が 24℃以下で、夜間が 8～16℃の時に最も発病しやすい。 ・ 発病に品種間差があり、育苗～結球期に発生するため、育苗期から防除を徹底する。 ・ アブラナ科野菜を連作すると発生が多い。
黒斑病	植付前 肥切れしないように適正な施肥をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 曇雨天で多湿状態が続くと結球部まで被害が出る。
ピシウム腐敗病	植付前、生育期 1. 発病ほ場の連作を避ける。 2. 排水を良好にする。 3. 結球期が高温多湿となる作型では、結球初期までの予防散布を徹底する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 収穫期の茎部に腐敗病斑が形成され、結球部の切り口が褐変する。 ・ 育苗時に苗立枯症状も引き起こす。

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
コナガ	(コナガの防除対策の項参照)	・県内でジアミド系(IRACコード:28)殺虫剤の防除効果の低下が確認されている。
ハスモンヨトウ	(ハスモンヨトウの防除対策の項参照)	
タマナギンウワバ	生育期 若齢期の防除を徹底する。	・近年の孳恋村では発生が前進化しており、6月の発生が多い。
オオタバコガ	(オオタバコガの防除対策の項参照)	
タネバエ	収穫後 収穫後の残さは早めにすき込み分解を促す。	・高冷地での被害発生は5~6月に多い。 ・鶏糞などの堆肥、有機質肥料、緑肥等のすき込み後に未熟な有機物へ成虫が飛来する。 ・成虫は低温と多湿環境を好んで産卵し、孵化した幼虫が加害する。
ネキリムシ類	育苗期、生育期 被害にあった株のまわりを掘って捕殺する。	・春~秋にかけて発生する。 ・雑草が繁茂していたほ場に作付けると被害が多発する。

野菜類－葉菜類－結球あぶらな科葉菜類－はくさい－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						黒斑細菌病	軟腐病	菌核病	黒斑病	尻腐病	白斑病	べと病	白さび病	苗立枯病	根こぶ病	ビシウム腐敗病	黄化病	炭疽病
1	アグリマイシン-100		普	1.オキシテトラサイクリン 2.ストレプトマイシン	41、25	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アグレプト液剤		普	ストレプトマイシン	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アグレプト水和剤		普	ストレプトマイシン	25	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アフェットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
5	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-
6	オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	-	-	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	○
7	オラクル粉剤		普	アミスルブロム	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
8	オラクル顆粒水和剤		普	アミスルブロム	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
9	カセット水和剤		普	1.オキシリニック酸 2.カスガマイシン	31、24	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	キノンドーフロアブル		普	有機銅	M1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	ザンブロDMフロアブル		普	1.アメクトラジン 2.ジメトモルフ	45、40	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
12	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11、7	-	-	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	○
13	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
14	スターナ水和剤		普	オキシリニック酸	31	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
16	ゾーベックエンテクタSE		普	1.オキサチアピフロリン 2.アミスルブロム	49、21	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
17	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-
18	ドーシャスフロアブル		普	1. TPN 2. シアゾファミド	M5、21	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-
19	トッジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○
20	ナレート水和剤		普	1.オキシリニック酸 2.有機銅	31、M1	-	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
21	ネクスターフロアブル		普	インピラザム	7	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
22	ネビジン粉剤		普	フルスルファミド	36	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
23	バリダシン液剤5		普	バリダマイシン	U18	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
25	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-
26	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○
27	フォリオゴールド		普	1. TPN 2. メタラキシル及びメタラキシルM	M5、4	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-
28	プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアバリカルブイソプロピル	M5、40	-	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-

野菜類－葉菜類－結球あぶらな科葉菜類－はくさい－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						黒斑細菌病	軟腐病	菌核病	黒斑病	尻腐病	白斑病	べと病	白さび病	苗立枯病	根こぶ病	ビシウム腐敗病	黄化病	炭疽病
29	フロンサイドSC		普	フルアジナム	29	-	○	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-
30	フロンサイド粉剤		普	フルアジナム	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-
31	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	-	○	○	-	○	○	-	-	-
32	レーバスフロアブル		普	マンジプロバミド	40	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
33	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-

野菜類－葉菜類－結球あぶらな科葉菜類－はくさい－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名															
						アブラムシ類	カブラハバチ	カブラハバチ類	カブラハバチ幼虫	ハイマダラノメイガ	タマナギンウワバ	コナガ	アオムシ	ヨトウムシ	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	キスジノミハムシ	コガネムシ類幼虫	ネキリムシ類	ネグサレセンチュウ	ナメクジ類
1	アクセルフロアブル	抑制	普	メタフルミジン	22B	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-
2	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アグロスリン水和剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
5	アタブロン乳剤	抑制	普	クロルフルアズロン	15	-	-	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
6	アディオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
7	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	アニキ乳剤		普	レピメクテン	6	-	-	○	-	○	-	○	○	-	○	○	○	-	-	-	-
10	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
11	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
12	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
13	エルサン乳剤		劇	PAP	1B	○	-	-	○	○	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-
14	オルトラン水和剤		普	アセフェート	1B	○	○	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
15	オルトラン粒剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	○	-	-
16	ガードベイトA	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
17	カルホス微粒剤F		劇	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
18	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	○	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
19	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	ジェイエース水溶剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
21	ジェイエース粒剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
22	ジュリボフロアブル	抑制	普	1.クロラントラニリプロール 2.チアメトキサム	28、4A	○	○	-	-	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-
23	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
24	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
25	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	○	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
26	セフィーナDC		普	アフィドピロペン	9D	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類-葉菜類-結球あぶらな科葉菜類-はくさい-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名													
						アブラムシ類	カブラハバチ	カブラハバチ類	カブラハバチ幼虫	ハイマダラノメイガ	タマナギンウワバ	コナガ	アオムシ	ヨトウムシ	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	キスジノミハムシ	コガネムシ類幼虫	ネキリムシ類
27	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
28	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	-	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-
29	トルネードエースDF	抑制	普	インドキサカルブ及び インドキサカルブMP	22A	-	-	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
30	トレボンEW	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	○	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-
31	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	○	-	-	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-
32	ナメクリーン3		普	メタアルデヒド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
33	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
34	ハクサップ水和剤	抑制	劇	1. フェンバレレート 2. マラソン	3A、1B	○	○	-	-	-	○	○	○	○	○	-	-	-	-
35	パダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○
36	ハチハチフロアブル	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	○	-	○
37	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロトキン	34	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
38	フィールドマストフロアブル	抑制	普	ジクロロメゾチアズ	4E	-	-	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-
39	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	-	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-
40	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
41	プリロッソ粒剤オメガ	抑制	普	シアントラニプリ ロール	28	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
42	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	-	-	-	-	-	-	○	○	○	-	○	-	-	-
43	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプリ ロール	28	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	-	-
44	プロフレアSC	抑制	普	プロフラニリド	30	-	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	-	-	-
45	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニプリ ロール	28	○	-	○	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-
46	マッチ乳剤	抑制	普	ルフェスロン	15	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
47	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
48	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
49	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
50	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
51	ヨーバルフロアブル	抑制	普	ネトラニプリロール	28	○	-	○	-	○	-	○	○	○	○	-	-	○	-
52	リーフガード顆粒水和剤	抑制	劇	チオシクラム	14	○	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	○

13-(24) はくさい

(野菜類、葉菜類、結球あぶらな科葉菜類に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
苗立枯病	播種前 1. 無病の培養土を用い、ペーパーポット、セルトレイなどで育苗を行う。 2. 育苗資材の洗浄、消毒を徹底する。 (資材消毒の項参照)	
白さび病	播種前、植付前 アブラナ科野菜の連作を避ける。 生育期 発病葉や残渣はほ場外へ持ち出して処分する。	・低温多湿条件で発病が多い。 ・ハクサイで発病する系統はキョウナ、カブ、コマツナ、タイサイなども侵すが、ダイコンやカラシナを侵す系統とは異なる。
べと病	植付前 密植しすぎないように株間や条間を広げ、高畦栽培して通風を良くする。 生育期 1. 窒素過多を避ける。 2. 結球期まで定期的な防除を行う。	・低温多湿条件で発病が多い。 ・葉身に発病するほか、結球部の葉柄部に黒変症状を生じる。 ・ストロビーフロアブル(結球後期まで、高温多湿)、アミスター20フロアブル(結球前、高温)は薬害を生じる場合がある。また、浸透性を高める展着剤の混用で薬害を生じることがある。
黒斑病 白斑病	植付前 排水不良や地下水位が高いほ場は対策を行い、なるべく高畦とし密植をさける。 生育期 1. 空気伝染するため、発病初期に防除する。 2. 肥切れしないように適切な追肥を行う。	・両病害とも比較的低温で多雨時に発病が多い。 ・黒斑病は淡褐色の円形で、同心円状の輪紋ができる。肥切れ状態の時に、結球始期から球の肥大充実期に発病しやすい。 ・白斑病は、葉に大型の灰白色の斑点を生ずる。 ・ストロビーフロアブル、アミスター20フロアブルの薬害については、べと病の項を参照。
炭疽病	生育期 1. 育苗は雨よけ被覆を行う。 2. 発病葉や残渣はほ場外へ持ち出して処分する。	・本病は風雨により蔓延するため、夏から秋に低温多雨になると発病しやすい。 ・症状は、葉身に微小な斑点を形成するほか、中肋に白褐色の大型紡錘形の斑点を生じて中央部分が陥没する。
黄化病	播種前、植付前 1. アブラナ科野菜の連作を避け、イネ科作物等と輪作をする。 2. 耐病性品種を使用し、高温期の収穫を避ける。 3. 栽培ほ場を土壌消毒する。(土壌くん蒸剤の項参照)	・本病はキタネグサレセンチュウによって発病が助長されるので、防除にあたってはセンチュウの防除もあわせて行う。 ・発病後の防除法はないので、なるべく早く収穫する。
軟腐病	播種前、植付前 窒素の過剰な施用は行わない。 生育期 1. 適用薬剤で結球始期から収穫初期までの予防散布に努める。 2. 食害跡などの傷口、気孔や水孔から感染し発病するので、防除に努める。	・高温時に結球する作型は、発病が多い。 ・無機銅水和剤は薬害を生じやすいので、炭酸カルシウム水和剤を加用する。 ・マイシン剤は幼苗期及び高温多湿時の散布で薬害の恐れがある。

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
黒斑細菌病	<p>播種前 アブラナ科野菜の連作を避け、輪作を行う。</p> <p>生育期 1. 排水対策を行い、なるべく高畦にして密植を避ける。 2. 発病株は抜き取ってほ場外に持ち出して処分する。 3. 発生前の予防または発生初期に適用薬剤を散布する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ダイコン、キャベツ、ブロッコリーなどのアブラナ科野菜に発生する。 ・排水不良地や秋の長雨や風雨のあとは発生しやすい。
根こぶ病	<p>播種前、植付前 1. 抵抗性(CR)品種を栽培する。 2. 無病の培養土を用い、ペーパーポット、セルトレイなどで育苗を行う。 3. キャベツの根こぶ病に準ずる。 4. 前作の被害株は抜き取り、コブが形成された根を畑に残さないように処分する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・抵抗性(CR)品種でも発病する場合がある。
えそモザイク病 モザイク病	<p>播種前、植付前 1. 育苗床を1mm目合いの防虫ネットなどで被覆する。 2. シルバーマルチ栽培を行う。</p> <p>生育期 生育初期のアブラムシ類防除を行う。</p>	
菌核病	<p>植付前 1. 連作をさける。本病が発病するアブラナ科作物やレタスなどとの輪作をさける。 2. 地表の菌核が一次伝染源となるので、深耕して菌核を地中に埋め込むか、夏期に太陽熱消毒または湛水処理を行う。</p> <p>生育期 発病株は見つけ次第抜き取り、菌核を生じないうちに持ち出し処分を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病斑上に形成した菌核で越冬し、春と秋に子のう盤をつくり、子のう胞子を飛ばして伝染する。
ピシウム腐敗病	<p>植付前 1. 排水対策を行う。 2. 密植しすぎないように株間や条間を広げ、高畦栽培にして通風を良くする。</p> <p>生育期 発生前の予防散布に努める。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・初めに、地際に接する外葉の中肋が水浸状に腐敗し、やがて淡黄色～褐色となる。湿度が高いときに、病斑部に白色綿毛状の菌糸が見られることがある。 ・病徴は菌核病や軟腐病とよく似ているが、菌核病ほど菌そうは密ではなく、また軟腐病のような組織の崩壊を伴う特有の異臭はしない。
しり腐病	<p>植付前 1. 高畦栽培にする。 2. ポリマルチをして、下葉が土壌と直接接しないようにする。</p> <p>生育期 1. 土壌と接触して発病した葉を取り除く。 2. 収穫後には、次作の防除のために、被害株の下葉を集めて処分する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・結球後、土壌と接する下葉の葉肋部分に淡褐色でやや水浸状の病斑がみられ、やがて葉肋に沿ってやや楕円形で褐色に拡大し、腐ってへこむ。 ・腐っても悪臭を発しない。
コナガ	<p>播種前、植付前 1. 発生密度が高まらないように、初期防除を徹底する。 2. 薬剤抵抗性の発達を避けるため、単一薬剤の連用を避け、系統の異なる適用薬剤を組み合わせた体系的防除を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・コテツフロアブル(幼苗期散布)は「葉の白化」などの薬害を生じる場合がある。 ・県内のキャベツではジアミド系殺虫剤の感受性が低下した個体群が確認されている。
ハイマダラノメイガ	<p>播種前、植付前 育苗床を1mm目合いの防虫ネットなどでトンネル被覆する。</p> <p>生育期 発生初期に適用薬剤を散布する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高温期の雨が少ない気象条件で発生が多い。 ・生長点付近の新葉を食害するため、その後の生育が止まり、被害が大きくなる。

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

ハクサイダニ	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> ほ場周囲の雑草でも繁殖するため、雑草防除を行う。 夏季にポリ被覆により太陽熱消毒をする。 (太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除の項参照) <p>収穫後</p> <p>植物残さは放置せず、直ちに鋤込み処分する。 (ハクサイダニの防除対策の項参照)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 高湿度状態だと、45℃3日で休眠卵は死滅する。 本虫は休眠卵で越夏し、16℃以下になると孵化を始め、第1世代成虫(休眠卵から孵化したもの)が11月頃から発生し、春先まで被害が見られる。 暖冬の年は発生量が多く被害も大きくなる。 行動は極めて素早く、わずかな振動で葉陰や株元に隠れる。
--------	--	--

野菜類－あぶらな科野菜(花蕾及び茎)－はなやさい類－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						菌核病	黒すす病	べと病	黒斑細菌病	花蕾腐敗病	根朽病
1	アフエットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	○	○	-	-	-	○
2	クプロシールド		普	銅	M1	-	-	-	○	○	-
3	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロピン 2.ボスカリド	11、7	○	○	○	-	-	-
4	パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	-	-	-	-
5	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	-	-	○	-	-	-
6	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	6	○	○	-	-	-	-

野菜類－あぶらな科野菜(花蕾及び茎)－はなやさい類－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名							
						ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	コナガ	アオムシ	ハイマダラノメイガ	シロイチモジヨトウ	オオタバコガ	ウワバ類
1	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	○	○	○	○	○	○	○	○
2	フィールドマストフロアブル	抑制	普	ジクロロメゾチアズ	4E	○	○	○	○	○	-	-	-

野菜類－あぶらな科野菜(花蕾及び茎)－はなやさい類－ブロッコリー－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名									
						菌核病	黒すす病	べと病	根こぶ病	黒腐病	黒斑細菌病	花蕾腐敗病	軟腐病	苗立枯病(リゾクトニア菌)	
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	○	○	○	-	-	-	-	-	-	
2	オラクル粉剤		普	アミスルブロム	21	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
3	オラクル顆粒水和剤		普	アミスルブロム	21	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
4	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
5	カセット水和剤		普	1.オキシリニック酸 2.カスガマイシン	31、24	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
6	カッパーシン水和剤		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	-	-	-	○	-	-	-	-	
7	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
8	キノンドー水和剤40		普	有機銅	M1	-	-	-	-	○	○	-	-	-	
9	コサイド3000		普	銅	M1	-	-	-	-	-	-	○	-	-	
10	スターナ水和剤		普	オキシリニック酸	31	-	-	-	-	-	○	○	○	-	
11	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	-	○	○	-	-	-	-	-	
12	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	○	-	-	-	-	-	-	-	-	
13	ネビジン粉剤		普	フルスルファミド	36	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
14	パリダシン液剤5		普	パリダマイシン	U18	-	-	-	-	○	-	-	○	-	
15	フォリオゴールド		普	1. TPN 2. メタラキシル及びメタラキシルM	M5、4	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
16	プロポーズ顆粒水和剤		普	1. ベンチアパリカルブイソプロピル 2. TPN	40、M5	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
17	フロンサイド粉剤		普	フルアジナム	29	-	-	-	○	-	-	-	-	-	
18	マイコシールド		普	オキシテトラサイクリン	M1	-	-	-	-	○	-	○	○	-	
19	ライメイフロアブル		普	アミスルブロム	21	-	-	○	-	-	-	-	-	-	
20	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	○	○	-	-	-	-	-	
21	リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	-	-	-	-	-	-	○	
22	レーバスフロアブル		普	マンジプロパミド	40	-	-	○	-	-	-	-	-	-	

野菜類－あぶらな科野菜(花蕾及び茎)－はなやさい類－ブロッコリー－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名										
						ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	コナガ	アオムシ	ハイマダラノメイガ	アブラムシ類	オオタバコガ	ネキリムシ類	カブラハバチ	シロイチモジヨトウ	
1	アクセルフロアブル	抑制	普	メタフルミゾン	22B	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
3	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
4	アタブロン乳剤	抑制	普	クロルフルアズロン	15	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
5	アディオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
6	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
7	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
8	アニキ乳剤		普	レピメクチン	6	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
9	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-
10	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
11	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
12	ウララDF		普	フロニカミド	29	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
13	オルトラン粒剤		普	アセフェート	1B	-	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-
14	ガードベイトA	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
15	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○
16	ジェイエース粒剤		普	アセフェート	1B	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	ジュリボフロアブル	抑制	普	1. クロラントラニリプロール 2. チアメトキサム	28、4A	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
18	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
19	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
20	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
21	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
22	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-
23	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-

野菜類-あぶらな科野菜(花蕾及び茎)-はなやさい類-ブロッコリー-殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名									
						ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	コナガ	アオムシ	ハイマダラノメイガ	アブラムシ類	オオタバコガ	ネキリムシ類	カブラハバチ	シロイチモジヨトウ
24	ディアナSC		普	スピネトラム	5	○	○	○	○	○	-	○	-	-	-
25	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
26	トルネードエースDF	抑制	普	インドキサカルブ及びインドキサカルブMP	22A	-	-	○	○	-	-	-	-	-	○
27	ネキリエースK		普	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
28	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメキン	34	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-
29	パダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
30	ハチハチ乳剤	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-
31	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-
32	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	○	-	○	-	-	-	-	-	-	○
33	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプロール	28	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-
34	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
35	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニリプロール	28	○	-	○	○	○	○	-	-	-	○
36	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	-	-	-	○	-	○	-	-	○	-
37	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-
38	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-
39	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニリプロール	28	○	○	○	○	○	○	-	○	-	○

13-(26) ブロッコリー（野菜類、はなやさい類、あぶらな科野菜（花蕾及び茎）に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
黒腐病	播種前、植付前 1. 連作を避ける。 2. 苗床は土壤消毒を行う。（土壤くん蒸剤の項参照） 3. 低湿地の栽培を避ける。 4. 窒素過多を避ける。	・細菌による病害である。
根こぶ病	播種前、植付前 1. 発病地は3年以上の輪作を行う。 2. 低湿地を避け、排水を良好にする。 3. 石灰類により土壤酸度を矯正する。 4. 土壤消毒を行う。（土壤くん蒸剤の項参照）	・土壤が酸性に傾くと発病しやすい。
苗立枯病	播種前 床土の土壤消毒を行う。（土壤くん蒸剤の項参照）	
べと病	播種前 1. アブラナ科野菜の連作を避ける。 2. 排水を良好にする。 生育期 1. 健全な苗を定植する。 2. 肥切れ、窒素過多を避ける。 3. 発病しにくい品種を利用する。 4. 花蕾の黒褐変症状対策として、出蕾期の防除を徹底する。	・低温多湿条件で発生が多い。 ・病原菌はカリフラワーやキャベツにも寄生性がある。 ・病原菌は、花蕾に黒褐変症状を引き起こす。 ・花蕾の黒褐変症状は、12～1月収穫の作型で発生が多い。
黒斑細菌病	播種前 アブラナ科作物の連作を避け、輪作を行う。 生育期 1. 肥切れすると発生しやすいので、適時追肥を行う。 2. 発病株は抜き取ってほ場外に持ち出して処分する。 3. 秋の長雨や風雨のあとに多発しやすいので、防除を行う。	・ダイコン、ハクサイ、キャベツ、ハナヤサイなどのアブラナ科野菜にも発生する。
菌核病	生育期 1. 湛水が可能なほ場では、夏季に約1ヶ月以上の湛水処理で、菌核を死滅させる。 2. 発病株は抜き取ってほ場外に持ち出して処分する。 3. 適用薬剤を株元に十分かかるよう散布する。	
花蕾腐敗病	播種前 1. 連作を避ける。 2. ほ場の排水を良好にする。 生育期 1. 窒素肥料の過剰を避け、適正施肥を行う。 2. 発病株は抜き取ってほ場外に持ち出して処分する。 3. 適用薬剤で予防散布を行う。	・細菌による病害である。
黒すす病	生育期 1. 育苗中は、高温多湿にならないようにする。 2. 発病株は除去し、2次伝染を防止する。 3. 多湿条件で発生しやすいので、防除を行う。	・花蕾および葉に発生する。 ・本病は、種子伝染する。 ・感染苗を定植しない。
ハイマダラノメイガ	播種前、植付前 育苗床を1mm目合いの防虫ネットなどでトンネル被覆する。 生育期 発生初期に適用薬剤を散布する。	・高温期の雨が少ない気象条件で発生が多い。 ・生長点付近の新葉を食害するため、その後の生育が止まり、被害が大きくなる。

野菜類－あぶらな科野菜(花蕾及び茎)－はなやさい類－カリフラワー－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名			
						根こぶ病	軟腐病	べと病	菌核病
1	オラクル粉剤		普	アミスルブロム	21	○	-	-	-
2	スターナ水和剤		普	オキシリニック酸	31	-	○	-	-
3	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	-	○	-
4	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	-	○
5	ネビジン粉剤		普	フルスルファミド	36	○	-	-	-
6	フロンサイド粉剤		普	フルアジナム	29	○	-	-	-
7	ライメイフロアブル		普	アミスルブロム	21	-	-	○	-

野菜類—あぶらな科野菜(花蕾及び茎)—はなやさい類—カリフラワー—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名											
						コナガ	アブラムシ類	ハスモンヨトウ	アオムシ	アザミウマ類	オオタバコガ	ハイマダラノメイガ	カブラハバチ幼虫	ヨトウムシ	ネキリムシ類	カブラハバチ	
1	アタブロン乳剤	抑制	普	クロルフルアズロン	15	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アディオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アニキ乳剤		普	レピメクチン	6	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
5	ウララDF		普	フロニカミド	29	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	エルサン乳剤		劇	PAP	1B	○	○	○	○	○	-	○	○	○	-	-	-
7	ガードベイトA	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
8	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	ジェイエース水溶剤		普	アセフェート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
10	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
12	ディアナSC		普	スピネトラム	5	○	-	○	○	○	-	○	-	○	-	-	-
13	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプロール	28	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
14	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
15	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
16	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	○
17	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類－根菜類－だいこん－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名					
						白 さ び 病	ワ ツ カ 症	黒 斑 細 菌 病	軟 腐 病	白 斑 病	亀 裂 褐 変 症 (リゾクトニア菌)
1	Zボルドー		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	○	-	-	-	-
3	カスミンパリダシン液剤		普	1.カスガマイシン 2.パリダマイシン	24、U18	-	-	-	○	-	-
4	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	○	○	○	-	-
5	カセット水和剤		普	1.オキシリニック酸 2.カスガマイシン	31、24	-	-	○	○	-	-
6	銅パーシン水和剤		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	○	○	○	-	-
7	スターナ水和剤		普	オキシリニック酸	31	-	-	-	○	-	-
8	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	-	-	○	-
9	パリダシン液剤5		普	パリダマイシン	U18	-	-	-	○	-	-
10	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	○	○	-	-	-	-
11	フロンサイドSC		普	フルアジナム	29	-	-	-	-	-	○
12	フロンサイド粉剤		普	フルアジナム	29	-	-	-	-	-	○
13	マテリーナ水和剤		普	1.オキシリニック酸 2.ストレプトマイシン	31、25	-	-	-	○	-	-
14	ユニフォーム粒剤		普	【*1】	11,4	○	-	-	-	-	-
15	ライメイフロアブル		普	アミスルプロム	21	○	○	-	-	-	-
16	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	○	○	-	-	-	-
17	リゾレックス粉剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	-	-	-	○

【*1】1. アゾキシストロビン 2. メタラキシル及びメタラキシルM

野菜類－根菜類－だいこん－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機分類	病害虫雑草名															
						アブラムシ類	カブラハバチ	カブラハバチ類	カブラハバチ幼虫	ハイマダラノメイガ	コナガ	アオムシ	ヨトウムシ	ハスモンヨトウ	キスジノミハムシ	タネバエ	ナモグリバエ	ネキリムシ類	ケラ	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ
29	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
30	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
31	ハクサップ水和剤	抑制	劇	1. フェンバレレート 2. マラソン	3A、1B	○	○	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	パダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	○	-	○	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
33	ハチハチ乳剤	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	-	○	-	-	-	-
34	ビーラム粒剤		普	フルオピラム	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○
35	フィールドマストフロアブル	抑制	普	ジクロロメゾチアズ	4E	-	-	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
36	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-
38	プリロッソ粒剤オメガ	抑制	普	シアントラニプリロール	28	○	-	○	-	○	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-
39	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40	プレバソフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプリロール	28	-	-	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
41	プロフレアSC	抑制	普	プロフラニリド	30	-	-	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
42	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
43	ベネピアOD	抑制	普	シアントラニプリロール	28	○	-	○	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
44	マッチ乳剤	抑制	普	ルフェヌロン	15	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-
46	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	○	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
48	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
49	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプリロール	28	-	-	-	-	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
50	リーフガード顆粒水和剤	抑制	劇	チオシクラム	14	○	○	-	-	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-

13-(28) だいこん（野菜類、根菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
黒腐病 軟腐病	播種前 1. アブラナ科野菜の連作を避ける。 2. ほ場排水の改善に努める。 生育期 1. 適用薬剤を散布する。 2. 被害株はほ場から持ち出し、処分する。	・キスジノミハムシなどの害虫の被害が多いと傷口感染により、発生を助長することがある。 ・軟腐病は根部が腐敗して悪臭を放つ。 ・銅水和剤の散布は葉害が発生する場合があるので、炭酸カルシウム水和剤を加用する。また、農作物の汚れに注意する。
黒斑細菌病	播種前 1. アブラナ科野菜の連作を避け、輪作を行う。 2. ほ場排水の改善に努める。 3. 肥切れしないように適正な施肥を行う。 生育期 1. 地下水位の高いほ場では高畦にする。 2. 適用薬剤を散布する。 3. 被害株はほ場から持ち出し、処分する。	・黒芯症を引き起こす病原菌の1つである。 ・砂質土壌は粘質土壌より発生しやすい傾向である。 ・秋冬季が温暖多雨の条件で発生が早まる。
萎黄病 バーティシリウム黒点病	播種前 1. アブラナ科野菜の連作を避ける。 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 3. 抵抗性品種を栽培する。 生育期 被害株はほ場から持ち出し、処分する。	・萎黄病抵抗性品種でも、菌密度の高いほ場では発病する場合がある。 ・バーティシリウム黒点病はキタネグサレセンチュウによって発病が助長される。 ・発病畑からの雨水による土壌の流入や機械に付着した土壌などにより被害が拡大する。
リゾクトニア病	播種前 1. アブラナ科野菜の連作を避ける。 2. 未熟な堆肥を施用しない。 3. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 4. 適用薬剤を散布する。 生育期 被害株はほ場から持ち出し、処分する。	・ <i>Rhizoctonia solani</i> による病害であり、葉、葉柄、根に病徴を示す。 ・病原菌は、被害残渣や土壌中に菌糸や菌核の形で残存し伝染源となる。
黒斑病	播種前 1. ほ場排水の改善に努める。 2. 肥切れしないように適正な施肥を行う。 生育期 適用薬剤を散布する。	・秋季が温暖で雨が多いと多発する。 ・病徴が黒斑細菌病と類似するので、菌の同定を行う。
モザイク病	播種前 1. 抵抗性品種を栽培する。 2. シルバーマルチなど、アブラムシ類の忌避効果のあるマルチを使用する。 生育期 1. ほ場周辺の除草をする。 2. アブラムシ類の防除を行う。 3. 被害株はほ場から持ち出し、処分する。	・モザイク症状を呈する病原ウイルスとして、TuMV、CMV、CaMVはいずれもモモアカアブラムシ、ニセダイコンアブラムシ、ダイコンアブラムシにより媒介され、RaMVはキスジノミハムシが媒介する。
白斑病	播種前 1. アブラナ科野菜の連作を避ける。 2. ほ場排水の改善に努める。 3. 抵抗性品種を栽培する。 4. 肥切れしないように適正な施肥を行う。 生育期 適用薬剤を散布する。	・秋から初冬にかけて雨が多いと多発する。 ・ダイコン白斑病菌は、ハクサイ白斑病菌と病原性が異なり、ダイコンを侵すが、ハクサイ、カブを侵さない。

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
センチュウ類	播種前 1. 土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) 2. 対抗植物と輪作を行う。 (ネグサレセンチュウの防除対策の項参照) 3. 適用薬剤を混和する。 生育期 被害株はほ場から持ち出し、速やかに処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・キタネグサレセンチュウは多くの農作物に寄生する。 ・発病畑からの雨水による土壌の流入や機械に付着した土壌などにより被害が拡大する。
キスジノミハムシ	播種前 適用薬剤(粒剤)を浅く混和する。 生育期 1. ほ場周辺の除草をする。 2. 防虫ネットで被覆する。 3. 適用薬剤を散布する。 収穫後 収穫残さは、速やかに処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季の高温乾燥条件では発生が助長される。 ・前作にアウエナ ストリゴサ(エンバク野生種)などの作付けにより発生抑制効果がある。
ナガメ	生育期 1. ほ場周辺の除草をする。 2. 防虫ネットで被覆する。	<ul style="list-style-type: none"> ・主にアブラナ科作物を加害する。

野菜類－根菜類－かぶ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						白さび病	根こぶ病	べと病
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	○	-	-
2	ネビジン粉剤		普	フルスルファミド	36	-	○	-
3	ビシロックフロアブル		普	ピカルプトラゾクス	U17	○	-	○
4	フロンサイド粉剤		普	フルアジナム	29	-	○	-
5	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	○	○	○

野菜類－根菜類－かぶ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
						アブラムシ類	キスジノミハムシ	コナガ	アオムシ	ハイマダラノメイガ	カブラハバチ幼虫	ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	ネキリムシ類	ナモグリバエ	ハモグリバエ類	カブラハバチ	カブラハバチ類
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アニキ乳剤		普	レピメクテン	6	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	エルサン乳剤		劇	PAP	1B	○	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-
9	オルトラン粒剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
10	ガードベイトA	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
11	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-
12	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
15	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
16	ネキリエースK		普	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
17	ハチハチ乳剤	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	○	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-
18	フィールドマストフロアブル	抑制	普	ジクロロメゾチアズ	4E	-	○	○	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○
19	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリブロール	28	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						根 こぶ 病	白 さび 病
1	オラクル顆粒水和剤		普	アミスルプロム	21	○	-
2	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	-	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、チンゲンサイ、タアサイ、みずなを除く)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						白 さび 病	
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類(ケール、こまつな、みずな、のざわな、なばな類を除く)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						根 こぶ 病	
1	フロンサイド粉剤		普	フルアジナム	29	○	

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類(なばな類を除く)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						白 さび 病	根 こぶ 病
1	ネビジン粉剤		普	フルスルファミド	36	-	○
2	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	○	-

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名										
						キスジノミハムシ	コナガ	アブラムシ類	ハスモンヨトウ	ハモグリバエ類	アオムシ	ナメクジ類	アザミウマ類	ヨトウムシ	ナモグリバエ	
1	アクセルフロアブル	抑制	普	メタフルミゾン	22B	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
2	アニキ乳剤		普	レビメクチン	6	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
3	ウララDF		普	フロニカミド	29	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
4	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-
5	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ナメクリーン3		普	メタアルデヒド	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
7	フィールドマストフロアブル	抑制	普	ジクロロメゾチアズ	4E	○	○	-	○	-	○	-	-	○	○	-
8	プロフレアSC	抑制	普	プロフラニリド	30	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類(ケールを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						アオムシ	アブラムシ類	コナガ
1	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニリプロール	28	○	○	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類(からしなを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						キスジノミハムシ	ネキリムシ類
1	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	○	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、チンゲンサイ、なばな類、非結球はくさい、非結球メキャベツを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						コナガ
1	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、みずな、ケール、ひろしまなを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						キスジノミハムシ	ケラ	ネキリムシ類
1	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	○	○	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類(こまつな、みずな、なばな類を除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						コナガ
1	ブレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類(チンゲンサイを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						アブラムシ類	キスジノミハムシ	コナガ
1	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-
2	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-
3	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	-	○
4	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	○	-

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類(チンゲンサイ、畑わさびを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						アブラムシ類	キスジノミハムシ
1	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○
2	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類(なばな類、のざわな、チンゲンサイ、こまつなを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名						
						アオムシ	アザミウマ類	コナガ	ハイマダラノメイガ	ハスモンヨトウ	ハモグリバエ類	ヨトウムシ
1	アフアーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	○	○	○	○	○	○	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類(みずな、非結球はくさいを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						アオムシ	アザミウマ類	コナガ	ハイマダラノメイガ	ハモグリバエ類	ヨトウムシ
1	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	○	○	○	○	○	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－非結球メキャベツ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名		
						ア ブ ラ ム シ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ヨ ト ウ ム シ
1	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-
2	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息 香酸塩	6	-	○	-
3	オンコル粒剤5		普	ベンフラカルブ	1A	○	-	-
4	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	○	-
5	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	○
6	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－こまつな－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名				
						ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ガ	ア オ ム シ	ア ザ ミ ウ マ 類	ネ キ リ ム シ 類
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-
2	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-
3	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息 香酸塩	6	-	○	-	-	-
4	オルトラン粒剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	○
5	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	○	○	-	-
6	ジェイエース粒剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-
7	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	○	○	○	-
8	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプロール	28	-	○	-	-	-

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－チンゲンサイ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						白さび病	軟腐病
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロピン	11	○	-
2	スターナ水和剤		普	オキシリニック酸	31	-	○
3	ユニフォーム粒剤		普	【*1】	11、4	○	-

【*1】1. アゾキシストロピン 2. メタラキシル及びメタラキシルM

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－チンゲンサイ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						アブラムシ類	ハモグリバエ類	アオムシ	コナガ	キスジノミハムシ
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	○	-	-	-
2	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-
3	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	○	-	○	-	-
4	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	○	○	-
5	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	○
6	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	○
7	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	-	○	-
8	ジェイエース水溶剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-
9	ジェイエース粒剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-
10	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	○
11	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	○
12	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	○	-	-	-
13	パダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	-	○	-	○	○
14	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	-	○	○	○
15	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	○

13-(33) チンゲンサイ

(野菜類、葉菜類、非結球あぶらな科葉菜類に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
べと病 白さび病	生育期 1. 発病株は除去して、ほ場外に持ち出し処分する。 2. ハウス栽培は多湿にならないよう換気する。	・低温・多湿で発病が多い。
軟腐病	植付前 アブラナ科野菜の連作を避ける。 生育期 発病株は早期に抜き取り処分する。	・高温・多湿で発病が多い。
斑点細菌病	植付前 連作を避ける。 生育期 1. 健全な苗を定植する。 2. 多湿にならないようにハウスの換気に注意する。 3. 発病株は早期に抜き取り処分する。	・冬～春先に出荷する作型で発病が多い。 ・病原菌は収穫期に芯腐れ症状を引き起こす。育苗中の苗に斑点が見られる場合もある。
根こぶ病	植付前 1. 石灰類により土壌酸度を矯正する。 2. 低湿地での作付けを避け、排水を良好にする。 3. アブラナ科野菜の連作を避ける。	・土壌が酸性に傾くと発病しやすい。
アザミウマ類 ハモグリバエ類 キスジノミハムシ	生育期 1. ほ場周辺の除草をする。 2. 防虫ネット被覆により侵入を防ぐ。 (防虫ネットによる防除の項参照) 収穫後 収穫残さは、ほ場に残さないようにする。	・アザミウマ類・キスジノミハムシは高温・乾燥で発生が多い。

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－のざわな－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						べと病
1	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－のざわな－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						アブラムシ類	アオムシ	コナガ	ヨトウムシ
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-
2	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	○	○	-
3	トアローフロアブルCT		-	BT	11A	-	-	-	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－みずな－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						立枯病	炭疽病	尻腐病
1	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	-
2	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	○	-
3	リゾレックス粉剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－みずな－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						アブラムシ類	ダイコンハマシ	ヤサイゾウムシ	コナガ	アオムシ	ハモグリバエ類
1	アディオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	○	○	-	○	-
2	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-
3	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	○	○	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－なばな類－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						白さび病	根こぶ病
1	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	-
2	ネビジン粉剤		普	フルスルファミド	36	-	○
3	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	○	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－なばな類(なばなを除く)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						べと病	黒斑病	白さび病	白斑病
1	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	○	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－なばな類－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名								
						アブラムシ類	アオムシ	コナガ	ハイマダラノメイガ	ハスモンヨトウ	ヨトウムシ	ネキリムシ類	ハモグリバエ類	キスジノミハムシ
1	アグロスリン水和剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	○	○	○	○	○	-	-	-
3	オルトラン粒剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-	-	-	-	-
4	ガードベイトA	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	-	-	-	-	○	-	-
5	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	○	-	○	-	-	○	-
6	プリロッソ粒剤オメガ	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	-	-	-	-	-
7	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプロール	28	-	○	○	-	○	-	-	○	-
8	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－なばな類(はなっこりー、なばなを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						ケラ	コガネムシ類幼虫	ネキリムシ類
1	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	○	○	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－なばな類－なばな－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名			
						白 さび 病	べ と 病	黒 斑 病	白 斑 病
1	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	○	○

野菜類－葉菜類－非結球あぶらな科葉菜類－なばな類－なばな－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						ケ ラ	コ ガ ネ ム シ 類 幼 虫
1	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	○	○

野菜類－葉菜類－レタス類－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						腐敗病	菌核病	灰色かび病	すそ枯病
1	カナメフロアブル		普	インピルフルキサム	7	-	○	○	○
2	クプロシールド		普	銅	M1	○	-	-	-

野菜類－葉菜類－レタス類－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						ハスモンヨトウ	オオタバコガ	ヨトウムシ	ウワバ類	ナモグリバエ
1	フィールドマストフロアブル	抑制	普	ジクロロメゾチアズ	4E	○	-	○	-	○
2	プロフレアSC	抑制	普	プロフラニリド	30	○	○	○	○	-

野菜類－葉菜類－レタス類－レタス－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機分類	病害虫雑草名						
						腐敗病	すそ枯病	灰色かび病	菌核病	べと病	斑点細菌病	軟腐病
1	Zボルドー		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-	-
2	アグリマイシン-100		普	1.オキシテトラサイクリン 2.ストレプトマイシン	41、25	○	-	-	-	-	-	-
3	アグレプト水和剤		普	ストレプトマイシン	25	○	-	-	-	-	-	-
4	アフエットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	-	○	○	○	-	-	-
5	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	-	○	○	○	○	-	-
6	オリゼート粒剤		普	プロベナゾール	P2	○	-	-	-	-	○	-
7	オロンディスウルトラSC		普	1.オキサチアピフロリン 2.マンジプロバミド	49,40	-	-	-	-	○	-	-
8	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	○	-	-	-	-	○	-
9	カセット水和剤		普	1.オキシソリニック酸 2.カスガマイシン	31、24	○	-	-	-	-	○	○
10	カッパーシン水和剤		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	○	-	-	-	-	○	-
11	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	-	-	○	○	-	-	-
12	キノンドーフロアブル		普	有機銅	M1	○	-	-	-	-	○	○
13	ケンジャフロアブル		普	インフェタミド	7	-	-	○	○	-	-	-
14	ザンプロDMフロアブル		普	1.アメクトラジン 2.ジメトモルフ	45、40	-	-	-	-	○	-	-
15	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11、7	-	○	○	○	○	-	-
16	ジャストフィットフロアブル		普	【*1】	43、40	-	-	-	-	○	-	-
17	スターナ水和剤		普	オキシソリニック酸	31	○	-	-	-	-	○	○
18	スミブレンド水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.フロシミドン	10、2	-	-	○	○	-	-	-
19	ゾーベックエンテクタSE		普	1.オキサチアピフロリン 2.アミスルフロム	49、21	-	-	-	-	○	-	-
20	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	○	○	-	○	-	-
21	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	○	○	○	-	-	-
22	ナレート水和剤		普	1.オキシソリニック酸 2.有機銅	31、M1	○	○	-	-	-	○	○

【*1】1.フルオピコリド 2.ペンチアバリカルブイソプロピル

野菜類－葉菜類－レタス類－レタス－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名						
						腐敗病	すそ 枯病	灰色 かび病	菌核 病	べと 病	斑点 細菌病	軟腐 病
23	ネクスターフロアブル		普	イソピラザム	7	-	○	○	○	-	-	-
24	バリダシン液剤5		普	バリダマイシン	U18	○	○	-	-	-	-	○
25	パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	-	○	○	○	-	-	-
26	ピンロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	-	-	-	-	○	-	-
27	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	-	○	○	○	-	-	-
28	フロンサイド粉剤		普	フルアジナム	29	-	○	-	-	-	-	-
29	ベルケート水和剤		普	イミノクタジン	M7	-	-	○	○	-	-	-
30	ベンレート水和剤		普	ペノミル	1	-	○	○	○	-	-	-
31	メジャーフロアブル		普	ピコキシストロビン	11	-	○	○	○	○	-	-
32	モンカットフロアブル40		普	フルトラニル	7	-	○	-	-	-	-	-
33	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	○	-	-
34	リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	-	○	-	-	-	-	-
35	レーバスフロアブル		普	マンジプロパミド	40	-	-	-	-	○	-	-
36	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	○	○	○	-	-	-

野菜類－葉菜類－レタス類－レタス－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名										
						アブラムシ類	ナモグリバエ	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	ネキリムシ類	ヨトウムシ	ハモグリバエ類	ネグサレセンチュウ	ナメクジ類	ウワバ類	アザミウマ類
1	アクセルフロアブル	抑制	普	メタフルミゾン	22B	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
2	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアマトキサム	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアマトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アニキ乳剤		普	レピメクチン	6	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
6	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
7	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
9	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	ガードベイトA	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
11	カルホス微粒剤F		劇	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
12	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	○
13	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-
14	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	ジュリポフロアブル	抑制	普	1.クロラントラニプロール 2.チアマトキサム	28、4A	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-
16	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
17	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
18	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-
19	セフィーナDC		普	アフィドピロベン	9D	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
21	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	○
22	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
23	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	○
24	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25	トルネードエースDF	抑制	普	インドキサカルブ及びインドキサカルブMP	22A	-	-	○	○	-	○	-	-	-	○	-
26	ナメクリーン3		普	メタアルデヒド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-

野菜類－葉菜類－レタス類－レタス－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名										
						アブラムシ類	ナモグリバエ	ハスモンヨトウ	オオタバコガ	ネキリムシ類	ヨトウムシ	ハモグリバエ類	ネグサレセンチュウ	ナメクジ類	ウワバ類	アザミウマ類
27	ネキリエースK		普	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
28	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
29	ハクサップ水和剤	抑制	劇	1. フェンバレレート 2. マラソン	3A、1B	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
30	パダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	○	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-
31	ハチハチフロアブル	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-
32	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメキン	34	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
33	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	○	○	-	○	-	-	-	○	-
34	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	○
35	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプリ ロール	28	-	-	○	○	○	○	-	-	-	-	-
36	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
38	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニプリ ロール	28	-	-	○	○	-	○	-	-	-	○	-
39	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニプリ ロール	28	○	-	○	○	-	○	-	-	-	○	-
40	マイキラーL		普	メタアルデヒド	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
41	マッチ乳剤	抑制	普	ルフェヌロン	15	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
42	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
43	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
44	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
45	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプリロール	28	○	-	○	○	-	○	○	-	-	○	-
46	リーフガード顆粒水和剤		劇	チオシクラム	14	○	○	-	-	-	-	-	-	○	-	○

13-(39) レタス（野菜類、葉菜類、レタス類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
菌核病	植付前 1. 多発ほ場での連作を避ける。 2. 全面マルチ栽培を行う。 生育期 被害株は菌核を残さないように除去し、ほ場外へ搬出して処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本病は多犯性の病害である。 ・土壌中の菌核が子のう盤を形成し、胞子が飛散して伝染する。また、菌糸の接触でも伝染する。 ・平均気温 15～20℃で発病が多いが、5～10℃でも条件により多発する。25℃以上では少ない。 ・曇雨天が続き湿度が高いと発病が多くなる。
すそ枯病	播種前、植付前 1. 育苗資材の洗浄、消毒を徹底する。 （資材消毒の項参照） 2. 連作を避ける。 3. 全面マルチ栽培を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・病原菌の生育適温は 24℃で、最高 40～42℃、最低 13～15℃である。 ・病原菌は土中にいて、土が葉や株元にかかるると伝染する。そのため、深植えや中耕除草の際に、株に土がかかると発病が多くなる。
腐敗病	植付前 多発ほ場での連作を避ける。 生育期 被害株はできるだけほ場外へ搬出して処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・高温期の作型で雨が多いと発病が多くなる。 ・低温期は、凍霜害を受けると感染して発病する。
斑点細菌病	植付前 1. 多発ほ場での連作を避ける。 2. 全面マルチ栽培を行う。 生育期 被害株はできるだけほ場外へ搬出して処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・病原菌は被害残渣とともに土壌中に残る。 ・気温がやや低く雨の多いときに、発病が多くなる。
べと病	育苗期 1. 換気をよくし、過湿にならないように注意する。 2. 発病株は早期に抜き取り処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・病原菌は被害残渣とともに土壌中に残る。 ・春や秋の低温期に雨が多いと発病する。
根腐病	植付前 1. 連作や盛夏期の栽培を避ける 2. 育苗資材の洗浄、消毒を徹底する。 （資材消毒の項参照） 3. 病原菌レースに応じた耐病性品種を使用する。 4. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 生育期 1. 発病株は直ちに抜き取りほ場外へ搬出して処分する。 2. 被害が多く抜き取りが困難な場合は早めにすき込む。 3. 発生ほ場の土壌を未発生ほ場に移動させない。 <ul style="list-style-type: none"> ・発病ほ場での作業は最後に行う。 ・作業機等はほ場内で巡回し、土壌を外に出さない。 ・作業後、作業機等に付着した土壌はほ場内で落とす。 ・ほ場周辺にグリーンベルトを設置する。 ・休耕地には麦類を栽培する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本病は土壌伝染性の病害である。 ・高温期の作型で発病が多くなる。 ・土壌消毒後は病原菌汚染土壌を持ち込まない。 ・根腐病レースに対する主な耐病性品種（各種苗会社発表データによる） ○レース 1 スターレイ、Vレタス、フリフリッカー ○レース 2 インターセプト、サマーガイ、シーカー、サーマルスター ○レース 1・2 タフV、オアシス、アリスト、ツインセット、パスポート、ブルラッシュ、ペネトレイト、チアフル、コアトル、ヒートガイ、パワフル
モザイク病	生育期 1. 育苗は、寒冷紗等でアブラムシ類の飛来を防ぐ。 2. 発病株を早期に抜き取り処分する。 3. アブラムシ類の防除を行う。 （野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照）	<ul style="list-style-type: none"> ・CMV による発病が多い。 ・レタスモザイクウイルス（LMV）は、種子およびアブラムシにより伝染する。

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
黒根病	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 連作を避ける。 2. 盛夏期の栽培を避ける。 3. 育苗資材の洗浄、消毒を徹底する。 (資材消毒の項参照) 4. 土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発病株は直ちに抜き取りほ場外へ搬出して処分する。 2. 被害が多く抜き取りが困難な場合は早めにすき込む。 3. 発生ほ場の土壌を未発生ほ場に移動させない。 <ul style="list-style-type: none"> ・発病ほ場での作業は最後に行う。 ・作業機等はほ場内で巡回し、土壌を外に出さない。 ・作業後、作業機等に付着した土壌はほ場内で落とす。 ・ほ場周辺にグリーンベルトを設置する。 ・休耕地には麦類を栽培する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本病は土壌伝染性の病害である。 ・高温期の作型で発病が多くなる。 ・乾燥が続くと地上部の生育抑制が助長される。 ・曇雨天、低温が続くと症状が出にくい。 ・高温乾燥時には、かん水により症状が軽減されるケースがある。
軟腐病	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 窒素過剰を避け、適正施肥を行う 2. 排水不良や水が溜まりやすいほ場を避け、排水路や排水溝を設置し深耕や緑肥の作付けを行う。 <p>生育期</p> <p>発病株は直ちに抜き取りほ場外へ搬出して処分する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本病は土壌伝染性の病害である。 ・症状が激しくなると株が枯死し、激しい悪臭を放つ。 ・窒素過剰や高温・多雨条件が本病を誘発させる。
ナモグリバエ	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 育苗ハウスやほ場周辺の雑草を除去する。 2. 育苗中に産卵あるいは吸汁跡のある苗は、できる限り取り除く。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春先は寄生蜂などの天敵類が多いので、それらの保護に努める。 ・5～6月の発生が多い。
オオタバコガ	<p>生育期</p> <p>中齢期以降の幼虫は薬剤感受性が低下するため、若齢期の防除を徹底する。 (オオタバコガの防除対策の頁参照)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・8～10月の発生が多い。 ・孵化後、結球内部へ食入するため、外観から被害の確認が困難な場合がある。
アザミウマ類	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ほ場周辺の雑草を除去する。 2. 薬剤散布は発生初期に徹底防除する。 (ミナミキイロアザミウマ、ミカンキイロアザミウマの防除対策の頁参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ・結球基部、外葉を中心に食害痕があるため、上部からでは被害の確認が困難な場合がある。 ・高温乾燥時に発生が多い。 ・同一系統薬剤の連用は、薬剤感受性の低下につながるため、異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。

野菜類－葉菜類－レタス類－非結球レタス－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機分類	病害虫雑草名						
						腐敗病	すす枯病	灰色かび病	菌核病	斑点細菌病	軟腐病	べと病
1	Zボルドー		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-	-
2	アフエットフロアブル		普	ベンチオピラド	7	-	○	○	○	-	-	-
3	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	○	-	-	-	○	-	-
4	カッパーシン水和剤		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	○	-	-	-	○	-	-
5	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	-	-	○	○	-	-	-
6	キノドーフロアブル		普	有機銅	M1	○	-	-	-	○	○	-
7	ケンジャフロアブル		普	イソフェタミド	7	-	-	○	○	-	-	-
8	シグナムWDG		普	1.ピラクストロピン 2.ボスカリド	11、7	-	○	○	○	-	-	○
9	ジャストフィットフロアブル		普	【*1】	11、7	-	-	-	-	-	-	○
10	スターナ水和剤		普	オキシリニック酸	31	○	-	-	-	-	○	-
11	ゾーベックエンテクタSE		普	1.オキサチアピフロリン 2.アミスルフロム	49、21	-	-	-	-	-	-	○
12	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	○	-	-	-	-	○
13	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	○	-	-	-
14	バリダシン液剤5		普	バリダマイシン	U18	○	○	-	-	-	○	-
15	バレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	-	○	○	○	-	-	-
16	ピシロックフロアブル		普	ピカルフトラゾクス	U17	-	-	-	-	-	-	○
17	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ビリベンカルブ	11	-	○	○	○	-	-	-
18	フロンサイドSC		普	フルアジナム	29	-	○	-	-	-	○	-
19	フロンサイド粉剤		普	フルアジナム	29	-	○	-	-	-	-	-
20	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	-	-	○
21	レーバスフロアブル		普	マンジプロパミド	40	-	-	-	-	-	-	○
22	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	○	○	○	-	-	-

【*1】1.フルオピコリド 2.ベンチアバリカルブイソプロピル

野菜類－葉菜類－レタス類－非結球レタス－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

No.	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機分類	病害虫雑草名											
						ナモグリバエ	アブラムシ類	オオタバコガ	ハスモンヨトウ	ネキリムシ類	カブラヤガ	ヨトウムシ	ハモグリバエ類	ナメクジ類	ウワバ類	アザミウマ類	
1	アクセルフロアブル	抑制	普	メタフルミゾン	22B	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアトキサム	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アデオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
4	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アニキ乳剤		普	レビメクテン	6	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
7	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
9	ウララDF		普	フロニカミド	29	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	カルホス微粒剤F		劇	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
11	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	○	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	○
12	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	ジュリボフロアブル	抑制	普	1.クロラントラニリプロール 2.チアトキサム	28、4A	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-
14	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
16	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-
17	セフィーナDC		普	アフィドピロベン	9D	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-	○
21	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
22	トルネードエースDF	抑制	普	インドキサカルブ及び インドキサカルブMP	22A	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	-
23	ネキリエースK		普	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
24	バダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-
25	ハチハチフロアブル	抑制	劇	トルフェンピラド	1:21A、 F:39	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	-
27	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
28	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプロール	28	-	-	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-
29	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニリプロール	28	-	○	○	○	-	-	○	○	-	○	-	-
30	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニリプロール	28	-	○	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-
31	マイキラーL		普	メタルデヒド	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
32	マッチ乳剤	抑制	普	ルフェスロン	15	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
34	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプロール	28	-	○	○	○	-	-	○	○	-	○	-	-
35	リーフガード顆粒水和剤	抑制	劇	チオシクラム	14	○	○	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○

野菜類－葉菜類－レタス類－非結球レタス－サラダ菜－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						褐 斑 病	
1	アリエツティ水和剤		普	ホセチル	P7	○	

野菜類－葉菜類－レタス類－非結球レタス－リーフレタス－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名	
						ア ブ ラ ム シ 類	オ オ タ バ コ ガ
1	ハクサップ水和剤	抑制	劇	1.フェンバレレート 2.マラソン	3A、1B	○	○

野菜類－葉菜類－せり科葉菜類－セルリー－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						菌核病	斑点病	軟腐病
1	アフエットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	○	○	-
2	エコショット		-	バチルス ズブチリス	BM2	-	○	-
3	スターナ水和剤		普	オキシリニック酸	31	-	-	○
4	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	-	○	-
5	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	○	-
6	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	○	-

野菜類－葉菜類－せり科葉菜類－セルリー－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						ナモグリバエ	アブラムシ類	ハスモンヨトウ	ハモグリバエ類	ヨトウムシ	ナメクジ類
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアマトキサム	4A	○	-	-	-	-	-
2	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	-	○	-	-	-	-
3	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	○	○	○	-
4	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	-	-	-	-
5	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	-	-	-	-
6	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	-	-	○	-
7	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	-	-	-	-
8	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	-	-	-	-
9	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	○	-	-
10	ナメクリーン3		普	メタアルデヒド	-	-	-	-	-	-	○
11	ハチハチフロアブル	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	○	-	-	-	-
12	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	○	○	-	-	-	-
13	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	○	-	-	-	-

野菜類－根菜類－しょうが－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						紋枯病	いもち病	根茎腐敗病
1	オラクル顆粒水和剤		普	アミスルプロム	21	-	-	○
2	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	-
3	バリダシン液剤5		普	バリダマイシン	U18	○	-	-
4	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	○	-
5	モンカットフロアブル40		普	フルトラニル	7	○	-	-
6	ユニフォーム粒剤		普	【*1】	11、4	-	○	○
7	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	○

【*1】1. アゾキシストロピン 2. メタラキシル及びメタラキシルM

野菜類－根菜類－しょうが－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						クロバネネキノコバエ類	アワノメイガ	ネキリムシ類	ハスモンヨトウ	ネコブセンチュウ
1	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-
2	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-
3	オルトラン水和剤		普	アセフェート	1B	-	○	-	-	-
4	ガードベイトA	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	○	-	-
5	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	-	○	-
6	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-
7	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-
8	トルネードエースDF	抑制	普	インドキサカルブ及びビンドキサカルブMP	22A	-	○	-	○	-
9	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンブロックス	3A	-	-	-	○	-
10	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	○
11	ビーラム粒剤		普	フルオプラム	-	-	-	-	-	○
12	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	-	○	-	-
13	プレパソフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリブロール	28	-	-	-	○	-

野菜類—みょうが(花穂)—殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						紋枯病	葉枯病	いもち病	根茎腐敗病	白絹病
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	-	-	-	-
2	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	-	-	-
3	ベンレート水和剤		普	ベンミル	1	-	-	○	-	-
4	ユニフォーム粒剤		普	【*1】	11、4	-	-	-	○	-
5	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	○	-
6	リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	-	-	○

【*1】1. アゾキシストロビン 2. メタラキシル及びメタラキシルM

野菜類—みょうが(花穂)—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						コナカイガラムシ類	アザミウマ類	ハスモンヨトウ	ハダニ類	アブラムシ類
1	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-
2	アグロスリン水和剤	抑制	劇	シベルメトリン	3A	-	○	○	-	○
3	アタブロン乳剤	抑制	普	クロルフルアズロン	15	-	-	○	-	-
4	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	-	○	-
5	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	-	○	-
6	コロマイト乳剤	抑制	普	ミルベメクチン	6	-	-	-	○	-
7	サンマイトフロアブル		劇	ピリダベン	21A	-	-	-	○	-
8	スターマイトフロアブル		普	シエノピラフェン	25A	-	-	-	○	-
9	ダニサラバフロアブル		普	シフルメトフェン	25A	-	-	-	○	-
10	チェス顆粒水和剤		普	ピメロジン	9B	-	-	-	-	○
11	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	○	-	-
12	マイトコーネフロアブル		普	ビフェナゼート	20D	-	-	-	○	-
13	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	-	-	-	-	○

13-(44) みょうが（野菜類に登録のある農薬も使用可能）

※みょうが（花穂）とみょうが（茎葉）は、農薬登録上「別の作物」であるため注意する。

病害虫名	防除方法	参考事項
根茎腐敗病	植付前 1. 無病地へ新植する。 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 生育期 雨よけ被覆、遮光被覆の防除効果が高い。	<ul style="list-style-type: none"> ・本病は土壌伝染性である。 ・新植する場合には、無病の地下茎株を用いる。 ・ほ場の高温多湿条件で発病が拡大する。 ・発病ほ場で使用した農機具、長靴などは必ず洗浄し、伝染を防ぐ。
葉枯病	植付前 排水不良の畑には、作付けしない。	<ul style="list-style-type: none"> ・降雨や暴風雨などは病原菌の飛散を助長し、本病の発病を助長する。

農薬を使用する上での注意

※「みょうが（花穂）」と「みょうが（茎葉）」は収穫する部分が異なるため、農薬の使用上「別の作物」として扱われる。

表1 適用農作物の区分

	農薬登録	
大作物群	野菜類	
中作物群	—	
作物名	みょうが（花穂）	みょうが（茎葉）
作物名に含まれる別名、 地方名、品種名等の例	はなみょうが	みょうがたけ
備考	花穂を収穫するもの	軟化させた茎葉を収穫するもの

野菜類－葉菜類－ヒユ科葉菜類－ほうれんそう－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						べと病	立枯病	萎凋病	苗立枯病(リゾクトニア菌)
1	アリエッティ水和剤		普	ホセチル	P7	○	-	-	-
2	ジャストフィットフロアブル		普	【*1】	43、40	○	-	-	-
3	タチガレン液剤		普	ヒドロキシイソキサゾール	32	-	○	-	-
4	ピシロックフロアブル		普	ピカルブトラゾクス	U17	○	○	-	-
5	フェスティバル水和剤		普	ジメトモルフ	40	○	-	-	-
6	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	-	○	-
7	ユニフォーム粒剤		普	【*2】	11、4	○	-	-	-
8	ライメイフロアブル		普	アミスプロム	21	○	-	-	-
9	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	○	-	-	-
10	リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	-	○
11	レーバスフロアブル		普	マンジプロバミド	40	○	-	-	-

【*1】1.フルオピコリド 2.ベンチアバリカルブイソプロピル

【*2】1.アゾキシストロビン 3.メタラキシル及びメタラキシルM

野菜類－葉菜類－ヒユ科葉菜類－ほうれんそう－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名														
						シロオビノメイガ	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	ミナミキイロアザミウマ	ヨトウムシ	ハクサイダニ	アザミウマ類	ホウレンソウケナガコナダニ	ケナガコナダニ類	ネキリムシ類	アシダカグサハモグリバエ	タネバエ	ハモグリバエ類	ネコブセンチュウ	
1	アクセルフロアブル	抑制	普	メタフルミゾン	22B	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シベルメトリン	3A	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5	アディオン乳剤	抑制	普	ベルメトリン	3A	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
8	アニキ乳剤		普	レピメクテン	6	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	-	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
10	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	ウララDF		普	フロニカミド	29	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	ガードベイトA	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
14	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
15	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
16	コテツベイト		普	クロルフェナピル	13	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
17	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
18	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-
20	スミチオン乳剤		普	MEP	1B	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
21	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
22	ディアナSC		普	スピネトラム	5	○	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-
23	トランスフォームフロアブル		普	スルホキサフロル	4C	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
24	ネコナカットフロアブル	抑制	普	エトキサゾール	10B	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
25	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
26	バダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
27	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-
28	ブレバソフフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリブロール	28	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
29	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	モベントフロアブル		普	スピロテトラマト	23	-	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
31	リーフガード顆粒水和剤	抑制	劇	チオシクラム	14	-	-	○	-	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-

13-(45) ほうれんそう（野菜類、葉菜類、ヒユ科葉菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
立枯病 株腐病 根腐病	<p>播種前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 2. 連作を避ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏まきの作型で発生が多い。 立枯病（ピシウム菌） 株腐病（リゾクトニア菌） 根腐病（アフアノマイセス菌）
萎凋病	<p>播種前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 2. 窒素過多で発病しやすいので適正な肥培管理をする。 3. 連作を避ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生育初期の発病では、苗立枯症状を呈し欠株となる。 ・地温の高い条件下で多く発病し、初夏から初秋に被害が大きい。
べと病	<p>播種前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 有機物を施用して土づくりに努め、ほ場の排水性をよくする。窒素過多で発生しやすいので適正な施肥量とする。 2. 抵抗性品種を選定して栽培する。 <p>播種時</p> <p>適用薬剤を使用する。</p> <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適正な株間と条間を保ち、密植・過繁茂を防ぐ。 2. 露地のトンネル被覆栽培では、通気性のよい資材を選択する。 3. 施設栽培では、換気をよくして過剰なかん水を避け、湿度を下げる管理を行う。 4. 生育初期の防除を徹底し、適用薬剤の散布は葉裏によくかかるよう丁寧に行う。 <p>収穫後</p> <p>収穫残さは、なるべくほ場外に持ち出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・10℃前後の曇天で多湿時に発生が多い。 ・べと病レースに対する主な抵抗性品種（別表参照）
白斑病	<p>播種前</p> <p>有機物を施用して土づくりに努め、ほ場の排水性をよくする。</p> <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 適正な株間と条間を保ち、密植・過繁茂を防ぐ。また、極端な早播きを避ける。 2. 露地のトンネル被覆栽培では、通気性のよい資材を選択する。 3. 施設栽培では、換気をよくして過剰なかん水を避け、湿度を下げる管理を行う。 4. 生育初期の防除を徹底し、適用薬剤の散布は葉裏によくかかるよう丁寧に行う。 <p>収穫後</p> <p>収穫残さは、なるべくほ場外に持ち出す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ステムフィリウム属菌による病害。5～11月の多湿で発生が多くなり、同心円状の円形模様のある白斑が発生する。 ・アカザ科の雑草から感染が広がるので除草を徹底する
褐斑病	<ul style="list-style-type: none"> ・対策は同時期に発生する白斑病に準じるが、生育期間中に使用できる登録農薬はないので、環境改善で発生を防ぐ。 ・特に施設栽培では、換気をよくして過剰なかん水を避け、湿度を下げる管理を行うほか、遮光ネット（遮光率50～60%程度）の展張や妻面強制換気、細霧冷房やウォーターカーテン等を活用して積極的に気温を低下させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サーコスポラ属菌による病害。8～10月の高温多湿で発生が多く、下葉を中心に白斑が見られる。 ・本病害は、病斑に退色帯（ハロー）があることから、類似症状の高温による生理障害と区別することができる。

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
センチュウ類	播種前 土壌消毒を行う。(土壌くん蒸剤の項参照) (ネコブセンチュウの防除対策の項参照)	・前作に発病がみられていると、多発する可能性がある。
タネバエ	播種前 有機質資材は、播種の1か月以上前に施用しておく。 播種時 適用薬剤を使用する。	
ハウレンソウ ケナガコナダ ニ	播種前 1. 夏期に太陽熱消毒を行う。 (太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除の項参照) 2. 未熟たい肥の施用は避ける。 3. 適用薬剤を使用する。 生育期 1. 未展開葉に寄生しているので、適用薬剤を散布する場合には丁寧に行う。 2. 薬剤防除は、生育初期(本葉2葉期と4葉期)に重点的に行う。 収穫後 残さが翌年の発生源になるので、ほ場外へ持ち出す。	・15~25℃の多湿条件でよく増殖し、秋冬~春に多く発生する。 ・菜種粕、野菜残さ、糸状菌(未熟たい肥により増殖)、土壌表面の藻類などをエサとする。 ・主に本葉2~4葉期の加害による被害が大きい。 ・4葉期以降に被害が発生してからの防除は手遅れとなる。
シロオビノメイガ	播種前 1. ほ場周辺の雑草(特にヒユ科・スベリヒユ科)を除去する。 2. 防虫ネットを展張して成虫の飛来を防ぐ。 生育期 1. 初めは局所的に発生することが多いので早期発見に努め、適期防除を行う。 2. 適用薬剤を散布する場合は、幼虫のいる中心葉および葉裏に薬剤がかかるようにする。	・8月から発生がみられ9月以降被害が急増する。 ・幼虫は葉を曲げて糸を張り、綴った葉の内部に生息している。
アシグロハモ グリバエ	播種前 1. ほ場周辺の雑草を除去する。 2. 施設栽培では開口部に防虫ネットを設置し、成虫の侵入を防ぐ。(防虫ネットによる防除の項参照) 収穫後 1. 高温期の施設栽培では、栽培終了時に蒸し込み処理を行う。 2. 被害株はほ場外に持ち出し処分する。	・ハウレンソウの他に、多くの植物に寄生する。 ・施設内で越冬することが確認されている。
ハクサイダニ	播種前 1. ほ場周囲の雑草でも繁殖するため、雑草防除を行う。 2. 夏季にポリ被覆により太陽熱消毒をする。 (太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除の項参照) 収穫後 植物残さは放置せず、直ちに鋤込み処分する。 (ハクサイダニの防除対策の項参照)	・高湿度状態だと、45℃3日で休眠卵は死滅する。 ・本虫は休眠卵で越冬し、16℃以下になると孵化を始め、第1世代成虫(休眠卵から孵化したもの)が11月頃から発生し、春先まで被害が見られる。 ・暖冬の年は発生量が多く被害も大きくなる。 ・行動はきわめてすばやく、わずかな振動で葉陰や株もとに隠れる。

(別表)ホウレンソウべと病抵抗性品種一覧表(各種苗会社発表データより)

品種名	レース																			メーカー名	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19		
オシリス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○					○						サカタ のタネ
クロノス	○	○	○	○	○	○	○		○				○		○	○			○		
ジャスティス	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○	
トリトン	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○	
プログレス	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○	
ミラージュ	○	○	○	○	○	○	○		○		○		○		○	○			○		
ハイドン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○			○		
ドンキー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○			○		
ゴードン	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○	
ピンドン	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○			○	○	
スーパーセーブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
晩抽サンホープ	○	○	○	○	○			○	○		○	○		○	○						カネコ 種苗
ハイサンピア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○					
金の夏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○			○		ナント 種苗
黒虎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	○			○		
スクープ	○	○	○	○											○						
早一郎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○						朝日 アグリア
スーパースター	○	○	○	○	○			○	○				○								
アレグレット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○					トーホク
タフスカイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○				○	タキイ 種苗
吉兵衛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○				○	
伸兵衛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○				○	
福兵衛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○				○	
寒兵衛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	
徳兵衛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○		○	
寒味・極	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○							トキタ 種苗
じっくり朝霧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○			○	○						渡辺 採種場
WSP32	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※種苗会社の品種資料により、○は抵抗性あり、空欄は抵抗性なしまたは記載なし。

野菜類－葉菜類－レタス以外のきく科葉菜類－しゅんぎく－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						炭疽病	葉枯病
1	アフエットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	-	○
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	-
3	スクレアフロアブル		普	マンデストロビン	11	○	-
4	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	-

野菜類－葉菜類－レタス以外のきく科葉菜類－しゅんぎく－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名										
						アブラムシ類	ハモグリバエ類	ナモグリバエ	アザミウマ類	シロイチモジヨトウ	ネキリムシ類	ハスモンヨトウ	マメハモグリバエ	コナジラミ類	ハクサイダニ	
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメキサム	4A	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメキサム	4A	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アディオン乳剤	抑制	普	ペルメリン	3A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
4	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
5	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8	ガードベイトA	抑制	普	ペルメリン	3A	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
9	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-
10	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
11	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
12	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-	○
14	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	○	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-
15	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

13-(46) しゅんぎく

(野菜類、葉菜類、レタス類以外のきく科葉菜類に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
炭疽病	<p>播種前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 連作を避ける。 2. 窒素過多で発病しやすいので多肥にしない。 <p>生育期</p> <p>ほ場の排水性と通気を確保し、過剰なかん水をしていない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的气温が高く、多湿条件の時に発病しやすい。
べと病	<p>生育期</p> <p>ほ場の排水、施設内の通気をはかり密植栽培を避ける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平均気温が20℃以下になると発病しやすい。
菌核病	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設を閉め切る時期に発病が多くなるので、天気の良い日はサイドを開けるなど湿度を下げる。 2. 被害株はほ場外へ持ち出し処分する。 <p>収穫後</p> <p>収穫残さはほ場外へ持ち出し処分する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・種子伝染し、発病適温は20℃前後のため、春と秋に発病しやすく、多湿条件で発病が助長される。
葉枯病	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設栽培では換気を十分に行い、湿度低下を図る。 2. 密植栽培を避ける。 3. 窒素過多で発病しやすいので多肥にしない。 <p>収穫後</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 被害株はほ場外へ持ち出し処分し、連作を避ける。 2. 施設栽培では夏季にポリ被覆により太陽熱消毒をする。 (太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除の項参照) 	<ul style="list-style-type: none"> ・多湿条件の時に発病しやすい。
ハモグリバエ類	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 施設栽培では開口部に防虫ネットを設置し、成虫の侵入を防ぐ。 (防虫ネットによる防除の項参照) 2. 被害株はほ場外に持ち出し処分する。 <p>収穫後</p> <p>施設栽培では、栽培終了時に密閉して蒸し込み処理を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・黄色粘着板を設置して誘殺するとともに、発生状況を把握する。
ハクサイダニ	<p>播種・定植前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 多くの植物に寄生し、周辺雑草にも生息するので雑草防除をする。 2. 夏季にポリ被覆により太陽熱消毒をする。 (太陽熱消毒法による土壌病害虫の防除の項参照) <p>生育期</p> <p>被害株は放置せず、ほ場外へ持ち出し処分する。</p> <p>収穫後</p> <p>収穫残さは放置せず、直ちにすき込み処分する。 (ハクサイダニの防除対策の項参照)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高湿状態だと、45℃3日で休眠卵は死滅する。 ・休眠卵で越冬し、16℃以下になると孵化を始め、第1世代成虫(休眠卵から孵化したもの)が11月頃から発生し、春先まで被害が見られる。 ・暖冬の年は発生量が多く被害も大きくなる。 ・行動は極めて素早く、わずかな振動で葉陰や株元に隠れる。

野菜類－葉菜類－せり科葉菜類－みつば－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						灰色かび病	べと病	菌核病	立枯病
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	-	-	-
2	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	○	-	-
3	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	-
4	バリダシン液剤5		普	バリダマイシン	U18	-	-	-	○
5	リゾレックス粉剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	-	○

野菜類－葉菜類－せり科葉菜類－みつば－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						アブラムシ類	キアゲハ	ハスモンヨトウ	ハダニ類	ヨトウムシ
1	アドマイヤー顆粒水和剤		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-
2	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	○	○	○	○
3	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-
4	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	○	-	-
5	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	○	-	-
6	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-

野菜類－茎野菜類－ふき類－ふき－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						灰色かび病	白絹病	葉枯病
1	セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	○	-	-
2	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	-
3	バリダシン液剤5		普	バリダマイシン	U18	-	○	-
4	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	-	○
5	リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	-	○	-
6	リゾレックス粉剤		普	トルクロホスメチル	14	-	○	-

野菜類－茎野菜類－ふき類－ふき－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名								
						ハスモンヨトウ	アブラムシ類	コナジラミ類	フキアブラムシ	フキノメイガ	ヨトウムシ	アザミウマ類	モモアカアブラムシ	ハダニ類
1	アタブロン乳剤	抑制	普	クロルフルアズロン	15	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	-	○	○	-	-	-	-	-	-
3	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	-	-	-	-	-	-	-
4	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-
5	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	○	-	-	-	-	-	-	-	○
6	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	○	-	-	-	-	-	-	-
7	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-
8	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	○	-	-	-	-	-
9	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンプロックス	3A	-	-	○	-	○	○	-	-	-
10	パダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	-	○	-	-	○	-	○	-	-
11	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプロール	28	○	-	-	-	-	-	-	-	-
12	モスピラン粒剤	抑制	普	アセタミプリド	4A	-	-	○	-	-	-	-	○	-

野菜類－ふき(ふきのとう)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名					
						ア ブ ラ ム シ 類	コ ナ ジ ラ ミ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ハ ダ ニ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	フ キ ノ メ イ ガ
1	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	○	-	-	-	-
2	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	○	○	-	-
3	パダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	○	-	-	-	○	○

13-(48・49) ふき・ふきのとう（野菜類に登録のある農薬も使用可能）

※「ふき」と「ふきのとう」は、農薬登録上「別の作物」であるため注意する。

病害虫名	防除方法	参考事項
葉枯病 さび病	植付前 低湿地での栽培を避ける。 生育期 被害葉を集めて処分する。	・葉枯病は、春（4～5月）と秋（9～10月）に発病が多い。
半身萎凋病	植付前 1. パーティシリウム病対策の項参照 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照）	・種茎によって病原菌が持ち込まれることが多いので、健全な親株から採取されたものを種茎として用いる。
白絹病	植付前 発病地では連作を避ける。 生育期 発病株は早期に抜き取り処分する。	・多犯性の土壌伝染性病害である。 ・5月下旬頃から発病し、8～9月に被害が目立ってくる。
モザイク病	生育期 1. 発病株は早期に抜き取り処分する。 2. アブラムシ類の防除を徹底する。 （野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照）	・モザイク病罹病株を種茎にしない。健全な親株から採取されたものを種茎として用いる。
フキノメイガ	生育期 折れ曲がった葉柄や葉がしおれた葉柄は、虫糞の出ている食入孔の下部から切り取って幼虫を処分する。	・幼虫が茎内深くへ食入すると防除は難しくなるので、幼虫ふ化期～食入開始期（6～8月）の防除を徹底する。
ハスモンヨトウ	生育期 ほ場周辺を除草する。 （ハスモンヨトウの防除対策の項参照）	・若齢幼虫時での防除を徹底する。

農薬を使用する上での注意

※ 「ふき」と「ふきのとう」は収穫する部分が異なるため、農薬の使用上「別の作物」として扱われる。このため、表1のとおり使用できる農薬が区分されるので注意する。

表1 ふき・ふきのとうに使用できる農薬の区別

ふき ¹⁾	ふきのとう ²⁾	使用できる農薬
収穫する	収穫する	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふき」と「ふき（ふきのとう）」の両方に登録がある農薬 ・「ふき類」と「ふき（ふきのとう）」の両方に登録がある農薬 ・「茎野菜類」と「ふき（ふきのとう）」の両方に登録がある農薬 ・「野菜類」に登録がある農薬
収穫しない	収穫する	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふき（ふきのとう）」に登録がある農薬 ・「野菜類」に登録がある農薬
収穫する	収穫しない	<ul style="list-style-type: none"> ・「ふき」に登録がある農薬 ・「ふき類」に登録がある農薬 ・「茎野菜類」に登録がある農薬 ・「野菜類」に登録がある農薬

1) 「ふき」とは「葉柄を収穫するもの」で、ラベル上の表記は「ふき」

2) 「ふきのとう」とは、「ふきのとうを収穫するもの」で、ラベル上の表記は「ふき（ふきのとう）」

野菜類－茎野菜類－アスパラガス－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名					
						茎 枯病	斑 点病	褐 斑病	立 枯病	株 腐病	苗 立枯病
1	ICボルドー66D		普	銅	M1	○	○	-	-	-	-
2	Zボルドー		普	銅	M1	○	○	-	-	-	-
3	アフエットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	○	○	○	-	-	-
4	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	○	○	-	-	-
5	キノドーフロアブル		普	有機銅	M1	○	-	-	-	-	-
6	クプロシールド		普	銅	M1	○	○	-	-	-	-
7	コサイド3000		普	銅	M1	○	○	○	-	-	-
8	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11、7	○	○	○	-	-	-
9	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	-	○	-	-	-	-
10	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	○	○	-	-	-
11	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	○	-	-	○	-	-
12	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	-	-	-	○	-	-
13	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	○	○	○	-	-	-
14	ベルコート水和剤		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	-	-	-
15	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	○	-	-	-	○	-
16	ラリー水和剤		普	ミクロブタニル	3	○	○	○	-	-	-
17	リブレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	○	-	-	-	-	○
18	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	○	○	○	-	-	-

野菜類－茎野菜類－アスパラガス(露地栽培)－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名		
						茎 枯病	斑 点病	褐 斑病
1	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	○	○	○
2	ペンコゼブ水和剤		普	マンゼブ	M3	○	○	○

野菜類－茎野菜類－アスパラガス－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名										
						アブラムシ類	オオタバコガ	カメムシ類	ジュウシホシクビナガハムシ	ヨトウムシ	アザミウマ類	ハスモンヨトウ	ネギアザミウマ	ネキリムシ類	ハダニ類	コナジラミ類
1	アディオン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
2	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
3	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	○	-	○	-	○	-	-	○	-	-
4	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○
5	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
6	ガードベイトA	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-
7	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	-	-	○	-	○	○	-	-	○	-
8	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	○	-	○	○	-	○	-	-	○	-
9	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○
10	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
11	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-
12	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	○	-	○	-	○	○	-	-	-	○
13	ハチハチフロアブル	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	-	-	○	-	-	-	○	-	-	○
14	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロトキン	34	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
15	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
16	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	-	○	-	○	-	○	○	-	-	-	-
17	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプロール	28	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
18	ブロフレアSC	抑制	普	ブロフラニリド	30	-	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-
19	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	○	○	-	○	-	-	-	-	○

13-(50) アスパラガス（野菜類、茎野菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
茎枯病	植付前 1. 窒素肥料の過剰施用と栽培後期の肥切れを避ける。 2. 疎植にして風通しをよくする。 生育期 1. 排水を良好にする。 2. ポリマルチや敷ワラを行い、土のはね返りを防ぐ。 3. 発病茎は早めに刈り取り、ほ場外に搬出して処分する。 4. 刈り取り期には茎葉をできるだけ低く刈り取り処分する。 5. 苗からの菌の持ち込みが懸念されるため、育苗期にも防除を行う。 6. 定植時期によるが5月頃から防除を開始し、梅雨期と秋雨期は短い間隔で定期的に防除を行う。 7. 茎を刈り取った後、罹病残茎をバーナーで焼却する。	<ul style="list-style-type: none"> ・1年株養成法と夏まき短期（1年半）株養成法は、2年株養成法より被害が少ない。 ・梅雨期に感染し多発する。 ・薬剤が株元にも到達するように散布する。 ・銅水和剤を夏季の高温時に散布すると、葉害が発生することがある。 ・伏せ込み栽培では、農薬の使用時期が収穫終了後となっている薬剤は使用できない。 ・7日間隔の薬剤散布では、十分な防除効果が得られないことがあるので注意する。
斑点病	耕種の防除法は茎枯病に準じる。	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の終わりから秋に雨が多いと多発する。 ・伏せ込み栽培では、農薬の使用時期が「収穫終了後」となっている薬剤は使用できない。
褐斑病	耕種の防除法は茎枯病に準じる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウスと露地の両方で発生する。 ・多湿は発生を助長する。 ・菌の生育適温は28℃で、斑点病より高温で発生しやすい。5℃以下では生育しない。
立枯病	播種前、植付前 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 生育期 1. 排水を良好にする。 2. 苗からの病原菌の持ち込みに注意する。	<ul style="list-style-type: none"> ・立枯病に感染した根株を伏せ込み栽培すると、曲がり症の発生がみられる。 ・伏せ込み栽培では、農薬の使用時期が収穫終了後となっている薬剤は使用できない。
ジュウシホシクビナガハムシ	生育期 1. 残茎を取り除く。 2. 被害茎は刈り取り処分する。 3. 枯れ茎はほ場外に搬出して処分する。 4. 早期発見に努め、適用薬剤により防除する。	<ul style="list-style-type: none"> ・春先、山沿いのほ場に発生が多い。 ・防除時に残茎に害虫が隠れるなど、薬剤がかかりにくくなる。 ・本虫の加害を受けて曲がったり変色したりした、鱗片や葉芽の内側に本虫の卵がある。 ・刈り株内や枯れ茎内で越冬することがある。
ネギアザミウマ	萌芽前 1. ハウス栽培では、UVカットフィルムを展張する。 2. 周辺の除草を行う。 生育期 1. 薬剤を定期的にローテーション散布する。 2. 多発すると防除が困難になるので、初期防除を徹底する。 3. 乾燥条件で増殖が早まるので、適切に灌水管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・食害を受けると茎が曲がり、商品価値を落とす。 ・25℃で卵から成虫まで12日、一匹の産卵数は100~200個で増殖力が高い。 ・周辺雑草や近隣作物から飛来侵入し、親茎上で産卵し幼虫が発育した後、地表へ落ちて蛹化、羽化して植物体へ戻る。
ツマグロアオカスミカメ	生育期 1. 残茎を取り除く。 2. 被害茎は刈り取り処分する。 3. 枯れ茎はほ場外に搬出して処分する。 4. 早期発見に努め、適用薬剤により防除する。 5. ほ場周辺の除草を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・成虫は6月上旬頃から飛来し、8月以降に増殖した成虫が茎に産卵して卵で越冬する。 ・若茎の穂先近辺の茎に口針を差し込み吸汁する。被害が酷い場合は先端部が枯死する。 ・動きが俊敏で人が近づくと物陰に隠れるため見つけにくい。

野菜類－茎野菜類－うど－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						黒斑病	白絹病	菌核病
1	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	-
2	ドイツボルドーA		普	銅	M1	○	-	-
3	リゾレックス水和剤		普	トルクロホスメチル	14	-	○	-
4	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	○	-	○

野菜類－茎野菜類－うど－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名					
						アブラムシ類	センノカミキリ	シクラメンホコリダニ	ウドノメイガ	ヒメシロコブゾウムシ	ヨトウムシ
1	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-
2	カルホス粉剤		普	イソキサチオン	1B	-	○	-	-	-	-
3	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	-	○	-	-	-
4	スミチオン乳剤		普	MEP	1B	○	○	-	○	○	○
5	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェプロックス	3A	○	-	-	-	-	-

13-(51) うど（野菜類、茎野菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
萎凋病	植付前 1. 連作を避ける。 2. 罹病残さをほ場に残さないよう処分する。 3. 土壌消毒を行う。マルチ畦内消毒の効果が高い。 （土壌くん蒸剤の項参照） 生育期 発病株は早期に抜き取り処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本病の病原菌については、パーティシリウム病対策の項参照。 ・発病株の枯れた葉柄や茎に無数の微小菌核を作り、翌年以降の伝染源となる。 ・本病は根株養成中に発病する。 ・本病への抵抗性には品種間差がみられ、「伊勢白」は強く、「改良伊勢」、「群豊白」、「利根白」は中程度の強さであり、紫系品種の「在来紫」や「愛知紫」は弱い。
菌核病	緑化栽培、軟化栽培 伏せ込み用の根株は無病のものを厳選する。	<ul style="list-style-type: none"> ・湿度が高く、20℃前後で被害が多い。 ・共通病害として菌核病が発病するレタス、キャベツの後作での根株養成は注意する。
萎縮病	植付前 健全な種株を選別して植え付ける。 生育期 発病株は早期に抜き取り処分する。	<ul style="list-style-type: none"> ・本病はキマダラヒロコバイにより媒介される。
センノカミキリ	生育期 成虫を見つけしだい捕殺する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ほ場衛生につとめる。 ・6～8月に発生する。

野菜類－たらのみ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名
						そうか病
1	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○
2	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	○

野菜類－たらのみ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						ハダニ類	センノカミキリ幼虫	ヒメシロコブゾウムシ	ネキリムシ類	センノカミキリ
1	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	○	-	-	-	-
2	スミチオン乳剤		普	MEP	1B	-	○	○	-	-
3	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	○	-
4	バイオリサ・カミキリ		-	ボーベリア ブロンニアティ	「-」	-	-	-	-	○

13-(52)たらのき (野菜類に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
立枯疫病	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 根株が老化すると発生しやすいため、2年木までで掘り上げる。 連作を避け、2年輪作をする。 ほ場は水田を避け、排水の良好な畑地を選ぶ。 種根は1年木の無病のほ場から採取する。 <p>生育中</p> <ol style="list-style-type: none"> トラクターや管理機による断根は発病を助長するため、2年木の土壌管理は行わない。 窒素肥料の多用は発病を助長するため、分量で15kg/10a以下とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 本病の伝染源は土壌および種根である。
そうか病	<p>休眠期</p> <p>罹病枝、病葉をほ場から持ち出し、処分する。</p> <p>植付前</p> <p>ほ場内の通気を考慮して、適正な栽植密度とする。</p> <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 生育中に株整理を2回以上行い、病葉は見つけ次第ほ場から持ち出し処分する。 適用のある薬剤で防除する。 	<ul style="list-style-type: none"> 適正な栽植密度と株整理の目安は、10アールあたり1年木の場合800~1000本立ち、2年木の場合は600~800本立ちである。 抵抗性品種（ぐんま春王、ぐんま春王NT）を栽培する。 耐性菌の出現を抑制するため、薬剤の連用は避ける。
軟腐病	<p>生育中</p> <p>つる性雑草の除草に努め、風通しを良くする。</p> <p>促成栽培（ふかし）期</p> <ol style="list-style-type: none"> 駒木の切り口が変色しているものは、使用しない。 温度管理は出来るだけ低温とする（25℃まで）。 資材消毒を行う（資材消毒の項参照） 	
半身萎凋病	<p>休眠期</p> <p>罹病残渣をほ場から持ち出し処分する。</p> <p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 2年木までで改植し、連作しない。 ウド、ナスなどの栽培跡地への植付けは避ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 本病の病原菌については、パーティシリウム病対策の項参照。
白紋羽病	<p>植付前~生育中</p> <ol style="list-style-type: none"> 根株が老化すると発生しやすいため、2年木までで掘り上げる。 未熟有機物の施用を避ける。 樹勢を強健に保つ。 	<ul style="list-style-type: none"> 桑園跡地は発病が多い。

病害虫名	防除方法	参考事項
センノカミキリ	<p>休眠期（幼虫）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 穂木は地際部から切り取る。 2. 2年木までで掘り上げ、根株を残さない。 3. 2年木以降では適用のある薬剤で防除する。 <p>生育期（6月下旬～7月上旬；成虫）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 成虫を見つけしだい捕殺する。 2. 適用のある薬剤で防除する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スミチオン乳剤の使用は株養成中のみとし、樹幹散布した株から当年発生した新芽は食用としない。 1年木（種根植付1年目）では、使用時期（3～5月）に処理対象である樹幹が形成されていないため、使用しない。 ・センノカミキリの成虫は6月～7月に羽化脱出するため、これに先立ってバイオリサ・カミキリを設置し、この製剤を成虫に接触感染させる。葉柄基部または茎に巻き付け、材の両端をホッチキスでとめる。 ・バイオリサカミキリの販売名称：「バイオリサ カミキリスリム」
ヒメシロコブゾウムシ	<p>休眠期 上記センノカミキリの項参照</p> <p>生育期 成虫を見つけしだい捕殺する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・成虫が地上部を、幼虫が根部を食害する。成虫による葉の食害は生育に影響する事は少ない。 ・卵は根株近くの土中に産み付けられ、幼虫による根株の食害により黄変萎凋し、枯死することもある。

野菜類－鱗茎類(にら、にら(花茎)を除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。

更新年月日: 2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名		
						シロイチモジヨトウ	アザミウマ類	ネギハモグリバエ
1	ダブルシューターSE	抑制	普	1.脂肪酸グリセリド 2.スピノサド	25B,21A	○	○	○

野菜類－鱗茎類(根物、ただし、にんにく、らっきょうを除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。

更新年月日: 2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名	
						アザミウマ類	ハモグリバエ類
1	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	○	○

野菜類－鱗茎類－鱗茎類(葉物)－ねぎ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日: 2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名										
						黒腐菌核病	白絹病	さび病	黒斑病	小菌核腐敗病	葉枯病	べと病	軟腐病	苗立枯病(リゾクトニア菌)	萎凋病	ネギアザミウマ
1	アフエットフロアブル		普	ベンチオピラド	7	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
2	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	-	-	○	○	-	○	○	-	-	-	-
3	アリエッティ水和剤		普	ホセチル	P7	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
4	オリゼメート粒剤		普	プロベナゾール	P2	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
5	オンリーワンフロアブル		普	テブコナゾール	3	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
6	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
7	カッパーシン水和剤		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
8	カナメフロアブル		普	インピルフルキサム	7	○	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-
9	サブロール乳剤		普	トリホリン	3	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
10	ジオゼット水和剤		普	ポリオキシシン	I- F:19	-	○	○	○	-	○	-	-	-	-	-
11	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11、7	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-
12	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-
13	スターナ水和剤		普	オキシリニック酸	31	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-
14	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
15	セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-
16	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	-	○	○	○	○	-	○	-	-	-
17	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	○	-	-	-	○	-	-	-	-	○	-
18	トップジンM粉剤DL		普	チオファネートメチル	1	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-
19	バリダシン液剤5		普	バリダマイシン	U18	-	○	-	-	-	-	-	○	○	-	-
20	パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
21	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	○	○	○	○	○	○	-	-	-	-	-
22	フォリオゴールド		普	1. TPN 2. メタラキシル及びメ タラキシルM	M5、4	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
23	フルピカフロアブル		普	メパニピリム	9	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-

野菜類－鱗茎類－鱗茎類(葉物)－ねぎ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名											
						黒腐菌核病	白絹病	さび病	黒斑病	小菌核腐敗病	葉枯病	べと病	軟腐病	苗立枯病(リゾクトニア菌)	萎凋病	ネギアザミウマ	
24	プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアパリカルブ イソプロピル	M5、40	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-
25	フロンサイド粉剤		普	フルアジナム	29	-	○	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
26	ベルコート水和剤		普	イミノクタジン	M7	-	-	○	○	-	○	-	-	-	-	-	-
27	ペンコゼブ水和剤		普	マンゼブ	M3	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-
28	ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	○	-
29	モンカットフロアブル40		普	フルトラニル	7	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30	モンガリット粒剤		普	シメコナゾール	3	○	○	-	-	○	-	-	○	-	-	-	-
31	ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
32	リゾレックス粉剤		普	トルクロホスメチル	14	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
33	リドミルゴールドMZ		普	1. マンゼブ 2. メタラキシル及びメ タラキシルM	M3、4	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
34	レーバスフロアブル		普	マンジプロバミド	40	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
35	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-

野菜類－鱗茎類－鱗茎類(葉物)－ねぎ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。

更新年月日: 2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機分類	病害虫雑草名											
						シロイチモジヨトウ	ネギアザミウマ	ネギコガ	ネギハモグリバエ	アザミウマ類	アブラムシ類	ハモグリバエ類	ネキリムシ類	クロバネキノコバエ類	タネバエ	コガネムシ類幼虫	ネダニ類
1	アクセルキングフロアブル	抑制	劇	1. トルフェンピラド 2. メタフルミゾン	I:21A、F:39 I:22B	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアメトキサム	4A	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アグリメック	抑制	劇	アバメクテン	6	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
5	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シベルメトリン	3A	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
6	アタブロン乳剤	抑制	普	クロルフルアズロン	15	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	アディオン乳剤	抑制	普	ベルメトリン	3A	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-
8	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
9	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	-	-	-	○	○	-	-	-	○	-	-	-
10	アニキ乳剤		普	レビメクテン	6	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-
11	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクテン安息香酸塩	6	○	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-
12	アブロードフロアブル		普	ブプロフェジン	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
13	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-
14	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	○	-	○	-	○	-	○	○	-	-
15	ウララDF		普	フロニカミド	29	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16	ガードベイトA	抑制	普	ベルメトリン	3A	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
17	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	○
18	コテツフロアブル		劇	クロルフェナビル	13	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
19	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-
20	ジュリボフロアブル	抑制	普	1. クロラントラニリブロール 2. チアメトキサム	28、4A	-	○	-	○	-	-	-	○	-	○	-	○
21	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-
22	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	○	-	○	-	○	-	○	○	-	-
23	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
24	スミチオン乳剤		普	MEP	1B	-	-	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
25	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
26	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類－鱗茎類－鱗茎類(葉物)－ねぎ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。

更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名											
						シロイチモジヨトウ	ネギアザミウマ	ネギコガ	ネギハモグリバエ	アザミウマ類	アブラムシ類	ハモグリバエ類	ネキリムシ類	クロバネキノコバエ類	タネバエ	コガネムシ類幼虫	ネダニ類
27	ダントツ粒剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	-	○	-	○	-	-	-	-	-	○	-	○
28	ディアナSC		普	スピネトラム	5	○	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-
29	トクチオン乳剤		普	プロチオホス	1B	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	-	○
30	トルネードエースDF	抑制	普	インドキサカルブ及び インドキサカルブMP	22A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
31	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェンプロックス	3A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
32	ネキリエースK		普	イソキサチオン	1B	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-
33	パダンSG水溶剤	抑制	劇	カルタップ	14	-	-	-	-	○	-	○	-	○	-	-	-
34	ハチハチ乳剤	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	-	○	○	○	-	-	-	○	-	-	-
35	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメキン	34	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-
36	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
37	フォース粒剤		劇	テフルトリン	3A	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	○
38	プリロツソ粒剤オメガ	抑制	普	シアントラニプロール	28	-	-	-	-	○	-	○	-	-	-	-	-
39	プレオフロアブル		普	ビリダリル	UN	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40	プレバソソフロアブル5	抑制	普	クロラントラニプロール	28	○	-	○	-	-	-	○	-	-	-	-	-
41	プロフレアSC	抑制	普	プロフラニリド	30	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-
42	ベストガード水溶剤		普	ニテンピラム	4A	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-
43	ベストガード粒剤		普	ニテンピラム	4A	-	○	-	○	-	-	-	-	○	-	-	-
44	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-	-	-
45	ベリマークSC	抑制	普	シアントラニプロール	28	○	-	-	-	○	-	○	○	-	○	-	-
46	マッチ乳剤	抑制	普	ルフェスロン	15	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
47	馬拉ソン乳剤		普	馬拉ソン	1B	-	-	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-
48	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
49	ヨーバルフロアブル	抑制	普	テトラニプロール	28	○	-	○	-	○	-	○	-	○	-	-	-
50	リーフガード顆粒水和剤	抑制	劇	チオシクラム	14	-	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-

13-(54) ねぎ（野菜類、鱗茎類、鱗茎類(葉物)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
さび病	<p>播種前、植付前</p> <p>被害葉及び発病株をほ場に放置すると、翌年の伝染源となるので、ほ場周辺に放置せず適正に処分する。</p> <p>生育期</p> <p>肥切れしないようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 春から秋にかけて発生し、夏には一時終息する。比較的低温で降雨が多いと多発する傾向があり、特に秋に多発して冬が温暖多雨の場合、翌春に多発することがある。 多発すると防除効果が劣るため、早期発見に努める。 アミスター20フロアブル、ストロビーフロアブルは、葉害を生じる場合があるので、展着剤混用にあたっては事前にその適否を確認する。また、耐性菌の発生を避けるため過度の連用はしない。 ネギは濡れにくく薬液が付着しにくいいため、展着剤を混用し、散布薬液の表面張力を下げ薬液の付着をよくし防除効果を高める。
黒腐菌核病	<p>植え付け前からの体系防除を徹底する。</p> <p>播種前、植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 発病地の連作は避ける。 罹病苗を本ぼに持ち込まない。 適用薬剤による苗灌注処理を行う。 苗床、本ぼを土壤消毒する。 (土壤くん蒸剤の項参照) <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 発病株および収穫後の残さは伝染源になるので、ほ場周辺に放置せず適正に処分する 適用薬剤を散布または灌注処理する。 	<ul style="list-style-type: none"> 土壤中の温度が7.5℃～20℃で感染、発病する。 地温10℃以下の低温期に、ネギ近傍のpHを保持(pH7前後)することで発病遅延・被害軽減が期待できる。 平坦地の秋冬作では11月には発病が確認でき、厳冬期には一時的に病徴の進展は止まるが、3月になると再び進展する。 パレード20フロアブルは、セル成形苗およびペーパーポット苗に対する灌注処理と、定植直前の苗根部浸漬処理の2種類がある。育苗方法によって処理方法が異なるため使用には注意する。 生育期防除の場合、第1回土寄せ時(9月下旬)の薬剤防除が特に重要である。
小菌核腐敗病	<p>播種前、植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 発病株および収穫後の残さは伝染源になるので、ほ場周辺に放置せず適正に処分する。 苗床、本ぼを土壤消毒する。 (土壤くん蒸剤の項参照) 	<ul style="list-style-type: none"> 露地の秋冬作では夏～秋が冷涼・多雨であれば本病が多発しやすい。 ほ場の排水不良で、ネギが湿害を受けると発病が多い。
萎凋病	<p>播種前、育苗期、植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 苗床、本ぼを土壤消毒する。 (土壤くん蒸剤の項参照) 石灰資材を用い土壌pHを6.5以上に矯正する。 育苗中の乾燥や高温を避ける。 	<ul style="list-style-type: none"> 連作ほ場で夏の高温時に多発する。 育苗期間中から移植後15～60日間に多発する。 苗床での発病は立枯れ症状で、下葉がわん曲、黄化する。症状の激しいものは萎凋し枯死する。
白絹病	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 発病地の連作は避ける。 前作の発病ほ場では土壤消毒を行う。 (土壤くん蒸剤の項参照) <p>生育期</p> <p>発病株は直ちに抜き取り処分する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 比較的高温(30℃)、多湿条件で発病しやすい。 未熟有機物の施用で発生が多くなる。 6月中旬頃から発生が始まり、梅雨末期から8月下旬に最も進行する。10月末頃にはほぼ終息する。
葉枯病 (黄色斑紋症状)	<p>播種前、植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 被害葉及び発病株をほ場に放置すると、翌年の伝染源となるので、ほ場周辺に放置せず適正に処分する。 土壌pHを適正域(6.0～7.0)に保つ。 適正な施肥管理を行い、窒素過多を避ける。 <p>生育期</p> <p>早期発見に努め、発生初期から適用薬剤を散布する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 病原菌の生育適温は25℃前後だが、15～20℃のやや低温と適度な降雨は発病を助長する。10～11月及び3月に降雨が多いと多発しやすい。 楕円形で蒼白色の斑紋や葉先枯れを生じ、その後病斑上に形成された分生胞子が中心葉に感染し、黄色斑紋症状の原因となる。

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
萎縮病	<p>苗床 寒冷紗被覆育苗を行う。</p> <p>生育期 発病株は早期に抜き取り処分する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 萎縮病を媒介するアブラムシの飛来防止には、苗床期に銀色又は白色テープ（幅 5cm）を高さ 30cm、間隔 30cm に張ると効果が高い。 幼苗期感染の実害が大きい。 感染時期は、春播きでは有翅アブラムシが多く飛来する 4～6 月、秋播きでは 4～6 月と 9～11 月である。 4～6 月と 9～11 月に、高温乾燥の天候が続くと、有翅アブラムシの発生が多くなるため保毒虫が多くなり、そのために多発する。特に暖冬で春先から初夏にかけて雨量の少ない年には発生が多い。
黒斑病	<p>播種前、植付前 発病地の連作は避ける。</p> <p>生育期 生育後期に肥切れしないようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 残さ上の病原菌から空気・種子伝染する。 5～11 月の高温多雨で多発しやすい。胞子は 24～27℃で発芽する。 薬剤散布に湿展性の高い展着剤を加用する。
軟腐病	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 発病地では連作を避け、ソルゴーなどのイネ科植物を栽培して土壌中の菌密度を下げる。 低湿地やくぼ地では栽培を避けるか、排水をしっかりと行えるよう対策をとる。 <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 発病株は早期に抜き取り処分する。 発病が予想される場合には、土寄せ前に地際部を中心に適用薬剤を散布する。 	<ul style="list-style-type: none"> 病原菌の最適発育温度は 28～34℃、初夏から初秋にかけ、特に盛夏に土壌湿度が高いと発病しやすい。 長雨、台風等による集中豪雨、平年より気温が高い初秋の長雨などで、特に数日間畑が湛水や浸水すると激発する。また強風や土寄せ時に生じる傷からも感染し発病する。 窒素肥料を多用すると生育が軟弱になり発病を助長するため、適正な施肥を行う。
紅色根腐病	(タマネギの紅色根腐病の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> 病原菌が根の残渣の中に残るため、連作により被害が拡大する。
アザミウマ類	<p>育苗期、生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> ほ場周辺の除草をする。 育苗期に防虫ネット（1mm 目合い以下）により進入を防ぐ。（防虫ネットによる防除の項参照） 中耕・土寄せの際に株間の除草をする。 <p>ウイルス病（IYSV）</p> <ol style="list-style-type: none"> ほ場周辺の雑草防除を行う。 ネギアザミウマ成虫が媒介するので、ネギアザミウマの防除を行う。（野菜・花きのウイルス病防除対策の項参照） 	<ul style="list-style-type: none"> 春および秋の乾燥条件で発生が多くなる。特に、空梅雨の年は多発しやすいので注意を要する。 成幼虫の体長は 1～2mm で小さく、初発生を肉眼で確認することは困難である。わずかな葉のカスリ状の食害痕を見つけて防除につとめる。 <i>Iris yellow spot virus</i> (IYSV)によるウイルス病（症状） 葉身にはっきりした白色のえそ症状となり、さらに症状が進むと 15 mm 程度の不鮮明なえそ条斑を示す。
ネギハモグリバエ	<p>植付時、生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 定植時に適用薬剤を施用する。 発生初期に適用薬剤を散布する。 被害残さは適正に処分する。（ハモグリバエ類の防除対策の項参照） 	<ul style="list-style-type: none"> 多発してからの防除は困難である。特に幼苗期に多発すると枯死株を生じ被害が大きくなる。 近年は、従来系統とは異なる別系統（パイオタイプ B）が報告されている。パイオタイプ B は、集団で葉を加害するため食害痕も大きく、被害が大きくなりやすい。 苗では葉鞘部に幼虫が寄生すると、その部分から枯れだすことが多い。ネギの生育状況に注意をはらい、葉に現われる白い小斑点、白い筋の早期発見につとめる。 薬剤散布に浸透移行性を高める機能性展着剤を加用する。

各論作成日:2025年11月5日 必ずラベルを確認してから農薬を使用してください。

病害虫名	防除方法	参考事項
クロバネキノコバエ類	<p>植え付け前からの体系防除を徹底する。</p> <p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 明渠の設置など水はけの改善に努める。 2. 堆肥は完熟堆肥を使用し、多量施用を避ける。 <p>生育期</p> <p>適用薬剤を散布する。</p> <p>収穫後</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 被害残渣は分散防止に努めながらほ場外で適切に処分する。 2. ほ場内では石灰窒素（60kg/10a）を施用して残渣をすき込む。 3. 可能であれば土壤消毒を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水はけの悪い、あるいは有機物の投入が多いと多発しやすい。 ・クロバネキノコバエ科の一種であるネギネクロバネキノコバエは、国内既発生種（チバクロバネキノコバエなど）に比べて、より低温で活動することができ、土寄せ後の秋冬期に増加する傾向がある。そのため、冬の収穫期になって本種の被害に気がつくことが多い。本種の発生ほ場では、可能な限りネギ及びニンジン以外の作物を栽培することが望ましい。 ・秋冬期の第1回土寄せ時における薬剤防除が特に重要である。
ネギコガ	<p>植付時、生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 定植時に適用薬剤を施用する。 2. 発生初期に適用薬剤を散布する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・発生量は5～7月、9～11月に多い。
シロイチモジヨトウ	(シロイチモジヨトウの防除対策の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・発生量は9～10月に多い。 ・若齢幼虫時での防除を徹底する。
タネバエ	<p>播種前、植付前</p> <p>作物残さ、被害株をほ場内に残さないように処分する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の時に被害がしやすい。 ・未熟有機物を施用すると、多発しやすい。
ネダニ類	<p>植付前～収穫期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 苗による持ち込みを防止する。 2. 土壌中の残存虫を防除する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成虫は地下部に寄生し、根の生育を抑制させ、地上部は生育不良となる。 ・茎皮をはがすと、白色で小さく卵形のネダニが多数寄生している。 ・4月頃から活動を開始し、初夏および初秋に多く増殖する。

野菜類－鱗茎類－鱗茎類(根物)－たまねぎ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名												
					灰色かび病	灰色腐敗病	べと病	白色疫病	苗立枯病	さび病	黒斑病	軟腐病	腐敗病	乾腐病	黒腐菌核病		
1 アフェットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
2 アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3 オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	○	-	-	○	○	-	-	○	-	-	-	-	-
4 オロンディスウルトラSC		普	1.オキサチアピプロリン 2.マンジプロパミド	49,40	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
5 オンリーワンフロアブル		普	テブコナゾール	3	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6 カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7 ゲッター水和剤		普	1.ジエトフェンカルブ 2.チオファネートメチル	10、1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
8 シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11、7	○	○	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9 ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-
10 スミレックス水和剤		普	プロシミドン	2	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11 セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
12 ゴーベックエンテクタSE		普	1.アミスルプロム 2.オキサチアピプロリン	21、49	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
13 ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
14 ドーシャスフロアブル		普	1. TPN 2. シアゾファミド	M5、21	○	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15 トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
16 バリダシン液剤5		普	バリダマイシン	U18	-	-	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-
17 パレード20フロアブル		普	ピラジフルミド	7	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
18 ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
19 フォリオゴールド		普	1. TPN 2. メタラキシル及びメタラキシルM	M5、4	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20 プロポーズ顆粒水和剤		普	1. TPN 2. ベンチアバリカルブイソプロピル	M5、40	○	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
21 フロンサイド粉剤		普	フルアジナム	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○
22 ペンコゼブ水和剤		普	マンゼブ	M3	○	-	○	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-
23 ベンレート水和剤		普	ベノミル	1	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	○	-
24 ランマンフロアブル		普	シアゾファミド	21	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
25 リドミルゴールドMZ		普	1. マンゼブ 2. メタラキシル及びメタラキシルM	M3、4	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
26 レーバスフロアブル		普	マンジプロパミド	40	-	-	○	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
27 ロブラール水和剤		普	イブロジオン	2	○	○	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-

野菜類－鱗茎類－鱗茎類(根物)－たまねぎ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名							
						アザミウマ類	ハスモンヨトウ	アブラムシ類	ネギアザミウマ	ネキリムシ類	ネギハモグリバエ	タネバエ	ハモグリバエ類
1	アグロスリン水和剤	抑制	劇	シベルメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	-	-
2	アディオソ乳剤	抑制	普	ベルメトリン	3A	○	○	-	-	-	-	-	-
3	アドマイヤー顆粒水和剤		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-
4	エルサン乳剤		劇	PAP	1B	○	-	○	-	-	-	-	-
5	オルトラン水和剤		普	アセフェート	1B	-	-	-	○	-	○	-	-
6	ガードベイトA	抑制	普	ベルメトリン	3A	-	-	-	-	○	-	-	-
7	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	-	-	-	○	-	○	-	-
8	ジェイエース水溶剤		普	アセフェート	1B	-	-	-	○	-	-	-	-
9	スミチオン乳剤		普	MEP	1B	○	-	○	-	-	-	-	-
10	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	-	-	○	-
11	ディアナSC		普	スピネトラム	5	○	○	-	-	-	○	-	-
12	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメトキン	34	○	-	-	-	-	-	-	-
13	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	○	-	○	-	-	-	-	○
14	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-
15	リーフガード顆粒水和剤	抑制	劇	チオンクラム	14	-	-	-	○	-	○	-	-

13-(55) たまねぎ（野菜類、鱗茎類、鱗茎類(根物)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
べと病	植付前 定植時には厳選した健全苗を用い、病苗を本ぼへ植え付けられないよう十分な注意を払う。 生育期 1. 排水を良好にする。 2. 越冬罹病株は早期に除去する。	<ul style="list-style-type: none"> ・発病適温は15℃前後で、降雨や曇天の多い時期に発病しやすい。 ・病原菌は土中で被害残渣とともに卵胞子という休眠形態で約10年間生存する。
灰色腐敗病	生育期 1. 多肥栽培を避け、追肥は3月上旬までに終える。 2. 元肥の堆厩肥は多用を避ける。 3. 球肥大～倒伏期に、葉鞘基部を重点に薬剤防除する。 貯蔵中 ぐずたまねぎや腐敗球などの処分は早期に完全に行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・発育適温は25℃で、貯蔵含め全期間で感染する。 ・1～3月の多雨の影響が大きい。 ・収穫直前の浸冠水や雨中での収穫により、貯蔵中の発生が多くなる。
紅色根腐病	播種前、植付前 1. 発病ほ場では連作を避ける。 2. 薬剤による土壌消毒を行う。 3. 定植時には発病苗を植え付けられないよう注意を払う。	<ul style="list-style-type: none"> ・病原菌が根の残渣に残るため、連作により被害が拡大する。
黒かび病	収穫時 1. 傷を付けないように丁寧に収穫する。 2. 土をなるべくきれいに落としてから収穫する。 貯蔵時 貯蔵庫内の温度が上がりすぎないように注意する。	<ul style="list-style-type: none"> ・貯蔵中、高温条件下(30～40℃)で発病しやすい。 ・病原菌は <i>Aspergillus niger</i> (好高温性菌)
黒腐菌核病	播種前、植付前 1. 発病地では、連作は避ける。 2. 被害残渣を放置しない。 3. 定植時には発病苗を植え付けられないよう注意を払う。 4. 苗床、本ぼを土壌消毒する。 (土壌くん蒸剤の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・気温15～20℃の時に蔓延が著しく、25℃以上になると発病は停止する。 ・3～5月頃に発病することが多いが、多発ほ場では12月頃から症状が認められる場合もある。 ・ネギ属植物に共通する病害である。
アブラムシ類	播種前(苗床)～植付時 寒冷紗被覆育苗を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・幼苗期感染の実害が大きい。 ・萎縮病を媒介するアブラムシ類の飛来防止には苗床期に銀色又は白色テープ(幅5cm)を高さ30cm、間隔30cmに張ると効果が高い。
タネバエ	育苗～植付前 1. 作物残さ、被害タマネギをほ場内に残さないようにする。 2. 育苗中に寄生した苗を本ぼに持ち込まないように注意する。	<ul style="list-style-type: none"> ・苗の時に被害がしやすい。 ・未熟有機物を施用すると、多発しやすい。

野菜類－鱗茎類－鱗茎類(葉物)－にか－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名					
						株 腐 細 菌 病	白 斑 葉 枯 病	さ び 病	白 絹 病	乾 腐 病	葉 腐 病
1	Zボルドー		普	銅	M1	○	○	-	-	-	-
2	アフェットフロアブル		普	ペンチオピラド	7	-	○	○	○	-	-
3	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	-	○	-	-	-	-
4	オンリーワンフロアブル		普	テブコナゾール	3	-	-	○	-	-	-
5	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	-	○	○	-	-	-
6	セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	-	○	-	-	-	-
7	トップジンM水和剤		普	チオファネートメチル	1	-	○	-	-	○	-
8	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	-	-	○	-	-	-
9	バリダシン液剤5		普	バリダマイシン	U18	-	-	-	○	-	○
10	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	-	○	○	-	-	-
11	フロンサイド粉剤		普	フルアジナム	29	-	-	-	○	-	-
12	モンガリット粒剤		普	シメコナゾール	3	-	-	-	○	-	-

野菜類－鱗茎類－鱗茎類(根物)－にか－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名						
						ネギアザミウマ	アザミウマ類	ネキリムシ類	アブラムシ類	ネダニ類	クロバネキノコバエ類	ネギネクロバネキノコバエ
1	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアメトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-
2	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	○	-	-	-	-	○	-
3	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	-	○	-	-	-	-	-
4	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	○	-	○	-
5	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	○	-	-	○	○	-
6	コルト顆粒水和剤		普	ピリフルキナゾン	9B	○	-	-	-	-	-	-
7	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	○	-	○	-
8	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	○	-	-	-	-	-
9	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	○	-	-	-	-
10	ダントツ水溶剤	抑制	普	クロチアニジン	4A	○	-	-	○	-	-	○
11	ディアナSC		普	スピネトラム	5	-	○	-	-	-	-	-
12	トクチオン細粒剤F		普	プロチオホス	1B	-	-	-	-	○	-	-
13	ネコナカットフロアブル	抑制	普	エトキサゾール	10B	-	-	-	-	○	-	-
14	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	○	-	-
15	ハチハチ乳剤	抑制	劇	トルフェンピラド	I:21A F:39	○	-	-	-	-	-	-
16	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロトキン	34	-	○	-	-	-	-	-
17	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	-	○	-	○	-	-
18	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	○	-	-	-	-	-	-
19	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	-	○	-	○	-	-	-
20	リーフガード顆粒水和剤	抑制	劇	チオシクラム	14	○	-	-	-	-	-	-

13-(56) にら (野菜類、鱗茎類、鱗茎類(葉物)に登録のある農薬も使用可能)

病害虫名	防除方法	参考事項
白絹病	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 酸性土壌で発病しやすいため、土壌 pH を矯正する。 2. 土壌消毒を行う。 <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過乾、過湿は発病を助長するため適湿で栽培する。 2. 発病株はまわりの土とともに除去し、適正に処理する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・7~9月に発病し、30℃以上の高温で経過する年に発病しやすい。 ・地下部の根や鱗茎に異常はない。 ・窒素過剰で発病しやすい。 ・被害残渣やその周辺に作られた菌核は土中で約6年間生存し、一次伝染源となる。
白斑葉枯病	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 密植を避け、発病葉は刈り取り、ほ場周辺に放置しないで適切に処分する。 2. 施設栽培ではかん水や換気に注意し多湿にしない。 3. 排水不良畑では排水を良好にする。 <p>収穫期</p> <p>施設栽培では、紫外線除去フィルムを展張して発病を抑制する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・病原菌はボトリチス菌である。 ・発病しやすい時期は、露地栽培では4~6月、施設栽培では11~4月の比較的低温多湿の時期である。 ・枯死葉の上に黒色の小さな菌核を形成する。菌核の有無により病徴の似ているえそ条斑病と判別できる。
葉腐病	<p>植付前</p> <p>発病ほ場では、連作を避ける。</p> <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 発病株は根ごと取り除き処分する。 2. 排水不良畑では排水を良好にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・8~9月の高温期に発生が多い。 ・強い降雨や台風の後などに発病が多くなる傾向がある。
萎縮病	<p>播種前(苗床)~植付時</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 寒冷紗被覆育苗を行う。 2. アブラムシ類が媒介するので、防除を行う。 <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 収穫時には刃物を数丁用意し、汁液による伝染を最小限にとどめる。 2. 発病株は早期に抜き取り処分する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アブラムシ類が媒介する。 ・刈り取り時に刃物を介して汁液伝染する。 ・苗床と秋季の感染が多い。 ・発病株は早期に抜き取り処分する。
えそ条斑病	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ほ場周辺の雑草防除を行う。 2. ネギアザミウマが媒介するので、防除を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・IYSV(アイリス黄斑ウイルス)によるウイルス病(症状) ・葉身に斑点状に淡褐色の条斑が生じる。さらに病徴が進むと不鮮明なえそ条斑を示す。 ・症状は白斑葉枯病と類似している。 ・捨て刈り後はほとんど病斑が見られなくなる。
乾腐病	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 連作畑では苗床での感染が多いため、苗床は土壌消毒する。 2. 酸性土壌で発病しやすいため、本ほの pH を矯正する。 <p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 過乾、過湿は発病を助長するため適湿で栽培する。 2. 刈り取り回数が増えると病徴が進行するため、発病ほ場では刈り取り回数が増えないように注意する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・株の一部茎葉の葉幅が狭く紫紅色になり、その後萎凋して枯死する。 ・茎盤や維管束の褐変が観察される。 ・りん茎の腐敗は軟腐状ではなく乾腐状に腐敗する。

病害虫名	防除方法	参考事項
さび病	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> 排水を良好にし、密植をさけ、通風をよくする。 肥料切れや窒素過多は発病を助長するので、基肥は土壌診断に基づき施用する。また、秋の肥料切れに注意する。 7～8月の高温期は生育が緩慢になり肥料の吸収量が低下するため、基肥は控えめにし、9月中旬以降に追肥する。 	<ul style="list-style-type: none"> 8月中旬以降、気温が低下してくると徐々に発生が見られるようになる。冷夏の年は8月上旬から発生が見られる。 地下部の根や鱗茎に異常はない。 罹病葉は捨て刈り後に畑の外に持ち出して処分する。
ネダニ類	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 苗による持ち込みを防止する。 土壌中の残存虫を防除する。 <p>生育期～収穫期</p> <ul style="list-style-type: none"> 初期防除が重要で、生育不良株などが見られたら、速やかに防除する。 <p>栽培終了後</p> <ul style="list-style-type: none"> 作物残渣を持ち出すか、適用薬剤で枯死させるなどしてほ場内に作物残渣を残さないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 下葉の枯れ込み、葉数や葉幅の減少、葉の伸長が鈍くなる。 茎皮をはがすと、白色で小さく卵形のネダニが多数寄生している。 苗での持ち込みや前作残さが発生源となる。 株の生育が良いと被害に気づきにくい。 地温10℃前後から活動する。30℃前後の高温及び多湿条件で繁殖が旺盛となる。盛夏期は活動が弱まるが、春～初夏と秋に被害が増える。 通常の生育ステージは卵、幼虫、第1若虫、第3若虫であるが、環境条件が悪化すると、耐久性の高い第2若虫（ヒボプス）となり長期間生存する。寄主作物があると第3若虫に戻り、成虫となって増殖する。 砂土や火山灰土、有機質に富む土壌を好み、連作ほ場で多発する。露地では一年中発生する。
ネギネクロバネキノコバエ	<p>植付前</p> <ol style="list-style-type: none"> 明渠の設置など水はけの改善に努める。 堆肥は完熟堆肥を使用し、多量施用を避ける。 土壌消毒を行う。 <p>生育期および収穫期</p> <ol style="list-style-type: none"> 発生ほ場では、農薬による防除を行う。 捨て刈りした地上部や調製作業で発生した残渣は、ほ場外で適切に処分する。 <p>収穫後</p> <ol style="list-style-type: none"> 被害残渣は、ほ場外で適切に処分する。 ほ場内では石灰窒素を施用して残渣をすき込む。 <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 発生ほ場で使用した機械を未発生ほ場に持ち込む際には、機械の洗浄を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 成虫は体長2mm程度のハエであり、ウジ状の幼虫が地下部を食害する。 寄生が進むと、株は生育不良となり、激しく加害されると株の茎葉がしおれる。 水はけの悪いほ場、あるいは収穫残渣などをすき込んだほ場などで多発しやすい。 本害虫は高温に弱いため、ニラ収穫後の6月～7月に、農ポリでの被覆やハウスを3日間、密閉することにより、地温を上昇させ、土中の密度を低下させる方法もある。なお、頭上灌水設備があるハウスでは、密閉によりハウス内の気温が高くなり、灌水チューブ等が変形する恐れがあるため、ニラ株の被覆のみで処理を行う。 本種の発生ほ場では、可能な限り、被害が確認されているネギ、ニラ及びニンジン以外の作物を栽培することが望ましい。
ネギアブラムシ	<p>生育期</p> <ol style="list-style-type: none"> ほ場周辺の雑草防除を行う。 発生初期に薬剤防除を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 主に春に発生し、萎縮病（ウイルス）等を媒介する。

野菜類－鱗茎類－鱗茎類(根物)－にんにく－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						春腐病	さび病	葉枯病	黄斑病	黒腐菌核病
1	ICボルドー66D		普	銅	M1	○	-	-	-	-
2	Zボルドー		普	銅	M1	○	○	-	-	-
3	アグリマイシン100		普	1.オキシテトラサイクリン 2.ストレプトマイシン	41、25	○	-	-	-	-
4	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	-	○	○	-	-
5	オンリーワンフロアブル		普	テブコナゾール	3	-	○	○	○	-
6	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	-	-	○	-	-
7	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	○	○	○	-
8	ファンタジスタ顆粒水和剤		普	ピリベンカルブ	11	-	○	○	○	-
9	ベンレートT水和剤20		普	1.チウラム 2.ベノミル	M3、1	-	-	-	-	○
10	モンガリット粒剤		普	シメコナゾール	3	-	-	-	-	○

野菜類－鱗茎類－鱗茎類(根物)－にんにく－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名			
						アブラムシ類	ネギコガ	イモグサレセンチュウ	アザミウマ類
1	オルトラン水和剤		普	アセフェート	1B	○	○	-	○
2	ダイアジノン水和剤34		劇	ダイアジノン	1B	-	○	-	-
3	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	○	-
4	ファインセーブフロアブル	抑制	劇	フロメキン	34	-	-	-	○
5	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニリプロール	28	○	○	-	○

野菜類－葉菜類－しそ科葉菜類(えごま(葉)を除く)－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名	
						ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ア ザ ミ ウ マ 類
1	グレーシア乳剤	抑制	普	フルキサメタミド	30	-	○
2	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプ ロール	28	○	-

野菜類－葉菜類－しそ科葉菜類－しそ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						さび病	斑点病	菌核病	斑点病(株枯症)	ハダニ類
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	○	-	-	-
2	オンリーワンフロアブル		普	テブコナゾール	3	○	-	-	-	-
3	キノドー水和剤40		普	有機銅	M1	-	○	-	-	-
4	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	-	○	-	-	-
5	セイビアーフロアブル20		普	フルジオキシニル	12	-	-	○	-	-
6	ダコニール1000		普	TPN	M5	-	-	-	○	-
7	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	○	-	-	-	-
8	モレスタン水和剤		普	キノキサリン系	I:UN F:M10	-	-	-	-	○

野菜類－葉菜類－しそ科葉菜類－しそ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名								
						アブラムシ類	アザミウマ類	コナジラミ類	ハスモンヨトウ	ハダニ類	ヨトウムシ	カンザワハダニ	サビダニ類	チャノホコリダニ
1	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	○	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アディオソリン乳剤	抑制	普	ペルメトリン	3A	○	○	○	○	-	-	-	-	-
3	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アフアーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	-	○	○	○	-	-	-
5	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-
6	ウララDF		普	フロニカミド	29	○	-	-	-	-	-	-	-	-
7	カネマイトフロアブル		普	アセキノシル	20B	-	-	-	-	-	○	-	-	-
8	コロマイト乳剤	抑制	普	ミルベメクチン	6	-	-	-	○	-	-	○	○	-
9	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-
10	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメート	21A	-	-	-	○	-	-	-	-	-
11	ニツラン水和剤		普	ヘキシチアゾクス	10A	-	-	-	○	-	-	-	-	-
12	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	-	-	○	-	-	-	-	-
13	ブレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	-	-	-	○	-	-	-	-	-
14	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-

野菜類—しそ(花穂)—殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名		
						ア ブ ラ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ
1	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シベルメトリン	3A	○	-	-
2	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-
3	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	○	-
4	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	○	-	-
5	プレオフロアブル		普	ピリダリル	UN	-	-	○

野菜類－葉菜類－モロヘイヤ－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名	
						灰色 かび病	黒 星病
1	アミスター20フロアブル		普	アゾキシストロビン	11	○	○

野菜類－葉菜類－モロヘイヤ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病虫害雑草名						
						ネ ギ ア ザ ミ ウ マ	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ハ ダ ニ 類	ア ブ ラ ム シ 類	カ メ ム シ 類	マ メ コ ガ ネ
1	アクタラ顆粒水溶剤	抑制	普	チアトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-
2	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	-	○	-	-	-	-	-
3	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香 酸塩	6	-	-	○	-	-	-	-
4	コテツフロアブル		劇	クロルフェナピル	13	-	○	-	-	-	-	-
5	コロマイト乳剤	抑制	普	ミルベメクチン	6	-	-	-	○	-	-	-
6	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	○	-	-	-	-	-
7	スミチオン乳剤		普	MEP	1B	-	○	-	-	○	○	○
8	ダニトロンフロアブル		普	フェンピロキシメート	21A	-	-	-	○	-	-	-
9	トレボン乳剤	抑制	普	エトフェプロックス	3A	-	○	-	-	-	-	-
10	プレバゾンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプ ロール	28	-	-	○	-	-	-	-

13-(60) モロヘイヤ（野菜類、葉菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
葉ぶくれ病	生育期 1. 被害葉は感染源となるので、見つけ次第摘除してほ場外で処分する。 2. 二次感染を防ぐため、頭上かん水をせずに株元かん水を行う。 3. ハウス内が多湿条件にならないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウス栽培で発病が見られる。 ・多湿条件下が発病しやすい。 ・紫外線カットフィルムの展張や被覆資材の汚れによる紫外線量の低下は発病を助長する。
黒星病	生育期 1. 被害株や被害残渣は感染源となるので、見つけ次第適正に処分する。 2. ハウス内が多湿条件にならないようにする。	<ul style="list-style-type: none"> ・降雨が続くと発生が多くなる。 ・葉、茎、さく果に発生する。 ・葉で多発すると黄化し、落葉する。 ・被害植物残渣上での越冬や種子伝染により、翌年、分生子の飛散により伝染する。
ハダニ類	生育期 ハダニ類は葉裏に寄生しているため、薬液が葉裏にかかるように丁寧に薬剤散布を行う。 (ハダニ類防除対策の項の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統の薬剤を続けて使用しない。
アザミウマ類	生育期 1. ハウスやほ場周辺の除草を徹底し、発生源を除去する。 2. 発生初期に薬剤散布を行う。 (ミカンキイロアザミウマ、ミナミキイロアザミウマの防除対策の項参照)	<ul style="list-style-type: none"> ・成幼虫は食害痕のある新芽の部分に生息していることが多いので、新芽部分をルーペ等で観察して発生を確認する。

野菜類－根菜類－にんじん－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名					
						黒葉 枯病	うどん こ病	斑点 病	軟腐 病	しみ 腐病	根腐 病
1	Zボルドー		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-
2	アミスターオプティフロアブル		普	1.TPN 2.アゾキシストロビン	M5、11	○	○	○	-	○	-
3	アリエッティ水和剤		普	ホセチル	P7	○	-	-	-	-	-
4	カスミンボルドー		普	1.カスガマイシン 2.銅	24、M1	○	-	-	○	-	-
5	カンタスドライフロアブル		普	ボスカリド	7	○	-	○	-	-	-
6	コサイド3000		普	銅	M1	○	-	-	-	-	-
7	シグナムWDG		普	1.ピラクロストロビン 2.ボスカリド	11、7	○	○	○	-	-	-
8	ジマンダイセン水和剤		普	マンゼブ	M3	○	-	-	-	-	-
9	スターナ水和剤		普	オキシリニック酸	31	-	-	-	○	-	-
10	ストロビーフロアブル		普	クレソキシムメチル	11	○	-	○	-	-	-
11	ダコニール1000		普	TPN	M5	○	-	-	-	-	-
12	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	-	○	-	-	-	-
13	ベルコートフロアブル		普	イミノクタジン	M7	○	○	○	-	-	-
14	ユニフォーム粒剤		普	【*1】	11、4	-	-	-	-	○	○
15	ロブラール水和剤		普	イプロジオン	2	○	-	○	-	-	-

【*1】 1. アゾキシストロビン 2. メタラキシル及びメタラキシルM

野菜類－根菜類－にんじん－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日：2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名											
						コガネムシ類幼虫	ヨトウムシ	アブラムシ類	ハモグリバエ類	ネキリムシ類	ネコブセンチュウ	ネグサレセンチュウ	キアゲハ	ヤサイゾウムシ	ハスモンヨトウ		
1	アクタラ粒剤5	抑制	普	チアマトキサム	4A	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
2	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シペルメトリン	3A	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
3	アドマイヤー顆粒水和剤		劇	イミダクロプリド	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
4	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香酸塩	6	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	○
5	アルバリン粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
6	アルバリン顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
7	ガードベイトA	抑制	普	ペルメトリン	3A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
8	スタークル粒剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
9	スタークル顆粒水溶剤	抑制	普	ジノテフラン	4A	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-
11	ダイアジノン粒剤5		普	ダイアジノン	1B	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
12	ネマキック粒剤		普	イミシアホス	1B	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-
13	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	-	-	○	○	-	-	-	-	-
14	フェニックス顆粒水和剤	抑制	普	フルベンジアミド	28	-	○	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15	プレバソンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプロール	28	-	-	-	-	-	-	-	○	-	-	-	-
16	ベネビアOD	抑制	普	シアントラニリプロール	28	-	○	○	-	-	-	-	○	-	-	○	-
17	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	-	-	-	○	-	-	-	-	-	-	-
18	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	-	-	○	-	-	-	-	○	○	-	-	-

野菜類－根菜類－ごぼう－殺菌剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						黒斑病	黒斑細菌病	菌核病	うどんこ病	黒あざ病
1	オーソサイド水和剤80		普	キャプタン	M4	○	-	-	-	-
2	カスミンボルドー		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24、M1	-	○	-	-	-
3	カッパーシン水和剤		普	1. カスガマイシン 2. 銅	24、M1	-	○	-	-	-
4	トップジンM粉剤DL		普	チオファネートメチル	1	-	-	○	-	-
5	トリフミン水和剤		普	トリフルミゾール	3	-	-	-	○	-
6	モンガリット粒剤		普	シメコナゾール	3	-	-	-	-	○
7	ユニフォーム粒剤		普	【*1】	11、4	-	-	-	-	○
8	リゾレックス粉剤		普	トルクロホスメチル	14	-	-	-	-	○
9	ロブラール水和剤		普	イブロジオン	2	-	-	○	-	-

【*1】 1. アゾキシストロピン 2. メタラキシル及びメタラキシルM

野菜類－根菜類－ごぼう－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県指定	製剤毒性	有効成分の種類	作用機構分類	病害虫雑草名				
						アブラムシ類	ネキリムシ類	ヒヨウタンゾウムシ類	ネグサレセンチュウ	ネコブセンチュウ
1	アグロスリン乳剤	抑制	劇	シベルメトリン	3A	○	-	○	-	-
2	アディオオン乳剤	抑制	普	ベルメトリン	3A	○	-	-	-	-
3	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-
4	アドマイヤーフロアブル		劇	イミダクロプリド	4A	○	-	-	-	-
5	エルサン乳剤		劇	PAP	1B	○	-	-	-	-
6	オルトラン粒剤		普	アセフェート	1B	○	-	-	-	-
7	ガードベイトA	抑制	普	ベルメトリン	3A	-	○	-	-	-
8	トクチオン細粒剤F		普	プロチオホス	1B	-	○	○	-	-
9	ネキリエースK		普	イソキサチオン	1B	-	○	-	-	-
10	ネマトリンエース粒剤		普	ホスチアゼート	1B	-	-	-	○	○
11	ビーラム粒剤		普	フルオピラム	I-F:7	-	-	-	○	○
12	フォース粒剤	抑制	劇	テフルトリン	3A	-	○	-	-	-
13	マラソン乳剤		普	マラソン	1B	○	-	-	-	-

13-(62) ごぼう（野菜類、根菜類に登録のある農薬も使用可能）

病害虫名	防除方法	参考事項
黒あざ病 根腐病 萎凋病	播種前 1. 発生地では連作を避ける。 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） 生育期 発生が予想されるほ場では早掘りを行う。	・秋まきは7月下旬頃から急増する。 ・黒あざ病（リゾクトニア菌） 根腐病（ピシウム菌） 萎凋病（フザリウム菌）
ヒョウタンゾウムシ類	生育期 1. 被害の多いほ場は早掘りを行う。 2. 成虫が土塊の下や雑草の株元で越冬するので、畦や周辺の雑草防除を行う。 3. 発生圃場では連作を避ける。輪作にはヒョウタンゾウムシが好むラッカセイ・ニンジン・ネギ等の作付けを避ける。	・越冬成虫が、4月頃になると地中から発生する。その後地中に産卵し、幼虫が根部を加害する。 ・越冬成虫の発生時期に株元に薬剤を散布し、地上部を歩行する成虫に接触させて防除し、翌年の幼虫密度を低下させる。
ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	播種前 1. 緑肥作物を栽培し、発生を抑制する。 2. 土壌消毒を行う。（土壌くん蒸剤の項参照） （ネグサレセンチュウの防除対策の項、ネコブセンチュウの防除対策の項参照）	・アウエナ ストリゴサ（エンバク野生種）などと輪作することにより、ネグサレセンチュウの被害を抑制することができる。

野菜類－葉菜類－せり科葉菜類－パセリ－殺虫剤

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日:2025/11/5

	農薬の名称	群馬県 指定	製剤 毒性	有効成分の種類	作用機構 分類	病害虫雑草名			
						ア ブ ラ ム シ 類	ア ザ ミ ウ マ 類	ハ ス モ ン ヨ ト ウ	ヨ ト ウ ム シ
1	アドマイヤー1粒剤		普	イミダクロプリド	4A	○	○	-	-
2	アフーム乳剤	抑制	普	エマメクチン安息香 酸塩	6	-	-	○	-
3	スピノエース顆粒水和剤	抑制	普	スピノサド	5	-	-	-	○
4	プレバゾンフロアブル5	抑制	普	クロラントラニリプ ロール	28	-	-	○	○
5	モスピラン顆粒水溶剤	抑制	劇	アセタミプリド	4A	○	-	-	-

無人航空機による散布農薬 例

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日: 2025/11/5

1. かんしょ

	用途	農薬の名称	有効成分の種類	作用機 構分類	群馬県 指定	適用作 物名	主な 適用病害虫名
1	殺虫	アクセルフロアブル	メタフルミゾン	22B	抑制 指導農薬	かんしょ	ハスモンヨトウ、 ナカジロシタバ
2	殺虫	アフームエクセラ顆粒水 和剤	1.エマメクチン安息香酸塩 2.ルフェヌロン	6、15	抑制 指導農薬	かんしょ	ハスモンヨトウ、 ヒルガオハモグリガ
3	殺虫	コテツフロアブル	クロルフエナピル	13		かんしょ	ハスモンヨトウ、 シロイチモジヨトウ
4	殺虫	ディアナSC	スピネトラム	5	抑制 指導農薬	かんしょ	ハスモンヨトウ、 ナカジロシタバ
5	殺虫	トルネードエースDF	インドキサカルブ	22A	抑制 指導農薬	かんしょ	ハスモンヨトウ、 ナカジロシタバ
6	殺虫	フェニックス顆粒水 和剤	フルベンジアミド	28	抑制 指導農薬	かんしょ	ハスモンヨトウ、 ナカジロシタバ
7	殺虫	プレバソフロアブル5	クロラントラニプロール	28	抑制 指導農薬	かんしょ	ハスモンヨトウ、 ナカジロシタバ、 ヒルガオハモグリガ
8	殺虫	プロフレアSC	プロフラニリド	30	抑制 指導農薬	かんしょ	ハスモンヨトウ、 ナカジロシタバ
9	殺虫	ベネビアOD	シアントラニプロール	28	抑制 指導農薬	かんしょ	ハスモンヨトウ、 ナカジロシタバ

2. キャベツ

	用途	農薬の名称	有効成分の種類	作用機 構分類	群馬県 指定	適用作 物名	主な 適用病害虫名
1	殺菌	Zボルドー	銅	M1		キャベツ	軟腐病、黒腐病
2	殺菌	オロンディスウルトラSC	1.オキサチアピプロリン 2.マンジプロバミド	49、40		キャベツ	べと病
3	殺菌	パレード20フロアブル	ピラジフルミド	7		キャベツ	菌核病
4	殺虫	アクセルフロアブル	メタフルミゾン	22B	抑制 指導農薬	キャベツ	コナガ、ハスモンヨトウ
5	殺虫	アフームエクセラ顆粒水 和剤	1.エマメクチン安息香酸塩 2.ルフェヌロン	6、15	抑制 指導農薬	キャベツ	コナガ、アオムシ、 ハスモンヨトウ
6	殺虫	コルト顆粒水 和剤	ピリフルキナゾン	9B		キャベツ	アブラムシ類
7	殺虫	トルネードエースDF	インドキサカルブ	22A	抑制 指導農薬	キャベツ	コナガ、アオムシ、 ハスモンヨトウ
8	殺虫	フェニックス顆粒水 和剤	フルベンジアミド	28	抑制 指導農薬	キャベツ	コナガ、ハスモンヨトウ
9	殺虫	プレオフロアブル	ピリダリル	UN		キャベツ	コナガ、アオムシ、オオタ バコガ、ハスモンヨトウ、 ヨトウムシ
10	殺虫	プレバソフロアブル5	クロラントラニプロール	28	抑制 指導農薬	キャベツ	コナガ、アオムシ、 ハスモンヨトウ
11	殺虫	ベネビアOD	シアントラニプロール	28	抑制 指導農薬	キャベツ	コナガ、ハスモンヨトウ、 アブラムシ類、 アザミウマ類
12	殺虫	モベントフロアブル	スピロテトラマト	23		キャベツ	アブラムシ類、 アザミウマ類
13	殺虫	ヨーバルフロアブル	テトラニプロール	28	抑制 指導農薬	キャベツ	コナガ、ハスモンヨトウ、 アブラムシ類、 アザミウマ類

無人航空機による散布農薬 例

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日: 2025/11/5

3. はくさい

	用途	農薬の名称	有効成分の種類	作用機 構分類	群馬県 指定	適用作 物名	主な 適用病害虫名
1	殺菌	Zボルドー	銅	M1		はくさい	軟腐病、黒腐病
2	殺菌	オロンディスウルトラSC	1.オキサチアピプロリン 2.マンジプロバミド	49、40		はくさい	べと病
3	殺菌	バレード20フロアブル	ピラジフルミド	7		はくさい	菌核病
4	殺虫	アクセルフロアブル	メタフルミゾン	22B	抑制 指導農薬	はくさい	コナガ、アオムシ、 ハスモンヨトウ
5	殺虫	アフームエクセラ顆粒水 和剤	1.エマメクチン安息香酸塩 2.ルフェスロン	6、15	抑制 指導農薬	はくさい	コナガ、アオムシ、 ハスモンヨトウ
6	殺虫	コルト顆粒水 和剤	ピリフルキナゾン	9		はくさい	アブラムシ類
7	殺虫	トルネードエースDF	インドキサカルブ	22A	抑制 指導農薬	はくさい	コナガ、アオムシ、 ヨトウムシ
8	殺虫	フェニックス顆粒水 和剤	フルベンジアミド	28	抑制 指導農薬	はくさい	コナガ、ハスモンヨトウ
9	殺虫	ブレバソフフロアブル5	クロラントラニプロール	28	抑制 指導農薬	はくさい	コナガ、アオムシ、 ハスモンヨトウ
10	殺虫	ヨーバルフロアブル	テトラニプロール	28	抑制 指導農薬	はくさい	コナガ、ハスモンヨトウ、 アブラムシ類

4. ブロッコリー

	用途	農薬の名称	有効成分の種類	作用機 構分類	群馬県 指定	適用作 物名	主な 適用病害虫名
1	殺菌	Zボルドー	銅	M1		ブロッコ リー	黒腐病
2	殺菌	メジャーフロアブル	ピコキシストロピン	11		ブロッコ リー	黒すす病
3	殺虫	アクセルフロアブル	メタフルミゾン	22B	抑制 指導農薬	ブロッコ リー	コナガ、ハスモンヨトウ
4	殺虫	アフームエクセラ顆粒水 和剤	1.エマメクチン安息香酸塩 2.ルフェスロン	6、15	抑制 指導農薬	ブロッコ リー	コナガ、アオムシ、 ハスモンヨトウ
5	殺虫	ディアナSC	スピネトラム	5	抑制 指導農薬	ブロッコ リー	コナガ、アオムシ、 ハスモンヨトウ
6	殺虫	トルネードエースDF	インドキサカルブ	22A	抑制 指導農薬	ブロッコ リー	コナガ、アオムシ、 ハスモンヨトウ
7	殺虫	フェニックス顆粒水 和剤	フルベンジアミド	28	抑制 指導農薬	ブロッコ リー	コナガ、ハスモンヨトウ
8	殺虫	ブレバソフフロアブル5	クロラントラニプロール	28	抑制 指導農薬	ブロッコ リー	コナガ、アオムシ、 ハスモンヨトウ
9	殺虫	ベネビアOD	シアントラニプロール	28	抑制 指導農薬	ブロッコ リー	コナガ、ハスモンヨトウ、 アブラムシ類、 アザミウマ類
10	殺虫	モベントフロアブル	スピロテトラマト	23		ブロッコ リー	アブラムシ類、 アザミウマ類

無人航空機による散布農薬 例

※農薬の使用に際しては、必ず農薬のラベルに記載されている登録内容・注意事項を確認してください。
更新年月日: 2025/11/5

5. レタス

	用途	農薬の名称	有効成分の種類	作用機 構分類	群馬県 指定	適用作 物名	主な 適用病害虫名
1	殺菌	Zボルドー	銅	M1		レタス	軟腐病
2	殺菌	オロンディスウルトラSC	1.オキサチアピプロリン 2.マンジプロバミド	49、40		レタス	べと病
3	殺菌	バレード20フロアブル	ピラジフルミド	7		レタス	菌核病、 灰色かび病
4	殺虫	アクセルフロアブル	メタフルミゾン	22B	抑制 指導農薬	レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ
5	殺虫	アフアームエクセラ顆粒水 和剤	1.エマメクチン安息香酸塩 2.ルフェスロン	6、15	抑制 指導農薬	レタス	オオタバコガ ナモグリバエ
6	殺虫	コルト顆粒水 和剤	ピリフルキナゾン	9		レタス	アブラムシ類
7	殺虫	トルネードエースDF	インドキサカルブ	22A	抑制 指導農薬	レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ
8	殺虫	フェニックス顆粒水 和剤	フルベンジアミド	28	抑制 指導農薬	レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ
9	殺虫	ブレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール	28	抑制 指導農薬	レタス	オオタバコガ ハスモンヨトウ
10	殺虫	モベントフロアブル	スピロテトラマト	23		レタス	アブラムシ類、 アザミウマ類
11	殺虫	ヨーバルフロアブル	テトラニリプロール	28	抑制 指導農薬	レタス	オオタバコガ、 ハスモンヨトウ、 アブラムシ類

6. ねぎ

	用途	農薬の名称	有効成分の種類	作用機 構分類	群馬県 指定	適用作 物名	主な 適用病害虫名
1	殺菌	オロンディスウルトラSC	1.オキサチアピプロリン 2.マンジプロバミド	49、40		ねぎ	べと病
2	殺菌	オンリーワンフロアブル	テブコナゾール	3		ねぎ	さび病、黒斑病
3	殺虫	アクセルフロアブル	メタフルミゾン	22B	抑制 指導農薬	ねぎ	シロイチモジヨトウ
4	殺虫	アフアームエクセラ顆粒水 和剤	1.エマメクチン安息香酸塩 2.ルフェスロン	6、15	抑制 指導農薬	ねぎ	シロイチモジヨトウ、 ネギアザミウマ、 ネギハモグリバエ
5	殺虫	コルト顆粒水 和剤	ピリフルキナゾン	9		ねぎ	アブラムシ類、 ネギアザミウマ、 ネギハモグリバエ
6	殺虫	ディアナSC	スピネトラム	5	抑制 指導農薬	ねぎ	アザミウマ類
7	殺虫	トルネードエースDF	インドキサカルブ	22A	抑制 指導農薬	ねぎ	シロイチモジヨトウ
8	殺虫	フェニックス顆粒水 和剤	フルベンジアミド	28	抑制 指導農薬	ねぎ	シロイチモジヨトウ
9	殺虫	ブレバソンフロアブル5	クロラントラニリプロール	28	抑制 指導農薬	ねぎ	シロイチモジヨトウ、 ハモグリバエ類
10	殺虫	ベネビアOD	シアントラニリプロール	28	抑制 指導農薬	ねぎ	シロイチモジヨトウ、 アザミウマ類、 ハモグリバエ類
11	殺虫	ヨーバルフロアブル	テトラニリプロール	28	抑制 指導農薬	ねぎ	シロイチモジヨトウ、 アザミウマ類、 ハモグリバエ類